

官報

號外

昭和二年三月二日 水曜日

內閣印刷局

○第五十二回衆議院議事速記録第十九號

昭和二年三月一日(火曜日)午後一時十七分開議

議事日程 第十八號

昭和二年三月一日

午後一時開議

質問

一 貴衆兩院議員ノ待遇及事務局ノ職制並豫算ニ關スル質問(篠原和市長君提出)

二 産業政策ニ關スル質問(土井權大君提出)

三 正米市場政策ニ關スル質問(兼松寅太郎君提出)

第一 花柳病豫防法案(政府提出)

第一讀會(前會ノ續)

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第三 兌換銀行券整理法案(政府提出)

第一讀會

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第五 家畜傳染病豫防法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第七 電氣事業法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

第八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第九 勞働組合法案(政府提出)

第二讀會

第十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十一 國有財産整理資金特別會計法ノ特例ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會

第十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十三 國產獎勵ノ爲メ會計法ノ特例ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會

第十四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十五 徵兵令改正法律案(政府提出)

第一讀會

第十六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十七 土地收容法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

第十八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十九 王公族ヨリ内地ノ家ニ入リタル者ノ戶籍等ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會

第二十 不動産登記法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

第二十一 右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第二十二 不良住宅地區改良法案(政府提出)

第一讀會

第二十三 國債整理基金特別會計法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

第二十四 海外移住組合法案(政府提出)

第一讀會

第二十五 商法中改正法律案(三浦數平君提出)

第一讀會

第二十六 恩給法中改正法律案(長峰與一君外三名提出)

第二十七 恩給法中改正法律案(松賀喜代太君外三名提出)

第一讀會

第二十八 治安警察法中改正法律案(山形儀重君外四名提出)

第一讀會

第二十九 大正十四年法律第四十七號衆議院議員選舉法中改正法律案(坂東幸太郎君外三名提出)

第一讀會

第三十 架空索道ノ抵當ニ關スル法律案(清瀬一郎君提出)

第一讀會

第三十一 被害水田改良事業助成法案(星康平君外二名提出)

第一讀會

第三十二 金雞勳章年金ニ關スル法律案(古川清君外二名提出)

第一讀會

第三十三 北海道御料拂下地免租年期ニ關スル法律案(東武君外三名提出)

第一讀會

第三十四 民法施行法中改正法律案(大石大君提出)

第一讀會

第三十五 地租條例中改正法律案(大石大君提出)

第一讀會

第三十六 商法中改正法律案(土屋清三郎君提出)

第一讀會

第三十七 移住組合法案(津崎尙武君外九名提出)

第一讀會

第三十八 産業組合中央金庫法中改正法律案(由谷義治君外五名提出)

第一讀會

第三十九 義務教育年限延長ニ關スル建議案(曾田義一君提出)

第一讀會

第四十 郡山市ニ高等工業學校設置ニ關スル建議案(栗山博君外六名提出)

第一讀會

第四十一 郡山市ニ高等師範學校設置ニ關スル建議案(栗山博君外五名提出)

第一讀會

第四十二 奈良縣ニ藥學專門學校建設ニ關スル建議案(福井甚三君外二名提出)

第一讀會

第四十三 國立蠶絲大學設置ニ關スル建議案(篠原和市長君外五名提出)

第四十四 福井縣小濱ニ高等水產學校設置ニ關スル建議案(山口嘉七君外二名提出)

第一讀會

第四十五 福島市ニ高等蠶絲學校設置ニ關スル建議案(大島要三君外六名提出)

第一讀會

第四十六 岡山市ニ綜合中國帝國大學設置ニ關スル建議案(清水長郷君提出)

第一讀會

第四十七 金澤市ニ綜合大學設置ニ關スル建議案(佐藤實君外四名提出)

第一讀會

第四十八 盛岡市ニ高等師範學校設置ニ關スル建議案(柏田忠一君外四名提出)

第一讀會

第四十九 松江市ニ山陰帝國大學設置ニ關スル建議案(原夫次郎君外二名提出)

第一讀會

第五十 仙臺市ニ高等師範學校設置ニ關スル建議案(内ヶ崎作三郎君外三名提出)

第一讀會

第五十一 廣島市ニ女子專門學校設置ニ關スル建議案(江藤榮吉君提出)

第一讀會

第五十二 廣島市ニ綜合大學設置ニ關スル建議案(江藤榮吉君提出)

第一讀會

第五十三 西宮市ニ綜合大學設置ニ關スル建議案(前田房之助君外四名提出)

第一讀會

第五十四 遞信大學設立ニ關スル建議案(作間耕逸君提出)

第一讀會

- 第五十五 福岡市ニ高等師範學校設置
ニ關スル建議案(大里廣次郎君提出)
第五十六 熊本市ニ高等師範學校設置
ニ關スル建議案(藤井敬慎君提出)
第五十七 北海道綜合大學ノ完成並高
等教育機關設置ニ關スル建議案(東
武君外三名提出)
第五十八 文政改革ニ關スル建議案
(篠原和子君外三名提出)
第五十九 國定教科書中略字採用及字
音假名遣改正ニ關スル建議案(曾田
義一君提出)
第六十 書道振興ニ關スル建議案(山
宮藤吉君外二名提出)
第六十一 民族博物館設立ニ關スル建
議案(山井儀重君提出)
第六十二 滋賀縣伊吹山高層氣象觀測
所國營移管ニ關スル建議案(井上敬
之助君外二名提出)
第六十三 體育運動獎勵ニ關スル建議
案(牧野良三君外五名提出)
第六十四 私學獎勵ニ關スル建議案
(山下谷次君提出)
第六十五 明治六年地租改正條例ニ依
ル土地丈量立替費用償還ニ關スル建
議案(土屋清三郎君提出)
第六十六 國有雜種財產處分ニ關スル
建議案(大島要三君外七名提出)
第六十七 稅務官ノ待遇改善ニ關スル
建議案(大島要三君外七名提出)
第六十八 國稅徵收交付金増額ニ關ス
ル建議案(八田宗吉君提出)
第六十九 葉煙草賠償價格増額ニ關ス
ル建議案(中林友信君外四名提出)
第七十 不良鹽田整理ニ關スル建議案
(山下谷次君提出)
第七十一 飛行事業擴張ニ關スル建議
案(長岡外史君提出)
第七十二 國防會議設置ニ關スル建
議案(長岡外史君提出)
第七十三 國防會議設置ニ關スル建議
案(蟻川五郎君提出)

- 第七十四 陸海軍現役兵及豫後備兵優
遇並在郷軍人會國庫補助ニ關スル建
議案(三善清之君外七名提出)
第七十五 海洋調查機關整備ニ關スル
建議案(小西和君外一名提出)
第七十六 勞働省設置ニ關スル建議案
(清瀬一郎君提出)
第七十七 我カ國國號ノ統一顯正ニ關
スル建議案(由谷義治君提出)
第七十八 我カ帝國國號ノ稱呼使用ニ
關スル建議案(熊谷五右衛門君外一
名提出)
第七十九 恩給法改正ニ關スル建議案
(湯淺凡平君提出)
第八十 恩給其ノ他ノ恩典ニ雇員在職
年數通算ニ關スル建議案(青木精一
君提出)
第八十一 一時賜金廢兵ニ對スル恩給
支給法制定ニ關スル建議案(山下谷
次君外一名提出)
第八十二 軍人傷病記章令中改正ニ關
スル建議案(山下谷次君外一名提出)
第八十三 部落問題ノ國策確立ニ關ス
ル建議案(望月小太郎君外十八名提
出)
○議長(和谷義三君) 諸般ノ報告ヲ致サセ
マス
〔書記官朗讀〕
一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
勞働組合法案
國有財產整理資金特別會計法ノ特例ニ關
スル法律案
國產獎勵ノ爲ノ會計法ノ特例ニ關スル法
律案
徵兵令改正法律案
(以上二月二十八日提出)
大正十四年法律第五十一號中改正法律案
(關東州ノ生産品輸入稅免除ノ件)
關稅定率法中改正法律案
(以上三月一日提出)
一昨二十八日貴族院ヨリ受領シタル政府提
出案左ノ如シ
王公族ヨリ内地ノ家ニ入リタル者及内地

- ノ家ヲ去リ王公家ニ入リタル者ノ戶籍等
ニ關スル法律案
不動産登記法中改正法律案
一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
淀川低水工事改良ニ關スル建議案
提出者 川崎安之助君 森田 茂君
村上 國吉君 田中 万逸君
佐竹 庄七君
豫備兵召集時期ニ關スル建議案
提出者 高橋元四郎君 阿由葉勝作君
齊藤太兵衛君 神田 正雄君
日光國立公園設定ニ關スル建議案
提出者 高橋元四郎君 生方 大吉君
齊藤太兵衛君
野岩羽鐵道速成ニ關スル建議案
提出者 高橋元四郎君 中野 寅吉君
齊藤 金吾君
日足鐵道速成ニ關スル建議案
提出者 高橋元四郎君 齊藤太兵衛君
古物商取締法改正ニ關スル建議案
提出者 山本 芳治君 廣瀬 德藏君
筒井民次郎君 武藤 山治君
田中 讓君 沼田嘉一郎君
羽室庸之助君 清瀬 一郎君
板野 友造君 吉津 度君
金鷄勳章受勳者優遇ニ關スル建議案
提出者 中林 友信君 井坂 豐光君
實業補習教育振興ニ關スル建議案
提出者 河上 哲太君 青木 精二君
(以上二月二十八日提出)
香取神宮神苑擴張ニ關スル建議案
提出者 今井 健彦君
一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ
如シ

- 下關漁港修築ニ關スル質問主意書
提出者 (以上二月二十八日提出) 秋田寅之介君
一政府ヨリ受領シタル答辯書左ノ如シ
衆議院議員兼松實太郎君提出正米市場政
策ニ關スル質問ニ對スル答辯書
(以上三月一日受領)
正米市場政策ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也
昭和二年二月十日
提出者 兼松實太郎
正米市場政策ニ關スル質問主意書
一米穀ハ我カ國生産品ノ大宗ニシテ且國
民ノ主要食糧品タリ故ニ之カ生産ノ多
寡價格ノ高低如何ハ直ニ我カ國民經濟
ノ振否ニ甚大ナル影響ヲ及ボシ殊ニ現
下ノ重要問題タル食糧問題人口問題農
村振興問題等ト至緊至密ノ關係ヲ有ス
故ニ之カ配給ノ組織、價格構成機關ニ
付テハ萬全ノ策ヲ講スルノ必要アリト
認ム然ルニ斯ル重要商品ニ對シ公正適
切ナル價格ヲ決定スルノ機關完備セザ
ルハ吾人ノ遺憾トスル所ナリ之ニ對ス
ル政府ノ所見如何
一或ハ謂ハム「現在我カ國ニハ各主要地ニ
米穀取引所存在スルヲ以テ可ナリ」ト然
レ共吾人ヲ以テ見レバ現存米穀取引所ハ
所謂長期清算取引ヲ本旨トシ且轉賣買
戻ヲ認ムルカ故ニ其ノ取引ノ多クハ實
米ノ受渡ヲ期待セザル投機、差金取引
ニシテ從テ其ノ構成スル價格ハ正米事
情ニ基礎ヲ置クコト少キノミナラス寧
口他ノ社會の經濟的原因ニ支配サルル
ヲ以テ之カ正米取引ニ與フル效果極メ
テ少ク寧ろ不適當ナリト認ム之ニ對ス
ル政府ノ所見如何
一現下ノ米穀取引所ハ株式組織ニシテ夙
一政府ニ於テ其ノ弊害ヲ認メカメテ會
員組織化ノ助成ヲ圖ラムトスル行政方
針ニアルヲ見ル然ルニ頃日政府ノ正米
市場ニ對スル行動ヲ看ルニ政府ハ正米
市場ヲ既存ノ米穀取引所ニ併置スルノ
方策ナルモノノ如シ抑米穀取引所ニ於

ケル取引ト正米取引トハ全然其ノ目的性質相反スルヲ以テ斯ノ如キハ正米取引ノ健全ナル發達ヲ害シ正米取引ノ投機化ニ導クノ危險大ナリト認ム政府ノ所見如何

一政府ハ前述ノ如キ不合理不正アルニモ拘ラス將來正米市場ヲ既存ノ米穀取引所ニ併置セシムルノ方針ナリヤ
一現在正米取引機關トシテ東京神戸等ニ所謂正米市場ノ設置セラルアルト雖單ニ消費地ニ於ケル消費者ヲ目的トスルモノニシテ生産地ニ於ケル生産者ノ機關タル正米市場ハ未タ之ヲ設置ヲ見ス舊來ノ取引方法ニ依ル取引ニ委セラレツアルモノノ如シ政府ハ正米取引ノ圓滑ヲ圖ル爲正米市場法ヲ制定スルノ意思アリヤ
一若正米市場法ヲ制定スルノ意思アリトセハ其ノ組織取引ノ態様制定ノ時期實施ノ時期ニ付テ詳細ナル意見ヲ承知シ石及質問候也

昭和二年三月一日

内閣總理大臣 若槻禮次郎

衆議院議長 粕谷義三殿

衆議院議員 兼松寅太郎君提出正米市場政策ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員 兼松寅太郎君提出正米市場政策ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一、米穀ノ公正ナル相場決定機關ノ完備ニ付テハ常ニ注意ヲ怠ラス

一、現存米穀取引所ハ米穀ノ取引ニ對シ相當寄與スル所アルモノト認ム

一、既存米穀取引所ニ實物市場ヲ設置スルコトハ相當ノ監督ヲ加フルニ於テハ實物取引ノ投機化シ不正ナラシムルモノト思惟セス

一、既存ノ米穀取引所ニ實物市場ノ設置ヲ認ムルヤ否ヤハ其ノ地方ノ實情等ニ依リ決定セラルヘキ事項ニ屬ス

一、正米市場法ノ制定ニ付テハ目下調査中ニ屬ス

一、前項ノ通りニシテ之ヲ組織取引ノ態

様等ハ未タ言明シ難シ
右及答辯候也

昭和二年三月一日

商工大臣 藤澤幾之輔

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス)

一、去二十六日若槻內閣總理大臣ヨリ左ノ通發令アリタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

一、逓信省電氣局長 中西 四郎

一、逓信省所管事務政府委員被仰付

一、去二十六日辭任シタル常任委員左ノ如シ

一、第六部決算委員 竹原 樸一君

一、去二十六日理事補選選舉ノ結果左ノ如シ

一、商法中改正法律案(土屋清三郎君提出)外四件委員

理事 渡邊 伍君(理事吉木陽君本

一、去二十六日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

大正九年法律第五十三號中改正法律案(關稅法等ノ朝鮮ニ於ケル特例ニ關スル件)委員

小池 仁郎君 栗山 博君

中野猪之助君 永田善三郎君

古川 清君 三善 清之君

石坂 豐一君 則元 由庸君

柏田 忠一君

一、去二十六日京都市ニ關スル法律案外四件委員山本芳治君辭任ニ付其ノ補關トシテ近藤達見君ヲ震災手形損失補償公債法案外一件委員平川松太郎君辭任ニ付其ノ補關トシテ佐藤實君ヲ國債整理基金特別會計法中改正法律案委員中野實君辭任ニ付其ノ補關トシテ谷口源十郎君ヲ執レモ議長ニ於テ選定セリ

一、昨二十八日辭任シタル常任委員左ノ如シ

第九部決算委員 坂梨 哲君

一、昨二十八日常任委員理事補選選舉ノ結果左ノ如シ

理事 田崎 信藏君(理事山口政二君

本月二十三日死去ニ付其ノ補關)

一、昨二十八日常任委員補關選舉ノ結果左ノ如シ

第六部選出決算委員

高木 音藏君(竹原樸一君補關)

一、昨二十八日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ

大正九年法律第五十三號中改正法律案(關稅法等ノ朝鮮ニ於ケル特例ニ關スル件)(政府提出)委員

委員長 則元 由庸君

理事 栗山 博君 石坂 豐一君

一、昨二十八日水戸鐵道株式會社、越後鐵道株式會社、陸奥鐵道株式會社、苦小牧輕便鐵道株式會社及日高拓殖鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案外一件委員大竹謙治君辭任ニ付其ノ補關トシテ植原悅二郎君ヲ公益質屋法案委員砂田重政君辭任ニ付其ノ補關トシテ原惣兵衛君ヲ保險業法中改正法律案委員大竹謙治君辭任ニ付其ノ補關トシテ梅田寛一君ヲ朝鮮事業公債法改正法律案外二件委員坂梨哲君辭任ニ付其ノ補關トシテ神崎勳君ヲ執レモ議長ニ於テ選定セリ

○議長(粕谷義三君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、諸君(拍手起ル)先帝陛下御崩御ニ付キマシテ、去ヌル十二月二十九日白耳義國上院ニ於テ、一月十一日同國下院ニ於テ、深厚ナル同意表彰ノ決議ヲセラレ、又二月十日英國下院ニ於テ、同ジク十五日同國上院ニ於テ、共ニ深厚ナル哀悼ノ意ヲ表シ、我が今上陛下ニ對シ奉リ、兩院ノ我國皇室、政府及國民ニ對シテ有スル深甚ナル同情ヲ傳ヘラレシコトヲ希フ爲メ、同國皇帝陛下ニ對スル上奏文ヲ議決サレシタ旨、ソレゾレ外務大臣ヨリ通牒ニ接シマシタ、此事ハ昨日公報ヲ以テ御報道致シ置キマシタカラ、詳シク御承知ノコト、存ジマス、兩國ノ議院ガ御大喪ニ際シマシテ示サレシタル深厚ナル同情ニ對シマシテハ、全國民ハ深ク感銘致ス所ト存ジマス、就キマシテハ本院ハ兩國ノ上下兩院ニ對シマシテ、院議ヲ以テ感謝ノ意ヲ表シタイト存ジマス、

諸君ノ御同意ヲ冀フ次第アリマス(拍手)
○齊藤隆夫君 只今議長ノ御發議ニ對シテハ、謹シク賛成ノ意ヲ表白致シマス
(「賛成」ト呼フ者アリ)

○議長(粕谷義三君) 採決ヲ致シマス、此決議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
(議員起立)

○議長(粕谷義三君) 議員起立、全會一致ヲ以テ可決セラレマシタ(拍手)是ヨリ質問ノ趣旨辯明ヲ許シマス、質問第一、貴衆兩院議員ノ待遇及事務局ノ職制並豫算ニ關スル質問、篠原和市中君

一、貴衆兩院議員ノ待遇及事務局ノ職制並豫算ニ關スル質問(篠原和市中君提出)

貴衆兩院議員ノ待遇及事務局ノ職制並豫算ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

昭和二年二月四日

提出者 篠原 和市中

貴衆兩院議員ノ待遇及事務局ノ職制並豫算ニ關スル質問主意書

一、憲政ノ發達ト時勢ノ進運ニ鑑ミ貴衆兩院議員ノ待遇ハ之ヲ向上スルノ必要アリト認ム想フニ兩院ノ議長ハ立法府ノ首長トシテ行政官タル内閣總理大臣ト對立スヘキモノニシテ即チ官中席次ニ於テモ内閣總理大臣ノ次席トシ副議長ハ親任官ノ待遇、兩院議員ハ勅任待遇ト爲スヲ至當ナリト認ム政府ノ所見如何

二、貴衆兩院事務局ノ官制ハ明治二十三年ノ制定ニシテ爾來殆ト四十年此ノ間ニ於ケル時勢ノ進運ト憲政發達ノ經路ニ顧ルトキハ實ニ隔世ノ感ナキ能ハス

特ニ衆議院ニ於テ然リトス然ルニ官制並豫算ノ上ニ於テ何等ノ變革ヲ見ス寧ロ退嬰ノ感アリ依テ左ノ事項ニ付政府ノ所見ヲ問フ

イ 明治二十三年制定當時ノ官制ニ於テハ書記官十名屬二十名ナリ爾來多少ノ増減アリト雖今日ニ於テハ却テ減少シ書記官四名屬十四名ニ過キス

想フニ兩院共議員ノ數ハ五割以上増

四千四百四十一頁、又五十一議會ニ於キマ
シテハ、貴族院ニ於テハ二千三百八十九頁、
衆議院ニ於キマシテハ四千七百六十九頁ト
云フ數字ヲ示シテ居ルノデアリマス、斯ノ
如ク實際ノ仕事ノ内容分量ガ、非常ナル懸
隔ガアルノデアリマス、殊ニ最近ニ於ケル
請願ノ狀態デアリマスルガ、五十議會ニ於
キマシテハ、貴族院ニ於テハ四百一件、我
ガ衆議院ニ於テハ千二百六十六件デア、特
別報告ノ如キハ貴族院ニ於テハ百十件、衆

議院ニ於テハ八百五十一件、其他ノ報告ニ於キマシテモ、貴族院ニ於テハ二百五十五件デアルガ、衆議院ニ於テハ三百九十六件、五十一議會ニ於キマシテハ、貴族院ニ於テハ提出ノ請願ノ數ハ八百九十三件デアッテ、衆議院ニ於テハ二百七十四件、特別報告ハ貴族院ニ於テハ九十一件、我ガ衆議院ニ於テハ六百四十四件、斯様ナ數字ヲ示シテ居ルノデアリマシテ、衆議院ノ事務ニ於ケル守衛、書記、速記者其他ノ事務員ノ繁忙ハ、實ニ吾々ハ察シテ居ルノデアル、殊ニ吾々ガ各委員其他ノ審議ノ總テヲ徹底的ニ致シマスルニハ、種々ナル缺陷ヲ生ジテ來ルルデアリマスカラ、是等各般ニ互リマシテ速ニ増員ヲシ、待遇ヲ充實スルト云フコトガ目下ノ急務ナリト本員ハ確信スルガ、此點ニ關シテ政府ノ所見ハドウカ、此點ヲ伺ヒタイノデアル、ソレカラ又豫算ノ關係デアリマスルガ、此豫算關係ハ昭和二年度ノ實際ノ貴族院ノ事務費ヲ見マスルト、貴族院ノ事務費ハ七十七万五千五百七十七圓、我ガ衆議院ノ豫算ハ二十万五千三百七十三圓デ、二万七千八百圓バカリガ衆議院ノ増額ニナッテ居ル、即チ約二割多シ、然ルニ仕事ノ分量ノ實際ヲ見マスルト、貴族院ト衆議院ト比較シテ見マスレバ、約倍額以上ノ仕事ノ内容ガ衆議院ニアルノデアル、固ヨリ貴族院ハ對立主義デアリマスガ、豫算其モノマデ必シモ貴族院ト衆議院ト殆ド同額ノ豫算ニシテ置クト云フコトハ、是ハ議論ニナラナイノデアル(拍手)必要ニ應ジテ其施設ヲスルコトガ、目下ノ急務デアルト本員ハ信ズルノデアルガ、此點ニ關シテ政府ノ所見ハドウカ、此點ヲ伺ヒタイノデアリマス、更ニモウ一點デアリマスガ、我ガ衆議院ニ於ケル圖書館ノ設備デアル、實ニ貧弱ナル圖書館デアリマシテ、何等調ベル所ノ材料ガナイ、之ヲ爭フベカラザル數字ニ依ッテ本員ガ調ベテ見マスルト大正十六年度、昭和二年ノ豫算デアリマスガ、我ガ衆議院ニ於ケル圖書館ノ費用ハ、僅ニ二千七百四十九圓之ヲ要求シテアルノデアリマス、之ヲ北米合衆國ノ議會ニ於ケル圖書館ノ豫算

ト比較シテ見マスルト、華盛頓政府ニ於キマシテハ千九百二十二年年度圖書館豫算ガ七十一万弗ニナッテ居ルノデアル、我ガ日本貨ニ換算致シマスルト百五十万圓デアル、之ニ對スル我ガ圖書館ノ經費ハ僅ニ二千七百圓、斯ノ違フノモ實ニ驚キ入ッテ状態ニナッテ居ルノデアルカラ、此圖書館ノ設備ヲ完全ニスル必要ガアル、凡ソ世界列強ニ於ケル議會政治ノ實際ノ状態——此世界ノ進運ト共ニ吾々ハ國際競争ヲシナケレバナラナイ、之ニ對シテ吾々ガ圖書館ニ參リマシテモ古イ雜誌ガアル位ナモノデ、何モ世界ノ形勢ガ分ラナイ、最近ハ新聞事業ガ段々發達シテ參リマスカラ、田舎ノ小サイ新聞社ニ於テモ、大概世界ノ形勢ハ赤電報デ入ッテ參ルト云フ状態デアアルニ拘ラズ、此貴衆兩院ノ圖書館ノ貧弱ナルコトハ最モ遺憾トスルモノデアリマス、斯ウ云フ状態デハ世界ノ國際競争場裡ニ、我ガ日本ハ段々落伍スルヤウナ形勢ニナルコトヲ本員ハ深ク憂フル者デアリマスカラ、此點ニ關シテ政府ハ必要ナル豫算ヲ請求致ス考ハナイカ、更ニモウ一點デアリマスガ、此議長長交際費、議員ノ海外派遣費デゴザイマス、是ハ極メテ重大ナル關係ニアル、昭和二年度ノ豫算ニハ僅ニ四万圓計上ニナッテ居ルノデアアルガ、是等ノ貧弱ナル豫算ヲ以テ議員ガ海外ニ派遣セラレマシテモ、十分ノ調査モ出來ナイ、此豫算ノ如キハ三四十万圓カラ五十万圓ヲ請求シテ、我ガ貴衆兩院ハ此昭和新政ニ當テ國策ヲ樹立シナケレバナラナイ、更始一新、我ガ日本ノ此新シイ政治ヲ世界列強ト競争シテ行フニ當テハ、是等ノ缺陷ニ眼ヲ注ギマシテ、政府ハ四五十万圓ノ豫算ヲ請求致シマシテ、世界ノ形勢ヲ實際ニ觀察シ、更ニ兼テ國際關係ヲ圓滑ニスル必要ガアルト本員ハ考ヘルガ、此點ニ關シテ政府ノ所見ハドウカ、先ヅ太體此點ニ付テ伺フノデアリマス(拍手)此處ニ總理ガ御見エニナッテ居ラナイガ、是ハ極メテ重大ナ問題デアリマシテ、殊ニ帝國憲法三十五條ヲ母體トシタル議院法、之ニ關スル議院關係ノ職制デアリマスカラ、若槻總理大臣ヨ

リ私ノ速記ヲ御覽ニナッテ、懇切丁寧ナル御答辯ヲ要求スルノデアリマス

(政府委員塚本清治君登壇)

○政府委員(塚本清治君) 篠原君ノ只今ノ御質問ニ對シマシテハ、政府ハ書面ヲ以テ答辯致シマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○議長(稻谷義三君) 次ハ産業政策二關スル質問土井權大君

二 産業政策二關スル質問

(土井權大君提出)

産業政策二關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也
昭和二年二月九日

提出者 土井 權大
産業政策二關スル質問主意書
産業振興政策二關スル政府ノ所見如何
右及質問候也

(土井權大君登壇)

○土井權大君 極メテ簡單ニ産業政策二關シ御尋ガ致シタイノデアリマス、固ヨリ本會議其他ノ委員會ニ於テ、質問應答ノアリマシタル事項ハ省略ヲ致シマス、第一ニ御尋致シタイノハ、産業政策ノ根本方針ニ關シテ質問スルノデアリマス、先日來ノ本會議其他ノ委員會ニ於ケル質疑應答ヲ伺ヒマスルト、政府ハ産業方針ニ關シ三ツノ基礎ヲ持タレテ居ルカノ如ク私ハ發見ヲ致シタノデアリマス、第一ニハ産業ノ振興發達ニハ獎勵金、補助金、又ハ助成金等ヲ與ヘテ産業ヲ發達セシメヤウ、即チ政府ハ決シテ産業ト云フモノヲ忽セニ致シテ居ルモノデハナイ、獎勵金、補助金又ハ助成金ト云フモノヲ與ヘテ、相當ニ産業ノ振興發達ヲ圖ッテ居ル、斯ウ云フコトヲ言ハレテ居ル、即チ第一ニ政府ハ助長方針トデモ申シマセウカ、或ハ助長方針トデモ申シマセウカ、ソレニ第一基礎ヲ置カレテ居ルト私ハ考ヘタノデアル、第二ニ如何ナルコトヲ言ハレタカト申シマスレバ、輸出入ノ關係ニ於テ輸入輸出ノ均衡ヲ圖ラウ、兎ニ角逆調ト云フガ如キコトハ甚ダ宜シクナイカラ、少クトモ輸出入ノ均衡ヲ圖ルベク努メテ居ルノ

デアル、言葉ヲ換ヘテ言フナラバ、輸出入ノ均衡方針トデモ申シマセウカ、其處ニ第二ノ基礎ヲ置カレテ居ルト私ハ考ヘタノデアリマス、ソレカラ第三ノ基礎ハ何レニ置カレテ居ルカト云フコトヲ段々綜合致シマスルニ、大キナル事業、資本家ナドガ仕事ヲ致シタ場合ニ、若シ失敗スルナラバ相當ノ救済シテヤラウ、例ヘバ昨年ニ於テ日本製粉會社ガ困タ場合ニハ、八百萬圓以上ノ資金供給ノ方法ヲ執ラレ、救済サレタノモ一例デアリマス、又現在震災手形等ノ法案ヲ出サレテ居ルノモ、是亦救済方針トデモ申シマセウカ、救済方針トデモ見ラレルノデアリマス、要スルニ政府ガ産業政策トシテ現在御執リニナッテ居ルノハ第一ニ助長政策、第二ニ輸出入ノ均衡政策、第三ニ救済政策、此三ツニ基礎ヲ置カレテ居ルモノナリト私ハ考ヘルノデアリマス、所ガ果シテ此方針ト云フモノガ、産業政策ノ根本ニ觸レテ居ルカ否カト云フコトニ付テ御尋致シタイノデアリマス、助長政策ノ弊害ト云フモノハ、帶ニ短シ穢ニ長シ、何等ノ效能ガ無い、絕對ニ無イトハ申シマセウカ、無イト云フコトハ、實際ノ状態ニ照シテ明ナル所デアリマス、況ヤ眞ニ獎勵、補助、或ハ助成ヲスルト云フナラバ、豫算ノ範圍内ニ於テト云フガ如ク、即チ逃グ文句ヲ造ラレテ、イザ助成ナラ助成ヲヤナケレバナラヌト云フ場合ニ於テ豫算ガ計サナイト逃グラレル、一例ヲ舉ゲテ言フナラバ、開墾アルトカ千拓トカ云フガ如キ方面ニ對シテ、開墾助成ト云フ法律ガアル、是ニ於テ開墾ナル者ガアル、或ハ千拓ヲヤル者ガアル、イザ助成金ト云フ場合ニ於テハ豫算ガ計サナイガ故ニ指令ヲ出スコトガ出來ナイ、甘酒進上此處マデ來イト云フヤウナ遺方ヲヤッテ居ラレル、即チ今日ノ助長方針トシテハ、斯ノ如キ弊害ガアルト同時ニ、斯ノ如キ現状デアアル、更ニ此輸出入ノ均衡ト申シマシテモ、少クトモ輸出ノ獎勵ヲシナケレバナラヌガ、同時ニ我國ニ於テ輸入ヲ防遏シ得ラル、所ノ方策ヲ立テ、其方

策ヲ講ジナケレバナラナイ、然ルニソレ等ノ點ニ付テハ何等ノ考慮ヲ拂ハレテ居ラナイ、一例ヲ舉ゲテ言フナラバ、窒素肥料ノ如キモノハ我國ニ於テ完全ニ出來ルモノデアル、ソレ等ニ付テ政府ハ何等手ヲ御著ケナシテ居ラス、或ハ研究トカ調査トカ云フガ如キコトハ爲サルデアリマセウガ、實際ニ於テ之ヲヤルト云フ御精神ガ無イノデアル、其他或ハ小麥耕作ノ點ニ於キマシテモ、或ハ製鐵業ニ於テモ、例ヲ舉ゲレバ枚舉ニ遑アラズ、十分我國ニ於テ輸入ヲ防遏シ、我國ニ於テ自給自足ノ方策ヲ立テ得ラル、ニ拘ラズ、何等ソレ等ニ著手ガ出來テ居ラナイノデアリマス、即チ輸出均衡政策ニ對シテハ只今申上ゲタガ如キ狀態デアアル、更ニ第三ノ救濟政策、孰レデモ助ケテヤレバ宜イ、斯ウ云フヤウナコト云ヘバ、サツタナラバ、ドウ云フ事ニナルカト云ヘ、國民ハ自主獨往ノ精神ヲ失フテシマッテ他力本願、政府ニサヘ賴シテ仕事ヲスレバ宜イト云フ氣ニナリ、所謂御用商人ト云フモノハ益、發達ヲ致シ、向上ヲスルデアリマセウ、又資本家ハソレニ依テ利益ヲ得ルデアリマセウガ、其資本家モ自主獨往ノ精神ト云フモノヲ無クシテシマッテ、唯御他力本願、政府ニ賴ラウ、ヤリ損タナラバ政府ノ御助ケヲ願ハウ、斯ウ云フヤウナ結果ト又現象ヲ現在呈シテ居ルノデアリマス、故ニ今ヨリ政府ガ御執ニナシテ居ル産業政策バ、私ヲシテ忌憚ナク言ハシムルナラバ、根本ニ培ハズシテ、唯、單ニ枝葉ヲ繁茂セシメヤウト云フガ如キコトノミニ御考ニナシテ居ルノデハナイカト考ヘルノデアリマス、此點ニ付テ政府ノ所見ハ私ノ考ト違テ居ルカ、違テ居ラナイカ、第一ニ是ガ御尋シタイノデアリマス、即チ産業政策ノ根本方針ハドウデアルカ、是ガ第一問デアリマス、抑、産業政策ノ根本方針ヲ樹立致サウトスルニ付テハ、私ガ縷々申上ゲズトモ御承知ノ通り、産業革命ト云フコトニ心ヲ注ギ、眼ヲ著ケル必要ガアルト私ハ思フ、是ハ私ガ縷々申サズトモ政府ハ御承知デアリマセウ、産業革命ニ順應スル所ノ政

策ヲ立テルニ非ズンバ、眞ノ産業發達ト云フモノハ今日ニ於テハ企テ圖ルコトハ出來ナイノデアル、産業革命ハ私ガ講釋ヲ致サズトモ御承知ノ通り、十八世紀ノ後半英國ニ於テ起リタ、所謂電氣、鐵、或ハ蒸氣ノ應用ニ依リ、總テ大仕掛ニヤラナクレバナラヌト云フ時代ニナッタ、ソレニ付テハ資本モ要ル、其資本ヲ集メ大仕掛ニ仕事ヲヤルヤウニ相成ッタコトハ御承知ノ通りデアリマス、現在ノ産業組織ハ即チ此ニ至テ居ル、故ニドウシテモ此産業ノ根本的發展政策ヲ考ヘヤウトスルニ付テハ、産業革命ナルモノノ著眼シナクレバナラヌコトハ御承知ノ通りデアリマス、然ラバ産業ノ組織、組立ト云フモノヲ如何ヤウニ改善ヲ圖ルカ、又資本ト云フモノヲ如何ニ活用サシテ行クカ、更ニ技術ト云フモノヲ如何ニ改善ヲ圖ルカ、言葉ヲ換ヘテ言フナラバ、組織ト資本、技術、此三方面ニ著眼ヲシ、茲ニ根柢ヲ置イテ産業ノ根本政策ナルモノヲ打立テナクレバナラヌコトハ、取りモ直サズ産業革命ニ順應スル所ノ政策デアルト私ハ考ヘルノデアル、是ニ於テ第二問ト致シテ産業組織ノ改善ニ關シテ御尋ガ致シタイノデアリマス、御承知ノ通り我國モ明治維新以來歐米ノ文物制度ガ輸入セラレ、産業革命ノ風モ吹來タノデアリマス、所謂資本文明、機械文明ノ世ノ中トナッタ、大事業、大資本ヲ以テ事業ヲ起スト云フ時代ニ相成ッテ居ル、是ニ於テ色ニナ工場モ出來テ居ル、色ニノ會社モ出來テ居ル、所ガ果シテ今日我國ニ於テ行ウテ居ル所ノ工場經營、又資本ノ活用ト云フモノハ、近時ノ世界文明國ノ産業組織ト對シ、後レテ居ラナイカ同一デアルカ、其點ヲ御考ヲ願ヒタイノデアリマス、近時世界ノ文明國ハ産業革命ノ結果更ニ新ナル企ヲ致シテ居ルノデアリマス、如何ナル企ヲ致シテ居ルカト云フナラバ、同じ事業ハ群雄割據ヲ致サズシテ、成ベク大資本ノ合同ト云フコトニ力ヲ盡シテ居ル、例ヘバ獨逸ノ窒素肥料製造會社ノ如キハ、五十億圓ノ資本ヲ持ッテ居ル、同業者ガ合同ヲ致シテ居ル、更ニ組織ノ上ニ於

テハ如何ナル仕組ヲ致シテ居ルカト云フナラバ、御承知ノ通り「カルテル」デアルトカ、或ハ「トラス」デアルトカ、或ハ「シンヂケート」デアルトカ云フガ如キ合同カ、然ラザレバ聯盟ノ仕組ニ依リマシテ、統一的、節制的ノ陣容ヲ張シテ產業界ニ臨ンデ居ルノデアリマス、而シテ要ラザル所ノ生産費ヲ輕メ、更ニ詰ラナイ所ノ無益ノ競争ト云フモノヲ避ケテ、生産者ノ利益モ圖ルト同時に、消費者ノ利益モ圖ル仕組ニ致シテ居ルノデアリマス、更ニ進ンデハ國際的ノ争ト致シテハ「ダンピング」デアルトカ、或ハ不當廉賣デアルトカ、色々ノ仕組ヲ以テ統一的、節制的ノ戰ヲ開始致シテ居ルノデアリマス、現ニ我國ニ於テハ燐寸業ノ如キハ我が國產ト稱ヘラレテ居「タニ拘ラズ、白耳義」ト云フ國ガ所謂仕組ノ改善ヲシテ、我が燐寸ノ得意地ト云フモノヲ奪ヒ取ツテシマツト云フ如キ狀態ニナツテ居ル、即チ近時世界ノ産業組織ハ大資本ノ合同カ、同時に仕組ノ改善「トラス」カ、「カルテル」カ、「シンヂケート」カ、左様ナ仕組ヲヤツテ居ル、所ガ我國ノ經濟界ノ現状ハドウデアルカト云フナラバ、如何ニモ産業革命ト云フ點ニ氣付イテ、株式會社モ出來テ居レバ、大キナ機械工場モ出來テ居ルガ、悲イ裁雄難割據デアル、何等同業者ノ大資本ノ合同デアルトカ、或ハ仕組ノ改善デアルトカ「カルテル」化ストカ「トラス」カ、化ストカ、「シンヂケート」カ化ストカ云フ點ニ著眼シテ居ル人ハ少イノデアリマス、政府ニ於テモ其點ニ餘リ留意ナサツテ居ラヌ有様デアル、漸クニシテ、砂糖業者ノ聯盟、或ハ新聞紙用紙ノ所謂製紙會社ノ同盟、或ハ此頃漸クニシテ製粉會社ノ聯盟ト云フガ如キコトヲ見ルニ至ツテ居リマスケレドモ、其他多數ノ有益ナル産業ガアリマスケレドモ、未ダ此合同或ハ聯盟ト云フ域ニマデ達シテ居ラナイ所ノ今日狀態ニ在リマス、特ニ此小サナ産業、所謂小中産業ガアリマス、ソレ等ノ點ニナルト聯盟、同盟、若クハ資本ノ合同、斯ウ云フヤウナ域ニ進マザルノミナラズ、産業革命ノ影響ヲ受ケテ家庭工業ハ打倒レ、小サ

ナ工業ハ打倒レ、農村ナドノ疲弊困憊ニ陥ルト云フノハ、取りモ直サズ産業革命ノ結果、産業革命ノ風ニ襲ハレタガ爲ニ今日苦シデ居ル狀態デアリマス、即チ我國ノ産業組織ヲ眺メマスレバ、一トシテ組織の統一のニナツテ居ラナイ、所ガ世界ノ文明國ハ統一の節制のニ堂々タル陣ヲ張ツテ居ルト云フガ如キ狀態デアル、即チ將來ハドウシテモ同業者トシテノ大資本ノ合同、更ニ大事業ノ合同又ハ聯盟、中小資本家ハ仕事ノ聯盟、即チ資本ノ合同ト、更ニ進シデ仕組ノ改善ト云フ事ヲヤルニ非ザレバ、根本ニ於テ我國ノ産業ノ進歩發達ヲ圖ルコトハ出來ナイノデアリマス、斯ク私ハ考ヘルノデアル、政府ハ此産業組織改善ニ關シテ如何ナル考ヲ御持ニナツテ居リマスカ、特ニ御伺致シタイノハ、此際産業組織改善ニ關スル調査機關ヲ設置サレテ、時代ト後レナイダケノ違方ヲヤル必要ハナイカト御尋ヲ致シタイノデアリマス、幸ヒ金融制度ナドハ改善ノ爲ニ調査機關ヲ設ケラレ、稍改善サレマシタガ、アレト同ジ事ニ産業組織ノ改善サレマシタガ、アレト同ジ事ニ産業組織ノ改善ニ關スル調査機關ヲ設ケテ、時代ノ進運ニ後レナイダケノ方法ヲ執ル意思ナキヤ否ヤ、是ガ第二問デアル、第二問ハ産業組織ノ改善ニ關シテ御尋ヲ致シタイノデアリマス、第三問ハ産業資金ノ充實ト大事業ノ經營方針ニ關シテ御尋ガ致シタイ、今ヤ資本ヲ合同シ大事業ヲ起サナケレバナラヌ時代デアルト云フコトハ、前段申上ダタ通りデアリマス、例ヘバ肥料ノ大會社ヲ造ルデアルトカ、製鐵業ノ統一デアルトカ、或ハ開墾、干拓、又ハ水力電氣ノ統一、色ミト爲スベキ仕事ガアル、所ガ要スル所資金ガ無イノニ苦シンデ居ル、イザ此仕事ヲ致サウトスル場合ニ當ツテ、先ダツモノハ金デアル、此金ガ無イ、是ガ問題デアル、是ニ於テ或ハ公債ヲ募集シテ事業ヲ起シタラ宜カラウト云フ論者モアル、或ハ公債ハ宜シクナイ、借錢政策ハ宜シクナイ、斯ウ云フ論モ立テラレテ居ル方モアリマスルガ、私ガ考ヘルノニ、其公債ニ據ラズ、非公

債論ナドニモ據ラズシテ、一ツノ半官半民ノ事業ヲ起スト云フコトヲ御考ナサタラドウデアルカ。例ヘバ開墾ヲラ開墾ヲ致ストシテモ、固ヨリ本年ノ豫算ニハ大規模開墾計畫ト云フ費目ガ出テ居リマスガ、到底斯様ナコトデハ眞ニ開墾トシテ事ハ出来ナイ、内地ニ於キマシテモ百二十万町歩、北海道ニ於テモ七十萬町歩開墾シ得ラルベキ土地ガアルノデアアル、然ルニ小サナ金デ名前ダケハ開墾大規模計畫ト名ヲ附ケテ居リマスケレドモ、到底行フコトハ出来ナイ、ソレヨリモ寧ロ茲ニ半官半民ノ開墾會社ヲ造ル、或ハ肥料ナラ肥料ヲ官營ニシテラ便宜イト云フ論ガ出テ居ルガ、ソレ等ニシテモ茲ニ一ツノ半官半民ノ肥料會社ヲ造ル、製鐵モ其通り、水力モ其通り、色々ナ事業ヲサウ云フコトニスレバ、即チ資金ヲ集メル點ニ於テ非常ニ容易イ事ハナカラウカト私ハ考ヘルノデアアル、ソレハ如何ヤウナル所カラ左様ナコトヲ考ヘタカト云フナラバ、我が國民性ハ悲シイ哉今尙ホ官尊民卑ノ風ガアルノデアリマス、此所デ國ガ事業ヲ起ス、政府ガ事業ヲ起スト云フコトニナルト、兎角後家婆サンノ賸餘金デモ其方ニ放資スルスト云フヤウナ傾向ガアル、現ニ先年産業組合中央金庫ト云フモノガ出来マシタガ、其時ハ總資本額三千萬圓デアリマス、内一千五百萬圓ハ政府ガ持チ、後ノ一千五百萬圓ハ民間ヨリ募ル、而モ此産業組合中央金庫ハ、御承知ノ通り十箇年間配當ヲシナイト云フ條件ニ相成テ居ルニ拘ラズ、民間ヨリ募集致シタル一千五百萬圓ニ對シ、其十倍ノ應募者、一億五千萬圓ノ金ガ集テ、應募ガアツタト云フ狀態デアリマス、ソレカラ極ク最近デアリマスガ、無線電信株式會社、斯ナモノニ對シタ所ガ左程利益ノアルモノデハナイ、是モ莫大ナル應募ガアツタ、即チ株式應募ニ對シ、十倍モ十五倍モ應募者ガアツタト云フ如キ狀態デアル、是等ノ事實ハ確ニ我が國民性ヲ明ニ現シテ居ル、而モ政府或ハ國家ガ仕事ヲスルト云フ場合ニ於テハ、後家婆ノ賸餘金デモ引出シ得ラルモノデアルト云フコトヲ物語テ居ルモ

ノデアルト私ハ考ヘルノデアリマス、故ニ若シ輸入防遏ナラ防遏ト致シテ、肥料ノ大ニ事業ヲ起ストカ、或ハ製鐵ノ統一、或ハ開墾、干拓、其他各種ノ事業ヲ起サウト思フテモ金ガ無い、公債、非公債ノ爭ハ止メテ、半官半民ノ事業ト云フコトニ著眼ヲ致シタナラバ、速ニ此輸入防遏モ出來ルト同時ニ、我國ノ産業ノ進歩發達ガ出來ルトナリ、斯ウ私ハ考ヘルノデアリマス、即チ産業資金ノ充實ノ方策、大ニ事業經營ノ方策ニ對シテ、只今申述ベタ所ノ意見ヲ持テ居ルノデアリマスガ、之ニ對シテ政府ハ如何ナル御所見ヲ持テ居ルカト云フコトヲ御同致シタイノデアリマス、第四問ハ産業技術ノ進歩、改善ノ方策ニ關シテ御尋ヲ致シタイノデアリマス、技術デアル、斯ク言ヘバ政府ニ於テハ農事上ノ試驗場モアル、或ハ工業ノ試驗場モアル、水産ノ試驗場モアル、斷ジテ此技術ノ進歩改善ニハ怠テ居ルモノデナイ、斯ウ言ハレルデアリマセウ、所ガ是モ悲シイ哉極メテ小規模ニシテ其名前ノミ存シ、其實ト云フモノハ舉テ居ラナイ、一例ヲ舉ゲテ言フナラバ、本年ノ米ガ少イ不作デアル、外米ノ關稅ヲ撤廢シナケレバナラナイト云フ如ク、米ノ取レナカッタト云フノハ何デアルカ、風害ニアラズ、水害ニアラズ、蟲害デアアル、蟲ガ食ツタガ爲ニ米ガ取レナカッタノデアリマス、所ガ其蟲ヲ豫防スルコトニ、如何ニシタナラバ其蟲ヲ豫防スルコトガ出來ルカト云フ點ナドモ、餘リ研究ガ出來テ居ラナイ、之ヲ獨逸ナドニ見ル、各種ノ理化學ヲ應用シ、否科學ヲ應用シ、蟲ノ食ハナイ所ノ相當ノ經驗ト研究ト云フモノガ積マレテ居ル、現ニ小麥ナドハ從來黑穗ト云フモノガ澤山出テ居リマシタガ、獨逸ノ發見致シマシタル藥ヲ用ヒタナラバ、黑穗ダケハ豫防シ得ラルコトニナツテ居ル、米ニ於テモ何等カノ方法ヲ研究シタナラバ、今年ノ如ク蟲害ニ苦ミ、米ガ高クナリ、或ハ外米ヲ入レナケレバナラヌト云フヤウナコトヲ見ズトモ濟ムノデアル、是ハ一例デアリマス、又蠶ノ上デ申シマシテモ、色々ト伊太利ナドニ

於テハ研究ヲ致シテ居ル、人造絹絲ニアラズシテ天然ノ絹絲ヲ早く作ルガ如キ方法ヲ考ヘ、生産費ヲ大ニ輕メ、多量ニ生産スルコト云フコトヲ考ヘテ居ルコトハ政府モ御承知ノ通りデアリマス、何故ニ我國ニ於テモ現在ノ玩具ノ如キ、マ、事ノ如キ研究所ト云フモノヲ打棄テ、大規模ノ理化學研究所、植物ノ研究所、動物ノ研究所、總テノ産業ノ基礎トナル所ノ研究ヲ爲スト云フコトニ出デナイノデアアルカ、此點ニ付テ政府ハ如何ナル御考ヲ御持ニナツテ居ルカト云フコトヲ御尋致スノデアリマス、第五問ハ産業ト教育トノ關係デアリマス、産業ノ振興發達ヲ圖ラウトスルニ付テハ、最も其基礎ト致シテ産業教育ト云フコトヲ施サナケレバナラヌ、是ハ私ガ申サズトモ政府モ御承知ノ通りデアリマセウ、然ルニ今日果シテ産業教育ト云フコトニ重キヲ置イテ居ルカト云ヘバ然ラズ、尋常小學校ヲ卒業スレバ中學校ヘ入ル、中學校カラ高等學校、或ハ大學、其他ノ專門學校ヘ入ルト云フ仕組ニ相成テ居ル、總テ高等ノ學校ニ入ル、所ガ果シテ其高等ノ學校ニ於テ、工業學校デアルカ或ハ商業學校ト云フ方面ハ率知ラズ、法律ヲ教ヘル學校デアルカ、或ハ經濟、或ハ政治ヲ教ヘル學校ト云フ方面ニ於テ、眞ニ産業知識ト云フガ如キコトヲ授ケテ居ルカト云ヘバ、教ヘテ居ラヌ、中學校ニ於テモ教ヘテ居ラヌ、一例ヲ舉ゲテ言フナラバ、中學ナラバ中學ヲ卒業シタリ、中學ヲ卒業シタ者ヲ商店、或ハ會社、銀行ヘ直ニ使ハウトシタナラバ使フコトガ出來ナイ、帳面ヲ付ケル術ヲ知ラナイ、大福帳トカ、或ハ當座帳トカ、金銭出入帳位ハ付ケラレルデアリマセウ、併ナガラ今日ノ複式簿記デアル所ノ日記帳、什譯帳トカ、貸借對照表、其他各科勘定科目ノ帳面ナドハ一切付ケルコトガ出來ナイ、然ラバ之ヲ農業方面ニ使ハウト致シタナラバドウデアル、肥料ノ窒素、磷酸加里、其名前サヘ知ラヌ、假ニ名前ハ知ツテ居ルトシタ所ガ、之ヲドウ云フ風ニ作物ニ應用スルノデアアルカト云フ如キコトヲ知ツテ居ラナイト云フ狀態デアル、左様

ナ教育ヲ施シテ、中學ナラ中學ヲ卒業シテ、其儘家庭ノ事情ニ依テ或ハ農業ニ從事シ、或ハ商工業ニ從事ヲ致サウトシテモ、役ニ立タヌト云フ如キ狀態デアル、進ンデ大學ヲ卒業スルト雖モ、或ハ辯護士トナリ、或ハ判檢事トナル、是等ノ人ハ簿記學ヲ知ラナイ、ソレ故ニ此頃ノ裁判ト云フモノハ、少シムヅカシイ商事裁判ニナツタラ、五年モ、十年モ掛ラナケレバ分ラヌト云フ狀態デアル、是等ハ一切産業ト云フコトニ著眼ヲセザル所ノ教育ヲ施シテ居ル結果ナリト私ハ言ヒタイノデアアル、此點ニ付テ如何ナル御考ヲ御持ニナリマスガ、以上ハ一般産業政策ニ付テ御尋ヲ致シタイノデアリマスガ、次ニ極メテ簡單ニ農業政策ニ付テ骨子ノミヲ御尋致シマス、第一問ハ土地ニ對シ累進稅ヲ課スルノ必要ヲ認メルヤ否ヤ、此事ヲ御尋致シタイノデアリマス、政府ニ於テハ自作農ノ維持ヲヤラナケレバナラヌ、創設ヲヤラナケレバナラヌ、斯ウ云フコトヲ考ヘラレテ居ル、所ガ一方貴族院ノ多額納稅議員ナドハ、土地ヲ國有トシテ國ニ買上ゲテ賣ハウデアナイカ、斯ウ云フコトヲ言ウテ居ル、所ガ此土地ト云フモノハ御承知ノ通り土地ヲ見ルコト尙ホ資本ノ如ク見テ居ル、株式會社ノ株券カ何カヲ持ツガ如ク持テ居ル、所ガ此頃小作爭議ナドガ流行シ出シタ、是デハ敵ハヌ、ドウカ國ニ相當ナ價值デ買上ゲテ賣ヒタイ、斯ウ云フ考ヲ持テ居ラレルヤウデアリマス、所ガ愈、此土地全部ヲ國ニ於テ買フト致シマシタナラバ餘程ノ金ガ掛ル、速モ自作農ノ維持創設ニ付テ金ガ少イトカ、多イトカ云フ議論所ノ騷ギデアリマセウ、而モ此大地主ナドハ多クハ申シマセウケレドモ、土地兼併ニ依テ得タル所ノ土地モ多イデアリマセウ、或ハ安ク之ヲ買取タ人モアルデアリマセウ、故ニ此際土地ニ對シ累進稅ヲ課シテ、成ベク早く手離スト云フコトニシタナラバ、取りモ直サズ自作農ヲ維持トハ申シマセウガ、創定スルノニ非常ニ便利デナイカト私ハ考ヘル、更ニ此土地分配ヲ

公平ナラシムル所ノ方法、デナイカト考ヘルノデアリマス、此點ニ付テ政府ハ如何ナル御考ヲ御持ニナッテ居ルカ、是ガ一問デアリマス、第二問ハ副業獎勵デアリマス、元來政府ニ於テ副業獎勵ヲナサルノハ、單ニ生産方面ノミニ重キヲ置カレ、イヤ弱玉ノ栽培ガ宜イ、イヤ斯ウ云フ物ヲ作ッタル宜イ、サフラン「ヲ作ッタル宜イトカ、色々ノ製造生産ト云フコトニ重キヲ置カレテ居リマス、愈、此得タル所ノ品物ヲ如何ニ消費セシムルカ、如何ニ販賣セシムルカト云フコトニ付テ、餘リ御留意ヲ爲サッテ居ラヌノデアリマス、其結果副業ハ或ル程度マデ獎勵ヲサレマスルガ、生産過剩ト云フコトニ相成リ、農家ナドハ副業ノ爲ニ損失ヲ致ス、寧ろ働カナイ方ガ宜イ、斯ウ云フ思想ガ往々今日起キテ居ルノデアリマス、所謂産業ノ發達セザル原因モ、一ハ此ニ在ルデアラウト思フ、故ニ將來此副業其他小中ノ産業ノ振興發達ヲ圖ラウトスルニ付テハ、生産方面ニ重キヲ置クト同時ニ、一方ニ此販路、販賣ト云フコトニ氣ヲ付ケナケレバ眞ニ副業ノ發達、小中産業ノ發達ト云フコトハ期スコトハ出來ナイノデアリマス、然ラバ如何ニスルカ、如何ナル具體案ヲ持ッテ居ルカト云フナラバ、幸ヒ我國ニハ御承知ノ通り産業組合ノ數ガ一万四千アリマス、ソレカラ更ニ重要物産同業組合ガ一千五百アル、之ヲ旨ク適用シ運用致シタナラバ、副業ノ獎勵ガ出來ルデアラウト思フ、重要物産同業組合ハ如何ナル事ヲヤッテ居ルカト云ヘバ、唯、單ニ製造、生産、左様ナ方面ニ重キヲ置イテ、販賣販路ト云フガ如キコトニハ何等著眼致シテ居ラナイ、産業組合ハ如何ナル方面ニ重キヲ置イテ居ルカト云フナラバ、御承知ノ通り信用組合、販賣組合ナリ、所謂販賣資金ト云フ方面ノ仕事ガ出來ルコトニナッテ居ル、是等ヲ合體シタル所ノ、生産ニ重キヲ置ク所ノ同業組合、資本、販賣、原料ノ協同購入、更ニ機械設備ノ共同利用、左様ナ此産業組合ト同業組合トヲ合致シタル、茲ニ一

ツノ組合ヲ作ルカ、若クハ重要物産同業組合ハ、産業組合法ヲ適用スルコトヲ得ト、斯ク改正ヲ致シテ、生産、更ニ金融、販賣、斯ウ云フコトニ致シテ、取りモ直サズ今日デ言フ所ノ、産業ノ仕組ニ改善ヲ施スト云フコトニ致シタナラバ、副業ノ發達ハ日ヲ期セズシテ盛ニナルト思フノデアリマス、獨リ副業ノミナラズ、小中ノ産業モ發達スルモノナリト私ハ考ヘルノデアリマス、政府ハ果シテ如何ナル御考ヲ御持ニナッテ居ルカ、其他第三問ト致シマシテハ、農業保險ノ件デアリマスルガ、是ハ我が先輩齋藤宇一郎君ヨリ法律案ヲ提案サレタコトモアル、即チ農業者ニ對シテ保險ヲ付ケル、不作ノ場合ニハ相當ノ補償ヲヤル、保險金ヲヤル、斯ウ云フコトニスレバ、餘程安全ナル仕事トナリマシテ、農業ニ從事スル所ノ者ガ眞劍ニ相成リ、又農業ノ振興發達トナルモノナリト考ヘルノデアリマス、其他山林ノ保險、牧畜ノ保險、尤モ保險研究調査費ト云フモノヲ極力僅カ置カレテ居リマスケレドモ、調査研究ト云フヨリモ、早ク之ヲ實行スルコトヲ云フコトヲ私ハ望ムノデアリマス、斯様ナ事ニ付テハ、齋藤宇一郎君ハ五年程前ニ此壇上ニ於テ法律案ヲ出サレテ居ル、又畜産保險、森林保險ノ如キニ付テハ、私モ七八年前ニ本壇上ニ於テ演説ヲ致シテ居ル、ソレ等ニ付テ如何ナル御考ヲ御持ニナッテ居ルカ、何時マデモ僅ナ金デ研究調査ト云フコトノミヲ御續ケニナルノデアルカドウデアルカ、是ガ第三デアリマス第四ハ肥料政策デアリマス、元來今日ノ肥料ト云フモノハ、ドウ云フコトニナッテ居ルカト云フト、御承知ノ通り獨逸ヨリ致シテ年々莫大ナル硫酸、所謂空氣中ヨリ採リマシタ所ノ窒素肥料ガ輸入サレテ居ル、ソレカラ又南洋ヨリ致シマシテハ、燐礦石ガ來テ居ル、其他智利硝石、其他色ノ肥料ガ來テ居ル、ソレ等ノ原料ハ誰ガ抑、取ッテ居ルカト云フト、多クノ富豪ガ一旦之ヲ手ニ收メテ、而シテ相當ノ利益ヲ獲得致シテ、之ヲ農家ニ供給致シテ居ルト云フ現狀デアル、是等ノ事實ヲ富豪ノ仕事ト致サズ

シテ、之ヲ政府ニ於テ管理スルカ、若クハ前段申上ゲマスル所ノ半官半民ノ事業ヲ起シテ、飽迄モ安キ所ノ肥料ト云フモノヲ農村ニ供給スルコトヲ云フコトハ、農村振興ノ一大要件デアルト、私ハ考ヘルノデアリマス、所ガ獨逸ヨリ來ル所ノ窒素肥料ノ如キハ、人ノ名前ハ申シマセウガ、大キナ富豪ガ二三聯盟ヲ致シテ、一噸ニ付テ如何ナル不景氣ナリト雖モ二圓ゾ、ノ利益ヲ取ラウト云フ協約ヲヤッテ居ル、事業ノ協同聯盟ハ宜イ、併ナガラ農家ノ生産費ヲ輕メナケレバナラヌト云フ時代ニ於テ、左様ナ仕事ハ成ベク政府ニ於テ管理ヲ致シテ、安キ所ノ肥料ヲ供給スルコトヲ云フ方策ニ出ル必要アリト私ハ考ヘル、特ニ此窒素肥料ト致シマシテハ「ハーバー」式ノ立派ナ特許權ヲ政府ハ持タレテ居ル、之ヲ東洋窒素肥料株式會社ニ御貸シニナッテ居ル、斯様ナモノヲ貸サズ、政府自ラ何故ニ之ヲヤラナイノカ、資本ガ無ケレバ前段申シタル所ノ半官半民ノ事業ニ俟テナイノデアルカ、此點ニ付テ御尋ヲスルノデアリマス、第五ニハ米穀法ノ運用ニ付テ御尋ヲ致シタイ、如何ニモ米ガ安クナッタナラバ政府ガ買フ、高クナッタ賣ル、斯ウ云フ趣意ニナッテ居リマスガ、莫大ナル損ヲ爲サレテ居ル、即チ本年ノ豫算ヲ見マシテモ、大正十五年デアリマセウ、年度ハ忘レマシタガ六百萬圓、ソレカラ通計二千二百萬ノ損失トナッテ居ル、安イ時ニ米ヲ買ヒ、高イ時ニ賣ル、所謂商賣上ノ言葉ヲ以テ言フナラバ底價買ウテ天井賣ルノデ、損ノシヤウガナイノデアアル、然ルニ拘ラズ左様ナ損ニナッテ居ル、或ハ米穀法ト云フモノハ米ヲ買上ゲテ居ルカラ、農民ハ、歡シデ居ルデアリマセウ、或ハ安イ米ヲ拂下ゲテ居ルカラ、消費者ハ喜ンデ居ルカ、何ゾ知ラン大キナ穴ガ明イテ居ルノデアアル、即チ十年經タラ六千萬圓、利息ヲ寄セタラ一億圓以上ノ損ニナルデアリマセウ、是ハドウ云フ譯デアルカ、之ニハ色ノ原因モアルデアリマセウガ、底價買ウテ天井賣ル場合ニ於テ、如何ナル理由ニ依ッテ損ヲスルノデアルカ、此點ニ付テ

御伺ヲ致シタイノデアリマス、其他各種ニ亙リ御尋シタイ點ガアリマスケレドモ、ソレハ他ノ方ヨリ御質問ニナリ、又政府カラモ御答ニナッテ居ル點デアリマスガ故ニ、ソレ等ハ省略ヲ致シマスガ、要スルニ國家ヲ維持スル上ニ於キマシテハ、國防ノ必要モアルノデアリマセウ、又國民思想ノ善導モ必要デアリマセウガ、要ハ國家生存ノ大要素タル所ノ産業ノ振興發達ト云フコトガ、今日ニ於テ最モ急務ナリト私ハ考ヘルノデアリマス、然ルニ徒ニ産業政策ガ枝葉末節ニ走り、根本ニ觸レズシテ此所マデ來レ、甘酒進上デアルトカ、或ハ帶ニ短シ襪ニ長シ、若クハ徒ニ大資本家ノミヲ擁護スルト云フガ如キ政策ヲ執ラレテ居、タナラバ、遂ニ國家ノ基礎ヲ危クスルニ至ルモノナリト云フコトヲ恐レマシテ本質問ヲ致シタノデアリマス、何卒誠意アル御答辯ヲ要求シテ、此壇ヲ降りマス(拍手)

○議長(相谷義三君) 町田農林大臣

○國務大臣(町田忠治君) 產業政策ニ關スル質問書ハ豫テ土井君ヨリ御提出ニナッテ居ルコトハ承知シテ居リマス、只今質問ノ御趣意ヲ此所デ詳細御述ニ相成テ、御趣意ノアル所ハ了解致シマシタ、唯、問題ガ頗ル重大ナルト同時ニ、極メテ廣汎デアリマス、或ハ商工行政ニ關スル事アリ、或ハ財政ニ關スル事モアリ、或ハ教育ニ關スル事モアリ、又私ガ扱ッテ居リマスル農林行政ニ關スル事モアリ、頗ル廣汎デアリマス、先例モアリマスカラ、御質問ニ答辯スベキ立場ニ在ル各大臣協議ノ上、書面ヲ以テ一括御答辯ヲ致スコトニ致シマス、殊ニ茲ニ甚ダ失禮デアルガ、一言附加ヘテ置キタイノハ、私ニ關スル御答辯致スベキ問題ノ中ニ、土地ニ對スル累進稅ヲ課スル意思アリヤ否ヤト云フ問題、自作ニ關スル問題、並ニ最後ニ御尋ニナッタ米穀法運用ニ關スル御尋ハ、一寸承ルト土井君ノ御趣意ハ、至極御尤ニ聞エル次第デアリマス、併シ是ハ改メテ書面ヲ以テ申上ゲルコトハ勿論デアリマセウガ、米穀法運用ノ爲ニ相當ナ損失ヲ國家

ニ與ヘテ居ルコトハ勿論デアリマス、併シ土井君ノ御話ノ如ク安イ時ニ買ツテ、高イ時ニ賣レバ損ガナイデヤナイカト云フ、此根本問題ニ對シテ、一言申シテ置イタ方宜カラウト思フハ、吾々ノ見ル所、竝ニ米穀法ヲ改正セラル、際ニ御協賛ニナツタ此席ノ諸君ハ、米ノ一年ノ價格ノ安イ高イノ間ノ幅ヲ出來ルダケ少クスト云フノガ、米穀法ノ趣意デアリマス、此趣意カラ申シマス、安イ時ニ買ツテ高イ時ニ賣レバ經費ガツレデ取レルデヤナイカト云フノハ、米穀法ノ趣意デアリマス、米穀法ノ趣意ハ、成タケ米價ヲ安定サセテ、生産者消費ノ利害ヲ調和シテ、生活ノ安定ヲ圖ル爲ニハ、此重大ナル食糧ノ價格ノ變動ヲ少クスト云フコトガ、趣意デアリマス、故ニ、安イ時ニ買ツテ高イ時ニ賣レバ損失ガナイト云フコトハ、吾々ノ考トハ違フノミナラズ、其米穀法ノ今日ノ損失ハ、各諸君ガ御承知ノ通り、初メカラ基金ヲ持ツテ居リマセヌ、是ハ早晚改正シナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、一切基金ハ無クシテ、倉庫ヲ造リ米ヲ買フ資金ヲ借入金ニ依ツテヤツテ居ルト云フ、今日ノ特別會計法ニ於キマシテハ、勢ヒ米ノ賣買ノ間ニ損失ハ無クトモ、倉庫ノ固定資本、其他ニ向ツテ年々少カラヌ損失ヲ重ネテ行クコトハ、申スマデモアリマセヌ、是ハ諸君ト御協議ノ上ニ、何等カノ方法ニ依ツテ此根本カラ特別會計ヲ整理致シタイト斯様ニ考ヘテ居リマス、委細ノ事ハ書面ヲ以テ申上グルコトニ致シマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 質問第三ニ對シテハ、政府ヨリ答辯書ヲ受領致シマシタ、仍テ之ヲ日程ヨリ省キマス、是ニテ質問ヲ終リマシタカラ、議案ノ日程ニ入リマス

○井本常作君 日程變更ノ動議ヲ提出致シマス、此際政府ノ同意ヲ得テ、日程第八十三、望月小太郎君外十八名提出、部落問題ノ國策確立ニ關スル建議案ヲ議題ト爲シ、其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス(賛成ニ賛成ノ聲起ル)

○議長(粕谷義三君) 井本君ノ動議ニハ御

異議ナシト認メマス——政府モ日程變更ニ同意セラレマシタ、仍テ日程ヲ變更シテ部落問題ノ國策確立ニ關スル建議案ヲ議題ト爲シ、提出者ノ趣旨辯明ヲ求メマス、有馬賴寧君

第八十三 部落問題ノ國策確立ニ關スル建議案(望月小太郎君外十八名提出)

部落問題ノ國策確立ニ關スル建議案 部落問題ノ國策確立ニ關スル建議案 政府ハ近時ノ社會情勢ニ鑑ミ我カ同胞間ノ因襲的差別觀念ニ基ク所謂部落問題ノ解決ニ關シテハ舊來ノ陋習ヲ打破シ同胞融和ノ實ヲ舉ケ以テ國民生活ノ安定ヲ期スヘク速ニ確乎タル國策ヲ樹立シ益積極的施設ヲ講セラレムコトヲ望ム 右建議ス

(有馬賴寧君登壇)

○有馬賴寧君 私人只今上程サレマシタ部落問題ニ對スル國策確立ニ關スル建議案ニ付キマシテ、其提案ノ理由ヲ説明致シタイト思フデアリマス、第一ニ部落問題トハ何デアルカト云フコト、管シク申上グル必要ハナイト思フデアリマス、順序ト致シマシテ極ク簡單ニ部落問題其モノニ付テ申上ダタイト思フデアリマス、現在部落ノ人ト申シマスハ、政府當局ノ調査ニ依リマスルト、其數ハ約九十万ト云フコトニナツテ居ルデアリマス、又水平社ノ人ト主張スル所ニ依リマス、其數ハ約三百万ト云フコトニナツテ居ルデアリマス、私共ハ約百五十万位ノ部落ノ人トガアルノデハナカラウカト想像致シテ居ルデアリマス、部落問題ト申シマスノハ是等ノ部落ノ人トガ、一般ノ人カラ侮辱的言辭ヲ以テ取扱ハレルト云フコトニ因リマシテ受ケル所ノ、精神上ノ苦惱ト云フノガ其一ツデアリマス、モウ一ツハ社會上、經濟上、有エル方面ニ於キマシテ、此部落ノ人トガ差別的ノ取扱ヲ受ケマス爲ニ被ル所ノ物質上ノ苦痛、生活上ノ不安、此精神の並ニ物質の二ツノ方面ニ於キマシテ、部落ノ人トガ極メテ不幸ナ状態ニ置カ

レテ居ルト云フコトガ、即チ此部落問題デアアルノデアリマス、一般社會ノ人トガ、部落ノ人ニ對シテ侮辱的言辭ヲ弄シマススト云フコトハ、多クノ場合ニ於テソレハ無意識デアアル、因習ニ因ハレテ居ル爲ニ、是ハ無意識ニ發セラレタモノデアルト云ハレハ方ガアリマス、併ナガラ斯ノ如キ侮辱的言辭ヲ弄シマススト云フコトガ、意識アツテ致シマシタ場合デアツテモ、又無意味ニ發セラレマシタ場合ニ於キマシテモ、ソレニ依ツテ受クル部落ノ人トガ苦痛ニ何等ノ相違ハナイノデアリマス、一例ヲ申上ダマスルナラバ、中國ノ或ル地方ニ於キマシテ、年僅二十三歳ニナル所ノ少年ガ、何等ノ原因ナクシテ鐵道線路ニ立チマシテ、汽車ノ來ルヲ待テ、サウシテ僅カ十三歳ヲ一期ト致シマシテ、鐵路ノ露ト消エタト云フ事實ガアルノデアリマス、是ハ別ニ他ニ何等ノ原因ガアルノデモナイ、唯、其幼心ニ色ニナ侮辱ヲ受ケル爲ニ、自分ガ長キ生キテ居ツテモ、將來吾々ハ決シテ幸福ニナレナイト云フコトヲ爲ニ、其十三ノ少年ガ鐵道ニ觸レテ命ヲ棄テタト云フ事實ガアルノデアリマス、是等カラ考ヘテ見マシテモ、單ニ無意識ニ發セラレル言葉デアツテモ、ソレガ生命ニマデ替ヘナケレバナラヌ程ノ苦痛ヲ與ヘルモノデアルト云フコトヲ考ヘマス時、ソレハ決シテ輕シキモノデナイト私ハ考ヘルノデアリマス(拍手)又形ノ上ノ差別ト云フモノハ、今日ハ非常ニ減少シテ居ル、サウ云フモノハ無イト云フコトヲ言ハレル方ガ屢アルノデアリマス、併ナガラ不幸ニシテ私共ハ斯ノ如キ事實ガ全國到ル所ニ於テ、今尙ホ存スルト云フコトヲ申上ダマスルコトヲ甚ダ悲シム者デアリマス、一、二ノ例ヲ申上ダマスルナラバ、中學校以上若クハ專門學校ニ入學ヲ致シマス際ニ、學術試驗ハ通過致シマシテモ、其身元ヲ調査致シマシタ場合ニ、偶、ソレガ部落ノ人デアルト云フコトノ爲ニ、入學ヲ取消サレタト云フ例ガアルノデアリマス、又或ル地方ニ於キマシテ、入營兵士ガ入營ヲ致シマス際ニ、在郷軍人會ニ於キマシテ軍服ヲ給與致

シマス、其時ニ他ノ一般ノ人トニ對シテハ軍服ヲ貸シテヤツタニ拘ラズ、部落出身ノ入營者ニ對シテハ軍服ヲ貸サナカッタト云フ事實ガアルノデアリマス、其他軍隊ニ於キマシテ、將校ガ部落出身ノ爲ニ、兵卒ガ言フ事ヲ聽カナカッタ、或ハ警察官ニ於テ或ル警部ガ部落ノ出身デアルト云フコトガ分ツタ爲ニ、其警察署ノ巡查ガ舉テ之ヲ排斥シタト云フ例モアルノデアリマス、其他官廳ニ於キマシテモ、又會社商店ニ於キマシテモ、相當ノ地位ニ達シマシタ人ガ、部落出身デアルト云フコトガ分ツタ爲ニ、其職ヲ去ラナケレバナラナカッタト云フ例ハ、決シテ少クナイノデアリマス、徳川時代ニ於キマシテハ、今日ヨリモ差別ハ更ニ甚シイモノガアリマシタケレドモ、其時代ニ於キマシテハ、一方ニ於テ生活ノ安定ト云フモノガアツタノデアリマス、即チ或ル特殊ノ仕事ト云フモノガ部落ノ獨占ニナツテ居リマシタガ爲ニ、社會的ニハ非常ニ差別ヲ受ケ、侮辱ハ蒙リマシタケレドモ、生活上ニ於キマシテ一ツノ安定ヲ持ツテ居タノデアリマス、然ルニ近來資本主義ノ生産組織ガ發達致シマシテ以來、例ハ皮ノ業デアルトカ、或ハ膠ノ業デアルトカ、從來部落ノ人トガ獨占シテ居タ所ノ仕事ヲ、近代ノ資本家ガ之ヲ取上ゲテシマツタ、所謂資本ノ力ニ依ツテ大々的ニ之ヲ經營致シマスル爲ニ、部落ノ人トハ從來持ツテ居タ所ノソレ等ノ獨占事業ヲ、總テ奪ハレテシマツタト云フ事ニナツタノデアリマス、而シテ一方ニ於テ物質的生活、物質上ノサウシタ獨占事業ハ奪ハレテ、而シテ後ニ殘ルモノハ何デアアルカト申シマスルナラバ、ソレハ單ナル因習のナ差別、唯、ソレノミガ後ニ殘ラト云フコトハ、實ニ悲慘ナ事デアルト思フノデアリマス、斯ノ如キ部落問題ガ發生致シマシテ、其結果國家社會ニ及ボシタル所ノ影響ハ、果シテ如何ナルモノガアツタカト云フコトヲ、私共ハ先ヅ考ヘテ見ナケレバナラナイノデアリマス、部落民ノ多數ノ人トハ、今日モ尙ホ斯ノ如キ不幸ナル所ノ状態ニ置カレテ居リツ、唯、ザットソ

レヲ耐エ忍ビ居ルト云フ有様ニ在ルノデ
アリマス、人間ガ人間トシテ尊敬ハサレナ
イ、國民ガ國民トシテ平等ニ取扱ハサレ
ト云フヤウナ、サウ云フ待遇ヲ受ケテ居
シテ居ナケレバナラナイト云フコトハ、何
ト悲慘ナ事デアリマセヌカ(拍手)是ニ於
キマシテカ一部ノ目覺メタル所ノ若キ部
ノ人々ハ、自分等ヲ繋グ所ノ鐵ノ鎖ハ、自
分ノ力ヲ斷タナケレバナラヌト云フコト
依リマシテ、所謂部落解放ノ水平運動ト
云フモノヲ起シテ參ゾデアリマス、然ル
ニ其運動ハ一般社會ノ誤解ヲ招キ、一般
社會カラ不安ヲ以テ迎ヘラレマシテ結果、
到ル所ニ於テ色々所ノ不祥事件ヲ惹起シ
シマツノデアリマス、御承知ノ如ク其事件
ノ中最モ大ナルモノハ、彼ノ奈良縣ニ於
ケル所ノ水平社ト國粹會ノ衝突事件デア
リマス、次ニハ彼ノ群馬縣世田村ニ起リ
タ所ノ事件デアリマス、尙ホ最近ニ於
キマシテ、諸君ノ御承知ノ如ク、福岡ニ
四聯隊ト、私ハ是等ノ事件ニ對シマシテ、
アリマス、併ナガラ其何レニモガアリ、
今茲ニ是非曲直ヲ述ベヤウトスルノデア
リマセヌ、併ナガラ其何レニモガアリ、
レガ非デアリニ致シマシテモ、日本ノ國
ニ於テ、同じ日本ノ國民ノ間ニ於キマシ
テ、斯ノ如キ事件ガ起ルト云フコトハ、國
家ノ不祥事デアルト云フ點ニ於キマシテ
ハ、何人モ御異存ノ無イ事デアルト私ハ考
ヘルノデアリマス(拍手)然ラバ從來政府ハ
此問題ニ對シテ、如何ナル態度ヲ執リ、如
何ナル事ヲ爲シ來タノデアルカ、一言ニ
シテ之ヲ申シマスルナラバ、私ハ政府ノ行
フ所、多クソレハ一時的デアリ、サウシテ
彌縫デアラト私ハ考ヘルノデアリマス、
ソコニ何等根本ナル所ノ國策ガアテ爲
シタノデアリ、唯、一時的ニ之ヲ彌縫ス
ルガ爲ニ行ハレタ所ノ方策ガ多クアツト思
フノデアリマス、何故ナラバ此部落問題ト
云フモノガ所謂政府當局ノ注意ヲ引キマシ
タノハ、何時デアラカト申シマスルト云
フト、彼ノ幸徳秋水ノ大逆事件ト云フモノ

ガ此動機ニナツテ居ルノデアリマス、幸徳
秋水ノ大逆事件ノ際ニ、其中ニ部落出身者
ガ居タト云フコトガ、所謂當局者ヲシテ、
部落ト云フモノニ注意ヲ向ケサシメタ第一
デアリマス、其次ニ部落問題ガ多少政府ノ
注意ヲ惹キ、政界ノ注意ヲ惹キマシテ第二
回目ハ即チ米騒動デアリマス、米騒動ニ於
キマシテ、部落之ニ參加スル人ガ比較的多
カッタト云フコトガ、部落ヲ何トカシナケ
レバナラヌト云フコトノ注意ヲ惹キマシテ、
第二回目デアリマス、而シテ第三回ハ即チ
水平運動ノ勃興デアリマス、之ヲ考ヘテ見
マスト云フト、政府ノ爲ス所ハ常ニサウシ
タ大キナ事件ガ起リマシタ時ニ、之ニ
對シテ深甚ノ注意ヲ拂フタ如ク見エ、
アリマス、即チソレハ一時的デアリ、彌縫
デアルト云フコトヲ申シテモ過言デハナ
カラウト思フ、而シテ政府ノ行ヒマシタ所
ノ施設ヲ見マスト、ソレハ大部分物質
ノ改善デアラ、詰リ表面ノ形ノ上ノ改善
デアラ、デアラマス、即チ部落ノ人々ガ一
般ノ人々カ差別ヲサレ、侮辱ヲサレルト
云フ原因ハ、形ノ上ニ於テ劣テ居ルガ爲
メト云フコトカラ出發シテ居ルノデアリマ
ス、併ナガラ私ハソレハ必シモ無益デア
ルトハ申シマセヌ、ケレドモ此部落問題、部
落ノ人々ガ一般ノ社會ノ人々カ排斥ヲサ
レ、非難ヲサレルト云フコトハ、形ノ上ニ
於テ劣テ居ルガ爲メデハナイノデアリマ
ス、今日部落ノ人々ガ一般ノ人々ニ較ベテ、
劣テ居ル所ノ生活狀態ヤ何カニ置カレテ
居ルト云フコトハ、是ハ差別ヲサレマシタ
爲ニ起タ所ノ結果デアラ、決シテ原因デ
ハナイノデアリマス、而シテ其原因ハ果シ
テ何處ニ在ルノカト申シマスナラバ、ソレ
ハ一般社會ノ差別的觀念、一般ノ側ニアル
所ノ因襲的差別的觀念ト云フモノニ基イテ、
今日部落ハ斯ノ如キ窮狀ニ陥ツタノデア
リマス、隨テ此問題ヲ解決シマス爲ニハ、
所謂一般人ノ誤レル所ノ差別的觀念ヲ除去
スルニ非ズンバ、此問題ヲ解決スル途ハ決
シテ無イノデアリマス、水平運動ハ時ニ過激
ニシルトコトガアリマス、近頃ハ一般社會ノ

人々ガ、部落ト云フコトヲ言フ代リニ、水平
社ト云フコトヲ言ハレマスケレドモ、水平
社ト云フモノハ、部落ノ人々ノ間ノ極ク一部
分ノ人々ニ依リテ組織サレテ居ル所ノ團體
デアリマス、而モ此水平社ノ中ニ於キマシ
テモ、過激ナ行動ノ爲ニ、百五十万乃至二
万ト云フ所ノ多數ノ部落ノ人々ガ、一般
社會ノ人々カ不安ヲ以テ見ラレ、恐怖ヲ
以テ迎ヘラレルト云フコトハ、私ハ甚ダ嘆
カハシイコト、考ヘルノデアリマス(拍手)
而シテ政府ハ徒ニ之ヲ取締リ、或ハ之ヲ抑
壓スルト云フ所ノ方法ヲ執ラレタノデア
リマス、吾々ハ水平運動ト云フコトニ對シ
テ、一般社會ノ人々ノ正當ナル理解ヲ促シ、
而シテ、水平運動ヲ正シキ運動タラ
シメルト云フコトハ、是ハ政府ノ責任デハ
ナカラウト私ハ考ヘルノデアリマス、最
後ニ何ガ故ニ國策ヲ確立スル必要ガ
アルカ、勿論全國ノ融和問題ニ關係ヲ致
シマス所ノ多數ノ人々ガ、此部落問題
ニ對シテ、政府ノ國策ヲ樹立シテ貰ヒタイ
ト云フ要求ガアル爲メデアルト云フコトハ
申スマデモアリマセヌ、併ナガラ私共ガ考
ヘマス時ニ、此部落問題ニ對シテ、國策ヲ
確立シナケレバナラヌ必要ハ十分ニアルト
思フノデアリマス、何故ナラバ、第一ニ
ハ人間上ノ大問題タト私ハ考ヘルノデア
リ、人間ガ人間ヲ侮辱スル、人間ガ人間ヲ
尊敬セヌト云フコトハ、是ハ神ニ對スル所
ノ冒瀆デアルト私ハ思フノデアリマス、政
治ノ理想ト云フコトハ、國民ヲシテ所謂社
會ノ自由ヲ得セシメルト云フコトガ、政治
ノ理想デアリマセウ、而シテ其社會ノ自由
ト云フモノヲ國民ニ有セシメル爲ニハ、所
謂人格ノ平等ト云フコトヲ確立スルコトガ
等——人格ノ平等ト云フモノヲ確立スル
デナケレバ、是ハ眞ノ政治デハナイト思フ
ノデアリマス(拍手)私共ハ斯ノ如キ國民ガ
國民ヲ侮辱シ、人間ガ人間ヲ冒瀆スルト云
フヤウナコトハ、眞理ノ上カラ申シマシ
テモ、又實際ノ政治ノ上カラ申シマシテモ、
是非トモ此日本ノ國內カラ除去シナケレバ

ナラヌ事デアルト思ヒマス、更ニ彼ノ歐洲
大戰爭ノ後ニ、平和會議ノ席上ニ於キマシ
テ、私共ノ代表ハ——、我ガ日本ノ代表ハ
列國ノ前ニ人種差別撤廢ト云フ所ノ案ヲ提
出致シタノデアリマス、是ハ私共日本ノ國
民ト致シマシテ、世界人類ノ前ニ斯ノ如
キ立派ナル所ノ提案ヲ爲シタコトヲ密ニ誇
リトスル者デアリマスガ、併シ願ミテ自分
ノ國內ヲ見テ、我ガ日本ノ國內ニ於キマシ
テ、此部落問題ト云フガ如キ忌ハシキ問題
ガ假リニアリトシテ、吾々ガ之ヲ解決ス
ルコトガ出來ナイト致シマスナラバ、世界
人類ノ前ニ人種差別撤廢ノ案ヲ出シタト云
フコトニ對シテ、吾々ハ慚愧タルモノガアリ
ハシナイカト思フノデアリマス(拍手)私
我ガ日本ノ國ニ取リマシテ、將來政治上
ノ最モ大キナ問題トナルモノハ、彼ノ朝鮮
問題デアルト私ハ信ズルノデアリマス、英
吉利ノ國ニ於ケル所ノ愛蘭問題ト云フモノ
ハ、英吉利ノ政治上ニ於テ、最モ重大ナ困
難ナ問題デアラ、我ガ日本ノ政治上
ニ於テハ、將來此問題ト云フモノハ、極
メテ重大ナ問題デアルト思フノデアリマス、
此部落問題ニ對スル所ノ吾々ノ態度、此部
落問題、今日ノ國內ニ於ケル所ノ部落問題
ト云フモノヲ、吾々ハ如何ニ取扱ヒ、之ヲ
如何ニ處斷スルト云フコトガ、將來朝鮮問
題ニ對スル吾々ノ態度ヲ窺フ所ノ一ツノ資
料ニナルモノデハナカラウト、私ハ考ヘ
テ居ルノデアリマス、同じ國民デアル、同
ジ日本ノ國內ニ於テ、何等違フ所ノ無イ
國民ニ對シテ、差別的取扱ヲシ、之ニ對シ
テ平等ノ取扱ヲスルコトガ出來ナイヤウナ
我ガ日本デアラナラバ、將來此民族ノ違フ
所ノ朝鮮ニ對シテ、恐クハ完全ナル所ノ政
策ヲ執ルコトハ、極メテ困難デハナカラウ
カト思フノデアリマス、部落問題ハ所謂人
道上ノ問題トシテモ、極メテ重大デアリマ
スガ、又社會問題ト致シマシテモ極メテ重
大ナモノデアルト考ヘルノデアリマス、諸
君ニ於ケレマシテハ、彼ノ勞働問題、或ハ
小作問題ト云フモノニ付テ、極メテ熱心ニ
之ヲ研究サレルノデアリマス、願クハ社會

問題中、勞働問題及小作問題ニ比ベテ、其重大サニ於テ必シモ劣ラナイ所ノ此部諸問題ニ對シテ、願クハ十分ノ研究ヲサレ、サウシテ此問題ヲ一日モ早ク解決サレンコトヲ望ムデ已マナイ者デアリマス、私ハ政府ニ對シテ此問題解決ノ爲ニ、確乎タル所ノ國策ヲ確立シテ貫ヒタイ、サウシテ一日モ早ク此忌ハキ問題ヲ、我ガ光輝アル所ノ日本ノ歴史カラ除去シタイ願フ者デアリマス、諸君ニ於カレマシテモ、ドウゾ私ノ申上ダタ所ニ御賛成ヲ戴キマシテ、政府ヲシテ此問題ニ對スル所ノ方策ヲ誤ラザルヤウ、御援助ヲ切ニ願フ次第デアリマス

○議長(粕谷義三君) 之ニ對シテハ贊成演說ノ通告ガアリマス、順次之ヲ許シマス、荒川五郎君

〔荒川五郎君登壇〕

○荒川五郎君 諸君、人道ノ最も大切ナルコトハ平等ノ尊重ト云フコトデアリマス、民族ノ進歩モ、社會ノ幸福モ、將タ國運ノ發展モ、此人道ノ尊重カラ出發シナケレバナラスコトハ、今更私ガ申上ダルマデモナイノデアリマス、然ルニ封建階級ノ制度カラ、茲ニ謂レナキ差別ノ因襲ヲ馴致シテ參リマシタガ、幸ニ維新ノ改革ト共ニ一視同仁ノ大精神ヲ以テ、制度ノ上ニハ此陋習ヲ打破シタノデアリマス、然ルニ實際ニ於テハ昭和ノ今日ニ至ッテ、尙ホ全國到ル所ニ此陋習ノ餘弊ヲ存シマス爲ニ、社會ノ平和ヲ害シ、人文ノ進歩ヲ妨ゲツ、アリマシテ我ガ社會ノ最も深刻ニ且ツ最も慘酷ナル狀態ヲ見ツ、アルコト、只今有馬君ノ一二例ヲセラレタガ如キコトガアリマスルコトハ、我ガ聖世ノ今日ニ於テ衷心遺憾ニ堪ヘナイ次第デアリマス、此問題ハ實ニ差別セラレル一部ノ人ノ問題デアリマス、民族總體ノ問題デアリマス、我ガ光輝アル帝國ノ地位、民族ノ光榮ニ關スル我ガ全民族ノ重大ナル問題デアリマス、我ガ國民ハ何人モ各自個々ノ人々ノ問題トシテ、誰人モ決シテ傍觀ノ態度ヲ執ルベキモノデハ斷ジテナイト信ジマスル、隨テ決シテ一時の姑息、糊塗ノ小仁ヲ行ウテ、漫然時日ヲ看過スル

コトヲ許サナイ問題デアリマスカラ、政府ハ深ク此問題ノ真相實際ヲ明ニ致シテ、大々的ノ施設方法ヲ確立致シ、一日モ早ク我ガ帝國ノ社會カラ、此忌ムベキ陋習ヲ一掃シテ、民生全般ヲシテ、一視平等ノ幸福仁政ヲ享受セシムルヤウ其日ヲ見ンコトハ、洵ニ私共ノ日夜痛感致シテ居ル所デアリマス、此度私共提出ノ本建議ガ幸ヒ建議案提出ノ順序ニ依ラズシテ、特ニ日ヲ早メテ本日ノ日程ニ載セラレ、更ニ本日ハ政府ノ重要ナル議案ガ多キニ拘ラズ、其同意ヲ得テ緊急動議ヲ以テ、本日日程ノ劈頭第一ノ議ニ上サルヤウ滿場一致ノ贊成ヲ得マシタコトハ、如何ニ此問題ノ精神ヲ重大ニ取扱ハル、カノ、滿場諸君ノ誠意ノ顯レトシテ、深ク敬意ヲ表スル次第デアリマス、冀クハ政府ニ於テモ全幅ノ努力ヲ拂ヒ、速ニ御趣旨ノ實行セラレ、精神ノ徹底センコトヲ衷心深ク切望シテ已マナイ次第デアリマス、以上茲ニ希望ノ要旨ヲ一言致シタ次第デアリマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 次ハ原惣兵衛君

〔原惣兵衛君登壇〕

○原惣兵衛君 本員ハ茲ニ部落問題國策確立ニ關スル建議案ニ贊成ノ意ヲ表スル爲ニ、此壇上ニ立ツノ光榮ヲ有スル次第デアリマス、建議ノ理由ニ付キマシテハ、最早有馬議員ヨリ完膚ナキマデノ御説明ガアツタノデアリマスカラ、唯、滿腔ノ贊意ヲ表シテ足リルノデアリマスルガ、少シク一二ノ御希望ヲ申シテ、私ノ其贊成ノ意ヲ表シテ見タイト思フノデアリマス、先ヅ内政ニ於テ吾々此問題ハ一文化思想問題デアルトカ、一感情ノ問題デアナクシテ、我ガ國內ニ於テ國民ノ前ニ横ハレル所ノ重大ナル現實ノ社會問題デアリマス、此問題ハ全ク吾々同ジ同胞デアリ、全ク同ジ血ノ流れテ居ルニ拘ラズ、單ナル所ノ因襲の一ツノ慣習カラ來ル此差別ニ對シテハ、吾々明治大帝ノ御懿旨ノ如ク此弊ヲ打破シテ、本當ノ新シキ吾々新帝國ノ民族ノ結合シタル國家ノ建設ニ向ハナケレバナラナイト思ウテ居ルノデアリマス、此時ニ於キマシ

テ此内政ニ於ケル現實ノ重大ナル問題デアルト共ニ、果シテ國外カラ此問題ヲ如何ニ觀察致シテ居ルカト云フ點ニ付キマシテ、少シク述ベテ見タイト思フノデアリマス、時恰モ千九百二十二年ノ四月、所謂水平社運動ガ起リマシ、奈良縣下ニ於ケル所ノ一ツノ爭ガ起リマシ、我ガ司法權ノ前ニ其爭ヲ惹起シタル問題ハ、當時獨逸ノ伯林ニ於キマシテ、其當時ノ國外カラ見タル所ノ宣傳ハ、大新聞ニ如何ナル論說ガ掲ゲラレタカト云ヘバ、當時ノ「ナハリヒテン」「ターゲブラッ」ニ於キマシテハ、我ガ日本國家ニ於ケル此人種ノ鬭爭ト題シテ、日本國內ニ所謂國內的ニ一ツノ爭ガ起ッテ來ルデアラウ、此大キイ問題ハ國內カラ自ラ破壊ノ端ヲ招クデアラウト云フ、大論文デアリマシタ、當時露西亞ノ宣傳ニ依ルコトハ勿論デアリマス、當時露西亞ノ宣傳ニ依ルコトハ勿論デアリマス、所謂日本ノ特派スル露西亞系ノ「アナキズム」ノ連中カラ此報道ガサレタノデアリマス、此時吾等伯林ニ在タル所ノ同胞ハ、此大論說ヲ見タイ時ニ於キマシテ、洵ニ吾々國內ニ於テ斯ル事ガアルマジキコトデアリ、我ガ此同ジ血ノ兄弟間ニ於テ、斯様ナ宣傳ガ國外カラ宣傳サレルト云フコトハ、實ニ心外デアリ、私等ノ同胞トシテ斯様ナ事ハ斷ジテナイノデアリマス、國外的ノ一ツノ宣傳ニ乘ゼラレルト云フコトハ、全ク遺憾ニ感ジタ次第デアリマス、斯様ニ國外的カラ見テモ斯ノ通りデアリノデアリマスカラ、吾々内政問題ヲ國際的ノ上カラ見テモ、誤解ヲサレ易イ點ニ於テ、吾々ハ大ニ注意ヲセナケレバナラヌ所ノ大問題デアリマス、此問題ハ一法律ノ力ニ依ッテ、制裁ヲ加ヘテ足リル問題デアリマス、有ユル方面ヨリ其施設ヲ政府ニ對シテ建議ヲ致スノデアリマス、私ハ單ナル法律ノ制裁ヲ求メルト云フヤウナ問題デアナク、國民全體ノ精神上ノ理解ニ基カケレバナラナイト思ウテ居ルノデアリマス、此精神上ノ理解ハ、全ク國民全體ガ之ニ據ラナケレバナラヌコトハ勿論デアリマスルケレドモ、進ンデ政府ハ、所謂此國家ノ中心タル政府ハ、之ニ對シテ

本當ノ施設ヲ爲シテ、此誤解ヲ解キ融和ヲ圖ル爲ニ此建議ヲ爲スノデアリマス、願クハ政府ニ於テハ有ユル施設ヲ施シテ、十分ニ此建議ノ意思ヲ貫徹セラレンコトヲ願フト共ニ、私等ハ此建議案ト云フモノガ、一法律案デアルトカ、個々の問題デアナク、又他ノ我ガ議會ニ於ケル所ノ諸君ノ國家ノ個々の施設ニ關スル建議デアナク、正ニ我ガ國民全體ノ上ニ横ハレル大ナル建議デアルト私ハ思ウテ居ルノデアリマス、其意味ニ於キマシテ願クハ滿場一致ノ御賛成ト共ニ、此議會終了後ニ於テハ、宜シク、國民理解ノ前ニ於ケル所ノ一ツノ材料トセラレ、此議會中ニ於ケル所ノ一ツノ大建議デアルコトヲ國民全體ノ理解ノ爲メ、報告セラレル材料ニ供セラレンコトヲ切ニ望ムデ、私ノ演說ハ止メル次第デアリマス

○議長(粕谷義三君) 中村啓次郎君

○中村啓次郎君 簡單デアリマスカラ、當席ヨリ發言ヲ御許シテ願ヒタイト思ヒマス、此案ハ今日ノ日程ハ十三デアリマシテ、他ノ極メテ重要ナル八十二ノ日程ヲ變更シテ、緊急上程サレタノデアリマス、右様ナル次第デアリマスカラ、他ノ重要ナル案ノ提出者ニ對スル遠慮モアリマスカラ、私ノ贊成意見ハ委員會ニ於キマシテ開陳致スコトニ致シマシテ、此場合溢ル、同情ト、燃ユル熱ヲ以テ、此案ヲ支持スル者デアルト云フコトヲ申上ダルダケニ止メタイト思フノデアリマス、何卒滿場諸君ニ於キマシテモ、一致可決、政府ニ於キマシテモ此意思ノ存スル所ヲ體用シテ、速ニ相當ノ施設ヲセラレンコトヲ切ニ希望スル者デアリマス(拍手)

○井本常作君 本案ハ議長指名、特ニ十八名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(粕谷義三君) 井本君ノ動議ニ御異議アリマセウカ

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ委員付託ニ決シマシタリ

一、花柳病豫防法案ノ第一讀會ノ前會ノ續

ヲ開キマス、質疑ヲ繼續致シマス、官島幹之助君

第一 花柳病豫防法案(政府提出)

第一讀會(前會ノ續)

〔宮島幹之助登壇〕

○宮島幹之助君 今回政府ヨリ御提出ニナリマシタ花柳病豫防法案ニ付キマシテハ、前同吉良君カラ政府當局ニ御質問ガアリマシテ、大體其内容ヲ窺フコトガ出来タノデアリマス、花柳病ハ年ト共ニ益々蔓延致シマシテ、我が國民ノ衛生ハ勿論ノコト、經濟並ニ國防ニモ影響致ス所ノ重大ナル問題デアリマス、故ニ吾々ハ一日モ早ク花柳病豫防法案ノ出ルコトヲ待テ居テ居タ者デアリマスガ、幸ニ今回ノ議會ニ政府ハ提案致サレマシテ、吾々ハ大ニ之ヲ喜シタノデアリマス、併ナガラ其内容ヲ詳細ニ拜見スルニ及ビマシテ、先キノ喜ビハ一大失望ヲ吾々ニ感ゼシメタノデアリマス(拍手)故ニ私ハ此花柳病豫防法案ニ付テ懷ク所ノ數項ノ疑點ヲ茲ニ開陳致シテ、政府當局ノ御答辯ヲ煩シタイト思フノデアリマス、第一、此法案ヲ全部通ジテ拜見致シマスルト、何處ニモ男女ノ區別ト云フヤウナコトハ舉ゲテアリマセヌ、ケレドモ其内容ヨリ判斷ヲ致シマスルト、是ハ吉良君ノ仰セニナク通リ、女ヲ巨當ニシタ所ノ一ツノ法案デアリマス、且又其婦人モ特殊ノ業態ニ服スル所ノ婦人、即チ換言致シマスレバ、所謂淫賣婦ナル者ニ限ラソノ法案デアリマシテ、此點ハ如何ニ政府當局ガ強辯致サレテモ、動カスコトノ出来ナイ内容デアルト私ハ判斷スル者デアリマス、然ルニ此花柳病ノ流行致シマスル狀態ヲ精細ニ觀察致シ、又外國ニ於ケル所ノ狀況ナドヲ調ベテ見マスルト、常ニ病毒ヲ持テ居ル者ハ女ニ限ルトハ言ヘナイノデアリマス、ノミナラズ之ヲ統計ニ取テ調ベテ見マスルト、花柳病患者ノ四分ノ三ハ男子デアリ、四分ノ一ガ女デアルト云フコトハ、是ハ世界共通ノ一ツノ現象デアリノミナラズ、我國ノ最モ大切ナル中堅デアル壯丁ノ検査成績カラ見マスルト、

毎年々々壯丁千人ニ對シテ約二十二人ノ割合デ花柳病患者ガアルデアリマス、故ニ本案ガ婦人ノミヲ對象ト致シテ設ケラレタルコトハ、如何ナル御考ニ基クモノデアルカ、此點ヲ伺ヒタイ、又消極的ニ病毒ヲ媒介スル所ノ者ニ、體刑マデ加ヘテ制裁ヲ致シナガラ、積極的ニ病毒ヲ蔓延セシムル所ノ男子ニ向テ何等ノ制裁ヲ加ヘナイト云フコトハ、是ハ不公平千萬ナ法律ト見ルノ外ハナイト私ハ思フノデアリマス、(拍手)諸君、立法ハ公平デナケレバナラス、公正デナケレバナラヌノデアリマス、然ルニ此法案ハ、男女ノ別ニ因リ、或ハ職業ノ如何ニ因リ、或者ニハ法ガ行ハレハナイコトヲ如何ナル次第デアリマスカ、立法ノ上ヨリ申シマシテ、此點ヲ御説明願ヒタイノデアリマス、第二ニ伺ヒタイコトハ、主トシテ本案ノ第二條、第五條ニ關スル事項デアリマス、此案デ見マスルト、賣淫ノ行為ガアツタ場合、殊ニ病毒ヲ持テ居タルノト云フコトガ分タラバ、ソレハ罰セラル、所ガ御承知ノ通り花柳病ナドハ普通ノ醫者デモ中々診斷ガムジカシモノデアリマシテ、或ル種類ノ疾病ニナリマスルト、其道ノ專門家デナケレバ立派ナ診斷ノ下セナイモノガ多イノデアリマス、然ルニ此賣淫ノ行為ヲ致ス所ノ教育ノ無イ、又低能ナ婦人ニ於テ、果シテ是等ノ疾患ヲ自ラ判斷シ得ルヤ否ヤ、是ハ常識カラ考ヘマシテモ極メテ困難ナ事デアリマシテ、私ハ第五條ニ於テ斯ルコトヲ規定サレタコトハ、一體ドウ云フ譯デアルカ、是ハ恐ラク獨逸ナドニ於テ行ハレテ居ル所ノ條文ニナラテ作ラレタモノト私ハ想像スル、併ナガラ獨逸ニ於ケル花柳病豫防法中、此條項位困タモノハナイト聞イテ居ルノデアリマス、非常ニ困難ヲ感ジテ、今更如何トモスルコトガ出来ナイ、然ルニ我國デ新ニ立法セラレル場合ニ當テ、斯ル困難ナ條項ヲ如何ニシテ御採用ニナツタノデアルカ、此點ヲ一ツ伺ヒタイノデアリマス、更ニ御何致シタイ事ハ、本法案ノ第二條、第三條、第四條ニ互ニ拜見致シマスルト云フト、花柳

病豫防ノ爲ニ、政府ハ市又ハ公共團體ニ命ジテ診療機關ヲ設ケシムルト云フコトガ推察サレルノデアリマス、一體斯様ナ機關ヲ或ハ市ニ命ジテ設ケサセラレルナラバ、單リ一部分ノ淫賣行為ヲ致シタ所ノ如何ガハシイ婦人ニ對シテバカリデハナク、多數ニ存在スル所ノ公衆ニ向テモ、解放シナケレバナラヌ性質ノモノデアラウト私ハ信ズルノデアリマス、然ルニ之ヲ極メテ限局シタ範圍ニ應用セシメテ、之ヲ廣ク利用セシメナイ理由ハ何處ニ在ルノデアリマスカ、此點ヲ御何致シタイ、恐ラク政府ハ唯、賣淫ダケニ重キヲ置カレテ、病毒ヲ不知不識他ニ媒介スル者ノアルコトヲ御承知ガナイノデハナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、其第一ハ何デアルカ、即チ子供ニ病毒ヲ傳ヘル所ノ危險ナル乳母デアリマス、此乳母ナル者ガ若シ不幸ニシテ病毒ニ罹テ居タルスルト、其乳ニ依テテ病毒ハ憐メキ嬰兒ニ傳ハルノデアリマス、サウシテ遂ニキ嬰兒フベカラザル所ノ危害ヲ醸スノデアリマス、若シ診療機關ヲ新ニ設ケルナラバ、斯ル乳母ノ如キ重要ナ職業ヲ致ス所ノ人間ニ向テ、無料デモテ検査ヲシテ、治療シテヤルコト云フコトガ最モ必要ナコトデハナイカ、此點ヲ一ツ御何致シタイノデアリマス、又第二ニハ、私ノ同僚デアル有名ナ微生物ノ特效藥デアル、六百六號ノ發見者ノ一人デアル泰佐八郎博士ナドノ研究セラレタ所ニ依リマスルト云フト、日本ニ於テモ外國ニ於ケルガ如ク、多數ノ婦人ノ中ニハ知らヌ間ニ微毒ナドニ感染シテ、ソレガ何等ノ症狀ヲ呈セズ、所謂潛在性ノ微毒トナッテ居ルモノ、中々多イコトヲ報告シテ居ラレルノデアリマス、此潛在性ノ微毒ハ極メテ危險ナモノデアリマシテ、之ヲ治療致サナイト云フト、其病毒ハ子ニ傳ハリマス、或ハ妊娠ヲ致シタ場合流産ヲスル、或ハ早産ヲ致シ、若クハ子供ガ生レマシテモ早く死ヌノデアリマス、其割合等ハ一々統計ガ取テアルノデ、決シテ疑フ餘地ノ無イ事實デアアル、且又我國ノ統計ヲ見マシテモ、死産ノ多イコトハ世界文明國ノ中デ最モ甚

ダシイモノデアリマシテ、且又生レタ後二歳以內ニ死ヌ所ノ小兒ノ數ト云フモノハ、夥シイ數ニナツテ居ルノデアリマス、然ルニ是等ノ潛在性ノ微毒、最モ恐ルベキ、最モ子孫ニ累リ及ボス所ノ、是等ノ知ラヌ間ニ病毒ヲ持テ居ル人達ニ對スル施設ヲ致シマシテハ、早期ニ之ヲ診斷シ、妊娠シタ場合一々之ヲ検査シテ、サウシテ若シ微毒ガアツタナラバ、之ヲ治療シタルト云フコトハ、小兒ノ死亡率ヲ減ズル上ニ於テモ、又其人ノ幸福ノミナラズ、其家庭ニ於ケル所ノ關係ヲ立派ニ致ス上ニ於テモ、最モ必要ナルモノデアアル、斯様ナ事實ガアルニ拘ラズ、市或ハ公共團體ノ設ケタ所ノ診療機關ヲ、僅ニ一局部ノ淫賣者、即チ法律ヲ犯シテ淫賣行為ヲ爲ス者ニ付テダケ設ケテ居ルノハ、ドウ云フ理由デアリマスカ、其理由ヲ伺ヒタイ、其次ニ伺ヒタイノハ、現内閣ハ賣藥ト云フモノハ無産階級ニ缺クベカラザル所ノ必需品ナリトシテ、税金マデモ御廢シナツタ、故ニ私ハ第一ニ疑フ起シタ、ソレハドウ云フ點デアアルカト申シマスルト云フト、第五條ニ「傳染防止ニ付相當ノ方法」ト云フコトガ書イテアリマス、即チ此「相當ノ方法」ト云フ極メテ明瞭ナラザル言葉ノ中ニ、賣藥好キノ現内閣ハ、賣藥ノ獎勵ヲサレルノデアリマシカト云フコトヲ私ハ心配致シタノデアリマス、諸君、私ノ知テ居リマス範圍ダケニ於キマシテモ、花柳病ニ罹ラタ或ハ微毒、或ハ淋病ニ罹ラタノ使用スル賣藥ハ、中々多額ニ達シテ居ルノデアリマス、一例ヲ申上ダマスルト云フト、富山縣下デ賣出シテ居ル微毒藥ハ、年額百六萬圓賣レテ居ルノデアリマス、尙ホ淋病藥ノ如キ、一方劑デ以テ一年ノ賣高ハ六十三萬餘圓ニナツテ居リマス、斯様ニ賣藥ガ花柳病ニ廣ク使ハレテ居ルケレドモ、賣藥ノ性質ト致シマシテ、決シテ有效ナルモノデハナイ、唯、單ニ一時ノ苦痛ヲ免レシムルダケデアツテ、決シテ根治スルモノデハナイノデアリマス、斯ル場合賣藥ヲ用フルト云フコトハ、花柳病ノ蔓延ヲ致ス一大原因デアリマシテ、歐羅巴ノ文明國デハ賣藥ノ取締ト

云フコトヲ、極メテ嚴重ニヤツテ居ル、然ルニ政府ハ昨年賣藥稅ヲ廢止シテ、賣藥ノ濫出ヲ促シテ居ル、之ニ對シテマダ何等ノ方法ヲ講ジテ居ナイノデアリマス、昨年ノ稅整委員會ニ於テ、當時ノ內務大臣若槻首相ハ國民ニ向テ賣藥ノ弊害ノ起ラヌヤウニ相當ノ施設ヲスルト云フコトヲ言明サレタニ拘ラズ、今日マデ唯、考ヘ放シニシテ抛テ置クト云フコトハ、ドウ云フ理由デアアルカ、私ハ其理由ヲ御聽キ致シタイノデアリマス、更ニ御聽致シタイコトハ澤山アリマスケレドモ、此所ニハ次官ト參與官タケデ、恐ラク吾輩ノ質問ニ對シテハ、答辯ニ窮スルコトガアルヲラウト思ヒマス、ソレデアルカラ、委員會ニ讓テ、餘リ細カイ事ニハ這入ラヌ積リデアリマスカラ御安心下サシ、更ニ轉ジテ文部當局ニ御尋致シタイ事柄ガアルノデアリマス、第一ハ、何ノ國ニ於テモ此花柳病ノ蔓延ハ、主トシテ性ニ關スル教育ノ不完全ナルコトニ基クコトハ何人モ認ムル所デアリマス、此性教育ト云フモノハ、我國ニ於テハ兎角或ル一種ノ間違タ慎ミカラ致シテ、何等ノ方法ガ講ジテナイヤウニ私ハ觀察シテ居ルノデアリマスルガ、文部當局ハ性教育ト云フコトニ付テ、如何ナル御考ヲ御持チニナツテ居ルカ、之ヲ一ツ伺ヒタイ、既ニ他ノ文明國ニ於テハ、性教育ニ付テ色々ナ研究ヲ致シ、又相當ノ施設ヲ致シテ居ルノデアリマス、之ニ對シテ我國ノ文部當局ハ如何ナル方法ヲ御講ジニナツテ居ルノデアアルカ、之ヲ第一ニ伺ヒタイ、第二ニハ現内閣ハ頻ニ社會政策ヲ稱シテ、色々ナ方法ヲ御講ジニナル、此花柳病法案ノ如キモノハ、又一ツノ社會政策ノ一端デアリマセウ、其他現在實行サレテ居ル所ノ健康保險法、或ハ先年カラ實施サレテ居ル所ノ結核豫防法、或ハ「トラホーム」豫防法、是等ノ法案ノ實行ニハ悉ク全國ニ分布シテ居ル所ノ五万ノ開業醫ノ協力ヲ藉

ラナケレバ、決シテ實效ノ舉ガルモノデアナイノデアアル、然ルニ醫學ハ月ト共ニ進ミ、日ト共ニ新シイ事ガ加テ來ルノデアリマス、隨テ民間ニ居ル所ノ開業醫ニ對シテ、日進ノ醫學、新シイ所ノ技術ヲ講習サセルト云フコトハ、最も必要ナルコトデアリマスルガ、今日政府ハ、何等カ此開業醫ヲ向上發達セシムベキ、講習機關ヲ御設ケニナツテ居ルカドウカ、若シ今日マデマダナイトスレバ、將來講習會ト云フヤウナコトヲ御實行ニナル御意思ガアルカドウカ、此機會ニ於テ私ハ伺ヒテ置キタイト思フノデアリマス、最後ニ私ハ再ビ內務當局者ニ向テ御尋致スコトガアル、ソレハ何デアアルカ、即チ此法案ハ花柳病豫防法ト銘打ッテ出タケレドモ、事實之ヲ内容ヨリ審查致シマスレバ、淫賣行為ノ取締法ニ過ギナイノデアリマス、所謂羊頭狗肉ノ法案ノ世間デハ批評ヲ致シテ居ルノデアリマス（拍手）現政府ハ兎角衛生問題ニ對シテハ非常ニ考慮ヲスルコトハ御好キデアアル、常ニ考慮々々ト言フテ居ラレル、考慮ノ好キナ現内閣ハ、斯ル不完全ナル法律ヲ出スニ當テ、モウ一年位之ヲ考慮スルノ意思ナキヤ否ヤ、之ヲ御聞キシタイノデアリマス（拍手）

（政府委員俵孫一君登壇）

○政府委員（俵孫一君） 宮島博士ノ御熱心ナル御質問ノ御趣旨ヲ傾聴致シマシタ、私ヨリ一々各條ニ依リテ御答ヲ致シタイと思ヒマス、先ヅ第一ノ御質問ハ、此法案全體ヲ通ジテ女性ヲ目標トシテ居ル、男性ヲ全ク不問ニ置イテ居ルデハナイカ、斯ウ云フコトデアリマスガ、此點ニ付キマシテハ、先日吉良君ノ御質問ニ對シテ御答シタト思ヒマスルガ、宮島博士モ申サル、ガ如ク、此法案中ノ何處ニモ、別ニ男女ノ區別ヲシテ居ルモノハナイノデアリマス、殊ニ第五

條ノ如キモノハ、申上ダマスルマデモナク矢張是ハ男性ニモ女性ニモ、一樣ニ適用サル、モノデアアル、唯、第二條ノ特殊ノ事柄ヲ營ム者ハ女性ニ限ル場合デアリマス、デアリマスガ是ハ自己ノ病毒ヲ診療スル爲ニ任意ニ診療ヲセシムルト云フ、寧ろ病者其者ヲ保護スル規定デアアルノデアリマス、ソレ故ニ別ニ女性ノミニ對シテ、特別ナル又特殊ナル取扱ヲシタト云フコトハ當ラヌノデゴザイマス、問題ハ吉良君ノ御質問ニ御答シタ如ク、唯、賣ルト云フ者ダケデナクシテ、買フト云フ者ヲ何故罰セヌカト云フコトニ當ルデアラウト思フ、是ハ此前モ御答申シタ通りニ、マダ其時期デナイト御答スルノ外ハアリマセヌ、第二ノ御質問ハ第五條ニ花柳病ニ罹リタルコトヲ知リテ云々トアル、此知ルト云フコトハ餘程ムジカシイ、隨テ知ルト云フコトヲ前提ニシテ、此犯罪ニ係カルガ如キ行為ガアルノデアアルカ、是ハ餘程實際ニ困難デハナイカト云フ意味ノ御質問デアッタヤウデアリマス、是ハ宮島君ハ能ク此條文ニ付キマシテ、尙ホ御一讀ヲ願ヒタイノデアリマス、是ハ「花柳病ニ罹レルコトヲ知リテ」云々デアアル、若モ宮島君ノ仰セノ如ク、其知ルトコトガ困難デアルト云フナラバ、知ラナイト云フ證明ガアルナラバ、隨テ此條文ノ適用ヲ免ル、ノデアリマス、知ッテ云々ト云フコトデアリマスカラ、隨テ其御非難ハナカラウヤウニ考ヘルノデアリマス、第三ニ診療所ノ問題デアアル、折角政府ガ補助ヲシテ診療所マデ設ケ、診療機關ヲ設ケタナラバ、之ヲモウ少シ手廣ク利用シタラドウカ、此趣旨ハ洵ニ贊成デアリマス、唯、茲ニ今回ノ計畫ニ付テ政府ノ趣意ヲ申上グレバ、今回ハ此花柳病ニ付テハ宮島君ノ申サレル如ク、最も恐ルベキ病毒デアリ、子孫ニマデ惡影響ヲ與

ヘル病毒デアリマスカラ、之ヲ如何ニシテモ豫防シナケレバイカヌ、即チ豫防ト云フコトガ最も必要デアルト云フ點ヨリシテ、所謂傳染若クハ傳播ノ虞ノアルモノ、其者ニ付キ先ヅ第一著手ニ是ガ取締若クハ防遏、防止ヲスル計畫ヲ立ッテ、成程宮島博士モ言ハレル如ク或ハ乳母、或ハ潛在性患者、斯ウ云フ恐ルベキモノデ十分ナル豫防ヲシナケレバナラヌモノガ澤山アルノデアリマスガ、是等ヲ悉ク無料診療デモスルトカ、或ハ有料ニシテモ容易ニ診療セシムルト云フコトニ付テ致シマスレバ、モットモト大キナ規模、モット大キナ設備ヲシナケレバナラヌト云フコトニナルノデアリマスカラ、先ヅ第一ニ最も恐ルベキ、最も傳播ノ虞ノ多イ業態、若クハ行為其モノニ對シテ十分ニ之ヲ取締ルト云フコトヲ以テ、先ヅ第一著手ノ施設ヲ致シマシタ譯デアリマスノデアリマス、第四ニハ第五條ノ第二項、即チ「傳染防止ニ付相當ノ方法ヲ講ジタル」此相當ノ方法ノ中ニハ所謂賣藥ナルモノガアリハセヌカ、斯ウ云フコトノ御尋デアリマスガ、是ハ相當ノ方法トハ茲デドウ云フモノデアルト云フコトヲ一例示スルコトハ餘程困難デアリマス、又或ハ例示セヌコトガ必要デアアルカモ知レマセヌ、即チ是ハ法ノ適用者若クハ實際其各人ノ見ル所ニ依ッテ、所謂相當ノ方法デアアル、是ハ一々ドウ云フモノデアルト云フコトヲ例示スルコトハ困難デアリマスガ、併シ賣藥其モノヲ以テ一時其病毒ノ傳播ノ防止ヲシタコト其モノガ若モ有效デアレバ、ソレハ決シテ相當ノ方法デアナイトハ言ヘヌト思フノデアリマス、賣藥其モノヲ全然非認スルト解スル能ハザルモノデアリマス、即チ相當ノ方法デアリマス、但シ宮島君ノ御言葉ノ中ニアリマシタノデアリマスガ、決シテ此規

定ハ傳染病ノ根治の方法ヲ意味スルモノデアリマセヌ、一時的デアッテモ病毒ノ傳播ヲ防止スルニ付テノ相當ノ方法ガアルナラバヤリタイ、即チ第五條ノ第二項ニ該當スルモノデアリマス、最後ニ此規定ハ甚ダ不十分ノヤウデアアル、隨テ尙モウ一段ト考慮シタラバドウカト云フ御尋デアリマスガ、是ハ宮嶋君モ能ク御承知ノ通り、現在此本案ノ意味スル所ノ其精神、其趣意ハ宮嶋君ノ仰セノ如ク極メテ必要デアアル、當局ガ考ヘル所デハ、即チ先ツ第一著トシテハ不十分デアアルカモ知ラヌガ、少クトモ此程度ノ取締ハ最も緊要デアアル、斯ウ云フコトヲ考ヘマスルカラ、諸君ニ於テ十分御審議ノ上協賛アラシコトヲ重ネテ希望シテ置キマス、(拍手)

○議長(粕谷義三君) 田中政府委員

〔政府委員田中善立君登壇〕

○政府委員(田中善立君) 宮嶋君ノ第一ノ御質問ハ性教育ニ關スル事柄ガアリマスガ、性問題ハ人生ニ大切ナル事柄デハアリマスルガ、併シ之ヲ教育上ニ實施スルニ付キマシテハ、餘程慎重ナル考慮ヲ要スルノデアリマス、西洋ニ於テ行ヘテ居ルカラ、直ニ我國ニ於テモ之ヲ眞似ナケレバナラヌトハ即斷ハ出来ヌノデアリマス、當局ニ於テハ篤ト考慮ヲ致シマス、第二ノ御質問ノ民間開業醫ニ對シ、花柳病豫防ニ關スル講習會ハ大切ナルコトデアアルガ、從來文部省ニ於テ行ヘテ居ラヌガ、將來ドウスルカト云フ御尋デアリマスガ、是ハ從來ハ内務省ニ一任シテ足レリト考ヘテ居、タノデアリマスカラ、別段文部省ニ於テ考慮ヲ拂ハナカッタノデアリマスルガ、今後ハ御説ニ依リマシテモ考慮致ス考デアリマス(拍手)

〔宮嶋幹之助君登壇〕

○宮嶋幹之助君 只今内務次官ヨリ御答辯

ガアリマシタガ、花柳病ノ如キハ之ヲ徹底的ニナサラズ、姑息ナル療治ヲ致スト云フト、所謂病毒攜帶者トナツテ常ニ病毒ヲ蔓延セシムルモノデアリマス、此點ノ御考慮ヒガアルモノダカラ、何カ一寸デモ禁厭デモシテ置ケバ宜カラウト考ヘラレケレドモ、是ハ大ナル誤リデアリマス(拍手)此點ヲ御考慮ニナラヌト云フト、折角斯ウ云フ法案ヲ出シテ花柳病ノ豫防ヲシヤウト云ウテモ、却テ花柳病ノ蔓延ヲ來スヤウナ虞ガアルノデアリマス、(拍手)私ハ尙ホ精細ニ互テ御質問ヲシタイノデアリマスケレドモ、委員會ニ譲リマシテ是ダケデ止メテ置キマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 山谷徳次郎君

〔山谷徳次郎君登壇〕

○山谷徳次郎君 私ハ只今付議サレテ居リマスル花柳病豫防法案ニ付キマシテ政府ニ二、三ノ質問ヲ致シタイト存ジマス、花柳病豫防法ハ既ニ我國ニ於キマシテハ多年ノ懸案デアリマシテ、色々ナル學術團體、又ハ其他ノ社會的團體カラ此制定ノ必要ヲ叫バレマシテ、本院ニ於キマシテモ既ニ先年議員ノ方カラシテ建議ガ出マシテ、此議會ヲ通過致シテ居リマスル、即チ此花柳病豫防法ナルモノハ、我國ニ於キマシテ既ニ多年其必要ヲ叫バレテ居ル問題デアリマスルケレドモ、政府ニ於キマシテハ、從來此案ヲ制定シテ議會ニ提出サレコトヲ何故カ躊躇サレテ居、タノデアリマス、然ルニ今回此案ヲ制定シテ、本議會ニ御提出ニナリマシタコトハ、吾々モ満足致ス所デアリマス、併ナガラ其法案ヲ見マスナラバ、頗ル遺憾ノ點ガ多イノデアリマス、花柳病豫防法ノ骨子タルベキモノ、又其根據タルモノハ、徹底的ニ國民間ニ蔓延シテ居ル所ノ花柳病ヲ豫防スルト云フコトガ何ヨリモ必要

ノコトデアリマス、花柳病ハ單リ賣春婦ノ占有物デハナイ、廣ク國民全般ニ互テ居ルモノデアリマスルカラ、若シ此國民病ヲ眞ニ完全ニ取締ラウト云フナラバ、一般國民ニ對シテ、總テノ階級ニ向テ是ガ取締法ヲ設ケテ、徹底的ニ取締ラナケレバ何等ノ效ヲ奏スルモノデハナイノデアリマス、今此法案ヲ見マスルト、唯此賣淫ニ從事スル所ノ僅ノ社會ノ者ヲ取締ルト云フ、而モ是等ニ對シマシテ治療ヲ與ヘルト云フニ過ギヌノデアリマス、其名ハ花柳病豫防法ト云フ立派ナモノデアリマスケレドモ、其規定ヲ取締ラントスル者ハ、僅ニ其一部分ニ過ギヌノデアリマス、洵ニ是ハ先刻同僚宮嶋君ガ、羊頭ヲ掲ゲテ狗肉ヲ售ルモノダト言ハレマシタガ、聊カ其感ガナイコトハナイノデアリマス、デ私ハ此案ニ付キマシテ、大體的ニ二三ノ點ヲ舉ゲマシテ當局者ノ明快ナル御答辯ヲ求メタイト思ヒマス、第一政府ハ花柳病豫防ニ付キマシテ、如何ナル意見ヲ抱懷サレテ居ルカ、決シテ花柳病豫防ト云フモノハ、僅ニ一部分ノ職業者ノ病ヲ治療スルニ依ッテ目的ヲ達スルモノデハナイノデアリマス、即チ國家ト致シマシテ此國民病ヲ豫防シ絶滅サセルノニハ、相當ナル所ノ設備モ要リマセウ、是ハ中々重大ナ問題デアリマスルガ、政府ハ之ニ對シマシテ如何ナル御意見ヲ御持ニナツテ居ルカト云フコトヲ先ツ伺ヒタイノデアリマス、次ニ花柳病豫防ト賣笑婦ノ制度トノ關係デアリマス、日本ハ昔ヨリ特別ナル公娼ノ制度ヲ持テ居リマス、今日世界各國デ日本ノ如キ公娼ノ制度ヲ持テ居ル所ハ外ニハナイノデアリマス、此公娼ニ付キマシテハ、多年我國ニ於キマシテ廢止論ガ盛ニナリ、既ニ今議會ニ於テモ議員ノ方カラシテ廢娼ノ建議ガ出テ居ル位デアリマス、此公

娼ノ利益ニ付キマシテハ要スルニ僅ニ花柳病豫防ニ對シテ、此公娼ナルモノガ最も宜イ制度デアルト云フ外ニ理由ハ餘リナイノデアリマス、今併シ日本ノ此現狀ヲ見マスルト、年々公娼即チ娼妓ノ數ハ減少シテ参リマスルガ、密賣ノ業務ヲ竊ニ營ンデ居ル所ノ藝者ノ數ハ年々増加シテ居ルノデアリマス、其他酌婦或ハ料理屋宿屋「カフェー」斯ウ云フ所ニ使ハレテ居ル所ノ客ニ接シテ竊ニ春ヲ賣ルト云フ業態ノ者ガ幾ノ割合ヲ以テ増加シテ居ルト云フコトハ、完全ナル統計ガアリマセヌカラ明カデアリマセヌケレドモ、現在非常ナ勢ヲ以テ増加シテ居ルモノト斷定ヲスルコトガ出来ルノデアリマス、今此公娼ヲ廢スルト云フコトハ無論世界ノ大勢デアリ、又日本デモ段々事實ハハンレニ向テ居ルノデアリマスカラ、追々ニハ日本デモ公娼ヲ制限スルカ、或ハ廢止スルカト云フ氣運ガ必ズ參ルコトハ疑ノ無イ所デアリマスルガ、其場合ニハ、此花柳病ノ豫防ト云フモノガ、公娼ト私娼トノ關係ニ於キマシテ、如何ナル利害關係ガアルカ、之ニ關シマシテ當局者ノ抱懷サレマシタ所ノ御意見ヲ拜聽シタイノデアリマス、ソレカラ第三ニ、花柳病豫防ノ目的ヲ達シマスルノニハ、此病ニ罹リマシタ澤山ノ貧民——治療、診察ヲ受ケル資ノ無イ所ノ貧民ノ病ヲ治療スルト云フコトガ最も必要デアリマス、然ルニ此花柳病豫防法ニハ、ソレ等ノ事ニ付キマシテハ、何等ノ規定ガ無イノデアリマス、政府ハ之ニ對シマシテ、何等カ御考慮ニナツタコトガアリマスルカ、或ハ如何ナル御意見ヲ御持ニナツテ居ルカ、又近クソレニ付キマシテ、何等カノ設備或ハ法律デモ御作リニナル御積リデアリマスルカ、其點ニ付テ伺ヒタイノデアリマス、又本案ノ各條ニ付キマシテハ、色々意見モ

ゴザリマスルガ、其中ニ此法律ノ主ナル目的ハ、病ニ罹テ居ル所ノ賣淫者ヲ治療スルコト云フコトデアリマス、併シ其治療ノ規定ハ、此花柳病豫防法デ見マスルト、殆ド任意ニ之ヲ治療スルト云フコトニ止テ居ル、即チ患者ガ自ラ治療ヲ受ケヤウト言フ者ハ受ケルコトガ出來ルケレドモ、何等之ニ對シテ拘束強制ヲ致シテ居ラヌノデアリマス、強制力ノ無イ所ノ此法案デハ、決シテ彼等放縱ナル所ノ花柳病傳染傳播ノ虞ヲ持テ居ル所ノ業態ノ者ヲシテ、進ンデ自ラ是ガ治療ニ當ラシメルト云フコトハ困難デアリ、必ズ之ニハ強制力ガナケレバナラヌ、然ルニ此法案ニハ強制力ガアリマセヌカラ、此點ニ於テ私ハ此法ノ目的ヲ達スルコトハ十分デナイト考ヘルノデアリマスガ、之ニ對シテ政府ノ御意見ハ如何デアリマスカ、又花柳病豫防ノ上ニ於テ、最も必要ナ事ハ検査スルヲ檢微ト云ヒマスガ、總テ花柳病者ヲ檢診スルト云フコトデアリマス、此檢診ノ方法ハ、今後私娼ガ盛ニナルニ從ヒマシテ益々必要デアリマスルガ、此花柳病豫防法ニハ、何等其事ニ關シマシテ規定ガ無イ、政府ハ之ニ付キマシテハ如何ナル御考ヲ御持ニナテ居ルカ、之ニ付テ御答辯ヲ願ヒタイ、最後ニ第五條ニ於キマシテ、此取締ヲ受ケル所ノ者ガ、先刻官島博士ナリ、先日吉良君カラモ御尋ガアリマシタガ、唯、女子ニバカリ偏シテ、男子ノ事ガ之ニ規定シテナイノハ、甚ダ不公平デアルト云フ質問ニ對シテ、慶當局者ハ別段ニ是ハ女子ニ限ルト云フコトハナイ、男子モ女子モ同ジヤウニ取締ル積リデアルト云フ御答辯デアリマシタ、是ハ御答辯ハ洵ニ結構デアルケレドモ、別段ニ花柳病ヲ傳播スル虞アル者ノ賣淫云々ト云フコトガアリ

マス、然ラバ政府ノ御答辯ニ依リマスルト、今日日本ノ現狀ニ於キマシテ、男子ニシテ淫賣、賣淫ヲ爲ス所ノ者ガアルノデアリマスカ、私ノ存ジテ居ル所デハ、古キ書キ物ニハ陰間ト云フモノガアッタト云フコトデアリマスガ、今日デハ別段男子ニシテ淫賣ヲ業トスル者ハ殆ド私ノ察間ナル所デハ無イト考ヘルノデアリマス、之ニ付キマシテ、強テ政府ガ男女同ク取締ラスル意思デアルト云フ御答辯ハ、餘リ牽強附會、別段ニサウ云フ御答辯ニナル必要ハナイト思フノデアリマスガ、併ナガラ私ハ社會ノ事ニハ迂闊デアリマスルカラ、政府ノ取調ニナテ居ル所デハ、日本ニ於キマシテモ、男子ニシテ淫賣ニ從事スル者ガアルノデアリマスルカ、是モ後學ノ爲ニ承テ置キタイノデアリマス、以上數點ニ付キマシテ明快ナル御答辯ヲ望ミマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 依政府委員

〔政府委員依孫一君登壇〕

○政府委員(依孫一君) 山谷君ノ御質問ニ御答致シマス、第一ノ御問ハ、一般國民ノ花柳病豫防ニ對シテハドウ云フ意見ヲ持テ居ルカ、之ニ對スル對策ハドウカト云フ御趣意ノヤウデアリマシタ、一般國民ノ花柳病豫防ニ付キマシテハ、特ニ法令ヲ以テ之ニ對スル對策ヲ設ケルコトハ餘程困難デアリマス、唯、一般的ニ其病毒ニ對スル自覺及其思想ノ普及、斯ウ云フ事ヲ講ジマシテ、國民自ラガ之ニ對シテ十分ナル豫防防遏ノ方法ヲ講ズルト云フコトヲ執ルノ外ハナイノデアリマス、更ニ——併ナガラ之ニ對シテ十分ナル方法ヲ考慮ハ致シマスルガ、唯茲デ本案ヲ提案致シマスル所以ノモノハ、サウ云フ一般ノ國民花柳病ノ豫防方法ヨリハ、現ニ傳播ノ虞ノアル最も其危險率ノ多イ業態、若クハ其階級ニ對シマシテ

ハ、如何ニ致シマシデモ此儘デ抛テ置ケナイカラ、之ニ對シテ特別ナル法令ヲ以テ、其病毒ノ傳播ヲ防遏スルト云フ意味ニ止マルノデアリマス、第二ニハ此花柳病豫防法案ガ、或ハ一般公娼制度ト何等カノ連絡連鎖ガアルカト云フ御尋ノヤウデアリマシタガ、是ハ全ク一般公娼制度ノ問題ト何等ノ關係、何等ノ交通ハアリマセヌ、一般公娼制度ハ此問題ニ付テ何等影響ヲ蒙ルモノデハアリマセヌ、一般公娼ノ問題ハソレハ別ト致シマシテ、唯、其公娼制度以外ニ於テ、實際ニ此法案ガ非常ニ憂慮シテ居ルガ如ク、花柳病傳染ノ行動行爲ノアル者ガ澤山アリマスルカラ、之ヲ防遏禁遏スルニ付テハ、茲ニ此法案ノ必要ガアルト云フコトヲ以テ提案致シマシタ次第デアリマス、ソレカラ單リ或ハ特殊ノ業者ノミナラズ、廣ク一般貧民階級ノ此病者——貧民階級ノ病者ニ對シテ、何等カ容易ニ診療ヲ受ケル所ノ方法ヲ講ジナケレバ、未ダ完全ナルモノト云フコトハ出來ヌデハナイカ、斯ウ云フコトデアリマスガ、如何ニモ御九千萬ナ事デアリマス、併ナガラ是ハ官島君ノ御問ニ對シテ御答致シマシタ如ク、未ダ斯ノ如ク一般ノ貧民者全體ニ涉テ、無料診療カ乃至極安ク診療ヲ受ケルト云フコトヲ設備スルニ付テハ、是ハ財政上亦大ニ關係スル所ガ廣イノデアリマスルカラ、先ヅ是ハ第一著手ニ此法案ノ如ク、其特別業者或ハ特殊ノ行爲ヲ爲シタ者ニ對スル所ノ診療ニ止メマシテ、更ニ第二段第三段トシテ御話ノ如キ事ニ進ム外ハナイト考ヘマスノデアリマス、ソレカラ次ニハ本案ノ如ク全ク任意診療デアラナラバ、其實效ガ無イデハナイカト云フコトデアリマスルガ、是ハ山谷君モ御承知ノ通りニ、此任意診療ト云フコトハ、是ハ餘程實行ガ困難デアルカモ知ラヌケレド

モ、併ナガラ今日ノ場合ニ於テ此方法シカ他ニ方法ハ無イト思フノデアリマス、唯、是ハ御承知ノ通りニ第五條ノ如ク、矢張病者デアルト云フコトヲ知テ、或ル行爲ヲ爲シタ者ニ對シマシテハ、普通ノ者ヨリモ重キ刑ヲ以テ之ニ科スルト云フコトヲ以テ、其病毒其モノヲ自分自ラガ注意ヲ致シテ治療スルト云々ト如キ事ニセシムル目的デアリマスノデアリマス、第五ニ唯、診療デハ餘リ效ガ薄クハナイカ、モウ一步進ンデ診療ヲシタラドウカ、斯ウ云フ事ノ御意見デアッタヤウデアリマスルガ、是ハ更ニ或ハ目的ヲ達スルニ於テハ、檢診ノ方ガ有利カモ知レマセヌケレドモ、更ニ他ノ大ナル問題ヲ惹起スト思フノデアリマス、即チ人權問題ノ如キモノガ起ルノデアリマスルカラ、是ハ此所謂診療ノ程度ニ止ムル外ハナイト考ヘマスノデアリマス、先ヅ大體御尋ノ事ニ對シマシテハ御答致シマシタト考ヘマスノデアリマス

〔山谷徳次郎君「最後ノ一點ガ殘テ居リマス」ト呼フ〕

○議長(粕谷義三君) 次ハ土屋清三郎君

〔土屋清三郎君登壇〕

○土屋清三郎君 花柳病ハ人類社會ニ於ケル寔ニ痛マシイ存在デアリマシテ、是ガ豫防撲滅ハ實ニ人道上ノ重大ナル問題デアリマス、此意味ニ於キマシテ政府ガ此豫防撲滅ノ目的ヲ達センガ爲ニ、本法案ヲ提出セラレタト云フ其御精神ニ對シテハ、私ハ滿腔ノ謝意ヲ表スル者デアリマス、併ナガラ仔細ニ案内内容ヲ點檢致シマスルト云フト、實ニ重大ナル缺點ヲ見出スノデアリマス、ソレ等ノ一々ノ事ニ付キマシテハ、先日來、又先刻來、同僚諸君カラ色々御質問ガアリマシタカラ、ソレ等ノ點ハ成ベク省略致シマシテ、唯、私ハ次ノ點ニ對シマシ

テノミ御尋ヲ致サウト思フノデアリマス、此點ハ前辯士並ニ前々辯士諸君カラ、質問ノアツタコトデアリマスルケレドモ、蓋シ本法案ノ中心ヲ爲スモノデアリマスカラ、重複ヲ顧ミテ御尋ヲ致スノデアリマス、政府委員ハ本法案ハ業態上花柳病傳染ノ虞アル者ヲ取締ル、ソレハ男女何レトモ書イテナイカラ、女子デアアテモ男子デアアテモ、荷モ病傳染ノ虞アル業態ニ從事スル者ハ、之ヲ取締ルト云フコトデアリマシタガ、業態上花柳病傳染ノ虞アル者ハ、恐ラク今日我國ニ於テハ、女子ノミデアルト思フノデアリマス、即チ本法案ハ憐レナル淫ヲ醫ス所ノ或種ノ婦人ノミヲ取締ルモノデアアル、而シテ其相手方タル男子ニハ及ビマセヌ、彼等ガ斯ノ如キ業態ニ從事スル動機ニ付キマシテハ、自ラノ不都合ナ事モアルデアリマセウ、併ナガラ家計上已ムヲ得ズ此ニ陷タル者ノ少クナイト云フコトヲ吾々ハ考ヘナケレバナラヌ、而シテ是等ノ者ハ初ヨリ其病ヲ持テ居ルノデアアリマセヌ、彼等ニ其病ヲ與ヘタル者ハ何人デアリマスカ、申ス迄モナク男子デアアル、此點ニ對シテハ、何等取締ノ法ヲ考ヘテ居ラレナイヤウデアリマス、而モ花柳病ハ今日ニ於キマシテハ殆ド貴賤貧富、社會ノ上下ニ蔓延致シテ居リマシテ、或種ノ道徳家ノ論ズルガ如ク、決シテ不正ナル性交ノミニ依テ傳染スルモノデアアリマセヌ、正當ナル性交ニ依テモ、亦同一ニ感染ノ機會ヲ持テ居ルノデアリマス、斯様ナ意味カラ致シマシテ、曩ニ内務省保健調查會ニ於キマシテハ、此花柳病豫防法ノ骨子トシテ、斯ウ云フ案ヲ制定致シタノデアリマス、即チ「花柳病患者傳染ノ虞アルコトヲ知リ性交ヲ爲シタル者ハ何箇月以下ノ禁錮又ハ何百圓以下ノ罰金ニ處ス、前項ノ罪ハ夫婦ノ間ニ於テ

ル性交ノ場合ニ於テハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス」ソレカラ次ニ斯ウ云フコトヲ規定シテ居リマス「花柳病患者傳染ノ虞アルコトヲ知リ其事實ヲ相手方ニ告知セシテ結婚シタルトキハ何箇月以下ノ禁錮又ハ何百圓以下ノ罰金ニ處ス、前項ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス」此問題ハ保健調查會ニ於テモ多年ノ研究デアリマシテ、如何ニシテモ是ダケノ事ヲシナイト云フト、花柳病ノ豫防撲滅ヲ徹底スルコトガ出來ナイト云フノデ、決定的ノ案デアッタト承知致スノデアリマス、然ルニ政府ハ是等ノ點ヲ全ク拋棄致シマシテ、唯、憐レナル賣ラレ行ク女ノ群ノミヲ捉ヘテ、之ニ制裁ヲ科シ、而モ其制裁ハ警察犯處罰令ノ場合ニ於キマシテハ、窃ニ賣淫ヲ爲シタル者ハ、僅カニ三十日以下ノ制裁デアアルニ拘ラズ、此法案ニ於テハ三箇月以下牢獄ニ投ズルト云フ規定ヲ設ケテ居ル、而シテ彼等ニ病ヲ與ヘタル者、若ハ其他ノ場合ニ於キマシテ、病アルコトヲ相手方ニ告知セズシテ病ヲ傳ヘタル者ニ對シテ、何等ノ制裁ヲ設ケナイト云フコトハ、之ヲ一部ノ女權論者ノ言葉ヲ藉テ申シマスナラバ、全ク男子專制ノ立法デアルト申サナケレバナラヌト思フノデアリマス、此點ニ付テ政府ハ如何ナル考ヲ持テ居ルノデアリマスルカ、其他ノ詳細ナル點ニ付テハ、何レ委員會ニ譲リマス、明白ナル御答辯ヲ得タイト思フノデアリマス(拍手)

(政府委員係孫一君登壇)
○政府委員(係孫一君) 土屋君ノ只今ノ御尋ハ、最も重要ナル點デアリマス、唯、只今御話ノ如ク、唯、特殊ノ業者ノミナラズ、或ハ夫婦間トカ又ハ其他ノ場合ニ於テ、總テノ場合ニ、病ヲ傳播ノ虞アル者ニ對シテ、相當制裁ヲ加ヘテ、是ガ防遏ヲ圖ルコトニシタラドウカト云フ意見ハ、無論現行保健調查會ニ於テモアツタノデアリマス、併ナガラ之ヲソレマデ取締ルト云フコトニ付キマシテハ、餘程重大ナル問題デアリマスノデアリマス、殊ニ只今丁度御話ノ問題ハ、獨逸ノ千九百十八年ノ緊急勅令ニ依テ立法サレタ所ノ法案ノ中ニハ、夫婦間若クハ許婚者間ノ問題モ亦タ矢張制裁ヲ加ヘテ居ルノデアリマスガ、是等ノ問題ハ最も重大ナル關係ヲ喚起シマスカラ、先ヅ現時ノ狀況ニ於キマシテハ、現立法案ノ如ク特殊ノ業者ノミニ限り、而モソレハ或ル特殊ノ行為ヲ爲シタ場合ニ限リ、病者者ナラバ刑罰ヲ重クスルト云フ程度ニシテ、先ヅ大體病者ノ豫防ヲスルコトニシタラ宜カラウト云フコトデ、斯ノ如ク立案シタ所以デアリマス、而シテ之ヲ以テ冒頭申上ダマシタ如ク、決シテ完全無缺ナルモノトハ政府モ信ジテ居リマセヌ、併ナガラ現狀ニ於テ先ヅ此程度デナケレバ
(粕谷議長、議長席ヲ退キ小泉副議長代リ著席)
仕方ガナカラウト云フ譯ヲ以テ此立法ヲシタ譯デアリマス、之ヲ以テ十分御諒承アラシコトヲ希望致シマス(拍手)
○副議長(小泉又次郎君) 日程第二、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス
第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
○井本常作君 本案ハ竹原模一君外十六名提出未成年者飲酒禁止法中改正法律案外二件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス
〔異議ナシ〕異議ナシト呼ブ者アリ
○副議長(小泉又次郎君) 井本君ノ動議ニ

- 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第三、兌換銀行券整理法案ノ第一讀會ヲ開キマス、片岡大藏大臣
- 第三 兌換銀行券整理法案(政府提出) 第一讀會
- 兌換銀行券整理法案
- 兌換銀行券整理法
- 第一條 日本銀行ガ發行シタル左記種類ノ兌換銀行券ハ昭和十七年三月三十一日限り強制通用ノ效力ヲ失フモノトス但シ政府又ハ日本銀行ニ於テ受入ルル場合ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
- 第一 五圓券
- 一 明治十八年十二月大藏省告示第百六十六號ノ分
- 二 明治二十一年十一月大藏省告示第百四十號ノ分
- 三 明治三十二年三月大藏省告示第百十號ノ分
- 四 明治四十三年八月大藏省告示第百七號ノ分
- 五 大正五年十二月大藏省告示第百六十三號ノ分
- 第二 拾圓券
- 一 明治十八年一月大藏省告示第百二號ノ分
- 二 明治二十三年七月大藏省告示第百三十三號ノ分
- 三 明治三十二年九月大藏省告示第百五十一號ノ分
- 四 大正四年四月大藏省告示第百四十四號ノ分
- 第三 貳拾圓券
- 一 大正六年十一月大藏省告示第百七十六號ノ分
- 第四 百圓券
- 一 明治十八年八月大藏省告示第百

十九號ノ分

明治二十四年十一月大藏省告示

第三十六號ノ分

明治三十三年十二月大藏省告示

第五十五號ノ分

大正六年八月大藏省告示第百三十六號ノ分

第二條

日本銀行ハ昭和十七年三月三十一日ニ於ケル前條ノ兌換銀行券ノ發行高ヲ同年四月一日ニ於ケル兌換銀行券發行高ヨリ除去シ且其ノ除去シタル發行高ニ相當スル金額ヲ即日國庫ニ納付スベシ

第三條

第一條ノ期限經過後政府ハ同條ノ兌換銀行券ノ引換義務ヲ承繼ス

第四條

第二條ノ規定ニ依リ日本銀行ノ納付スル金額中減失ノ爲前條ノ引換ノ請求ナシト認ムル兌換銀行券ノ額ニ相當スル金額ハ國債整理基金特別會計法第二條ノ規定ニ依ル繰入ノ外之ヲ國債償還ニ充ツル爲漸次一般會計ヨリ國債整理基金特別會計ニ繰入レ其ノ殘餘ニ相當スル金額ハ前條ノ規定ニ依ル引換ノ準備金トシテ日本銀行ヲシテ之ヲ保管セシムベシ

第五條

國務大臣(片岡直溫君) 只今上程ニナリマシタ兌換銀行券整理法案ニ付キ御說明ヲ申上ゲマス、日本銀行ガ兌換銀行券條例ニ依テ初メテ兌換銀行券ヲ發行致シマシタノハ、明治十八年五月デアリマスガ、爾來既ニ四十有餘年ノ長年月ヲ經マシテ、其間ニ發行セラレマシタ兌換銀行券ノ様式ハ十七種ノ多キニ上リ、新券發行高ノ累計ハ五十七億圓以上ニ達シテ居リマス、然ルニ此

第六條

兌換銀行券ノ中、彼ノ大正十二年關東地方ニ於ケル大震災ノ如キ場合ハ勿論ノコトデゴザイマスルガ、其外年々歳々全國各地ニ發生スル天災事故ニ依リ、又個人ガ亡失紛失シタル等ノ事由ニ依テ減失致シマシタ兌換銀行券ハ、今其數額ヲ明カニスルコトハ出來マセヌガ、蓋シ相當巨額ニ達シテ居ルコト、思フノデゴザイマス、而シテ現在日本銀行ガ發表致シテ居リマスル同行ノ兌換銀行券發行高ノ中ニハ、是等ノ減失ニ歸シマシタ兌換銀行券ノ數額ヲ含シテ居ルデアリマス、隨テ日本銀行ノ發表シマスル兌換銀行券發行高ハ、其實際ノ流通額ト一致シテ居ナイ譯デアリマス、而シテ此不一致ハ年數ヲ重ヌルニ連レテ、兌換銀行券ノ減失ノ高ノ増加スルニ從ヒ、益々大トナルデアリマス、然ルニ兌換銀行券ノ流通額ハ、經濟界ノ實勢ヲ知ル上ニ於テ最重要ナル事項ノ一デアリマシテ、同時ニ一國ノ金融政策ヲ決定スル上ニ於テモ、大切ナル基礎數字デアリマスルガ故ニ、兌換銀行券ヲ整理シ、其發行高ノ數字ヲ兌換銀行券ノ實際ノ流通額ニ一致セシムルコトハ、最モ緊要ノコトデアルト信ズルノデゴザイマス、加之減失兌換銀行券ノ總額ヲ明白ニシテ日本銀行ノ兌換銀行券高ヨリ除去致シマスルトキハ、日本銀行ノ保有シテ居ル正貨準備ノ中カラ實際上從來適當デアリマシタ部分ヲ解放シ、之ヲ適切有效ニ利用スルコトガ出來ルノデアリマスルカラ、我國財政經濟ノ現狀ヨリ見マシテモ、兌換銀行券ノ整理ハ此際必要ナル施設ト考ヘラレルノデアリマス、但シ政府ハ以上ノ整理ヲ爲スニ方リマシテ、一舉ニシテ之ヲ斷行スルコトハ印刷局ノ兌換銀行券製造能力其他ニ鑑ミ、實行上困難ナル關係ガアリマスノデ、政府ハ諸種ノ事情ヲ斟酌致シマシテ、之ガ整理期限ヲ定メテ次第デアリマス、以上ノ整理ニ依リマスル利得ハ、其性質上一般國民ノ損失ニ於テ發生シタルモノデアリマスルカラ、全部之ヲ國庫ニ歸屬セシムルコト、致シマシタ、而シテ此國庫ニ歸屬シマシタ利得ハ之ヲ國債整理基金特別會計法ニ依ル法定繰入額ノ外、同會計ニ之ヲ繰入レ、國債ノ償還ニ充テルヤウ法律ヲ以テ定メテ置クコトガ最モ適當デアルト考ヘマス、右繰入ニ依リ償還スル國債ハ主トシテ震災手形整理ノ爲メ發行セル國債ト爲ス方針デアリマス、終リニ日本銀行ノ從來發行致シマシタ一圓兌換銀行券ニ付テハ、從來種々ノ議論ガアリマスノデ、之ガ整理ニ付テハ慎重ニ考慮ヲ要スルモノガアリマス、而シテ此問題ハ兌換銀行條例ノ改正問題ト併セテ、金融制度調査會ニ於テ尙ホ攻究ヲ遂ゲルコト、ナツテ居リマス、隨テ一圓兌換銀行券ノ減失ニ歸シタルモノ、整理ニ付テモ、其際之ガ方策ヲ講ズルコトヲ適當デアルト考ヘマシテ、本案ヨリハ之ヲ除外致シタ次第デアリマス、尙ホ本法案ハ兌換銀行券整理ニ關シ、曩ニ金融制度調査會ニ於テ調査決定ヲ致シマシタ趣旨ニ基キ、立案ヲ致シタモノデアルトコトヲ附言致シテ置キマス、何卒御審議ノ上速ニ御協賛アラントヲ希望致シマス(拍手)

第七條

副議長(小泉又次郎君) 本案ニ對シテ質疑ノ通告ガアリマス、順次之ヲ許可致シマス、星島二郎君

第八條

(星島二郎君登壇) 星島二郎君 本員ハ曩ニ日本銀行改造案ヲ提出致シマシタ際ニモ、嘗テ此問題ニ觸レタコトガアルノデアリマス、又先般震災手形處理法案ガ出マシタトキニモ、私ハ此紙幣整理ニ付キマシテ大藏大臣ニ質問致シタコトモアルノデアリマスルガ、此案ガ出マシタ其事ニ付キマシテハ私ハ非常ナ實意ヲ表スルモノデアリマス、但シ私ガ甚ダ遺憾トシマスル點ハ、曩ニ加藤友三郎內閣ノ時代ト記憶致シテ居リマスガ、銀貨ノ改鑄益金ノ問題ガアリマシタ際ニ、アノ當時最初ノ案ニ於キマシテハ、是ハドウモ所謂偶然儲カールツク金高デアルカラ、斯ウ云フモノコソ社會事業ニ使フタラドウダト云フノデ、サウ云フ案ガ最初ニハ現イタノデアリマスガ、途中カラ其金ヲ到頭岡田サンニ取ラレテ、師範教育費ノ方ニ大部分廻タヤウナコトニナツテ居リマス、今回ノ此紙幣ノ整理ハ、長年ノ間使テ居タ金デアリマスカラ、隨分ノ額ニ上ルト思ヒマス、而モ其多ク減失シタル人ハドウ云フ人デアルカト言ヒマスルレバ、私ハ金持階級ヨリモ寧ろ紙幣ヲ皺苦茶ニシテ僅カバカリ懷中ニ持テ居ル人達ノ方ガ、即チ無產階級ノ方ガ多ク喪失シタル私ハ現シテ居ルノデアリマス、特ニ震災、或ハ悲惨極マル彼ノ被服廠ノ跡ナド焼ケタノハ、サウ云フ者ガ多々アルノデアリマシテ、寧ろ有產階級ハ小切手ヤ其他ヲ利用致シテ居リマスカラ、割合少イ、大部分ハ私ハ是ハ所謂一般庶民階級ノ失タ紙幣ガ多イダラウト思フノデアリマス、又性質カラシマシテモ、一體無クナツタリ燒ケタリシタ金、斯ウ云フモノ、儲ケガアツタ場合ニハ、此使途ハ多少社會政策的ノ考ヲ持タナケレバナラヌト私ハ考ヘルノデアリマス、ソコデ此前ニモ銀貨ノ改鑄益金ハ社會事業ニ使フト云フノデ、是ハ私ノ洵ニ喜ンデ居タ、アレダケノ金ガアリマスレバ、可ナリ社會事業ガ出來ル、或ハ公益質庫法案ガ通過シマシテ質屋ノ造ルニ致シマシテモ、相當ノ金ヲ融通スルコトガ出來ル、私ハ勿論其數ガ非常ニ上リマスレバ、ソレヲ國債ノ償還資金ニ充テルト云フ

第九條

兌換銀行券ノ中、彼ノ大正十二年關東地方ニ於ケル大震災ノ如キ場合ハ勿論ノコトデゴザイマスルガ、其外年々歳々全國各地ニ發生スル天災事故ニ依リ、又個人ガ亡失紛失シタル等ノ事由ニ依テ減失致シマシタ兌換銀行券ハ、今其數額ヲ明カニスルコトハ出來マセヌガ、蓋シ相當巨額ニ達シテ居ルコト、思フノデゴザイマス、而シテ現在日本銀行ガ發表致シテ居リマスル同行ノ兌換銀行券發行高ノ中ニハ、是等ノ減失ニ歸シマシタ兌換銀行券ノ數額ヲ含シテ居ルデアリマス、隨テ日本銀行ノ發表シマスル兌換銀行券發行高ハ、其實際ノ流通額ト一致シテ居ナイ譯デアリマス、而シテ此不一致ハ年數ヲ重ヌルニ連レテ、兌換銀行券ノ減失ノ高ノ増加スルニ從ヒ、益々大トナルデアリマス、然ルニ兌換銀行券ノ流通額ハ、經濟界ノ實勢ヲ知ル上ニ於テ最重要ナル事項ノ一デアリマシテ、同時ニ一國ノ金融政策ヲ決定スル上ニ於テモ、大切ナル基礎數字デアリマスルガ故ニ、兌換銀行券ヲ整理シ、其發行高ノ數字ヲ兌換銀行券ノ實際ノ流通額ニ一致セシムルコトハ、最モ緊要ノコトデアルト信ズルノデゴザイマス、加之減失兌換銀行券ノ總額ヲ明白ニシテ日本銀行ノ兌換銀行券高ヨリ除去致シマスルトキハ、日本銀行ノ保有シテ居ル正貨準備ノ中カラ實際上從來適當デアリマシタ部分ヲ解放シ、之ヲ適切有效ニ利用スルコトガ出來ルノデアリマスルカラ、我國財政經濟ノ現狀ヨリ見マシテモ、兌換銀行券ノ整理ハ此際必要ナル施設ト考ヘラレルノデアリマス、但シ政府ハ以上ノ整理ヲ爲スニ方リマシテ、一舉ニシテ之ヲ斷行スルコトハ印刷局ノ兌換銀行券製造能力其他ニ鑑ミ、實行上困難ナル關係ガアリマスノデ、政府ハ諸種ノ事情ヲ斟酌致シマシテ、之ガ整理期限

第十條

兌換銀行券ノ中、彼ノ大正十二年關東地方ニ於ケル大震災ノ如キ場合ハ勿論ノコトデゴザイマスルガ、其外年々歳々全國各地ニ發生スル天災事故ニ依リ、又個人ガ亡失紛失シタル等ノ事由ニ依テ減失致シマシタ兌換銀行券ハ、今其數額ヲ明カニスルコトハ出來マセヌガ、蓋シ相當巨額ニ達シテ居ルコト、思フノデゴザイマス、而シテ現在日本銀行ガ發表致シテ居リマスル同行ノ兌換銀行券發行高ノ中ニハ、是等ノ減失ニ歸シマシタ兌換銀行券ノ數額ヲ含シテ居ルデアリマス、隨テ日本銀行ノ發表シマスル兌換銀行券發行高ハ、其實際ノ流通額ト一致シテ居ナイ譯デアリマス、而シテ此不一致ハ年數ヲ重ヌルニ連レテ、兌換銀行券ノ減失ノ高ノ増加スルニ從ヒ、益々大トナルデアリマス、然ルニ兌換銀行券ノ流通額ハ、經濟界ノ實勢ヲ知ル上ニ於テ最重要ナル事項ノ一デアリマシテ、同時ニ一國ノ金融政策ヲ決定スル上ニ於テモ、大切ナル基礎數字デアリマスルガ故ニ、兌換銀行券ヲ整理シ、其發行高ノ數字ヲ兌換銀行券ノ實際ノ流通額ニ一致セシムルコトハ、最モ緊要ノコトデアルト信ズルノデゴザイマス、加之減失兌換銀行券ノ總額ヲ明白ニシテ日本銀行ノ兌換銀行券高ヨリ除去致シマスルトキハ、日本銀行ノ保有シテ居ル正貨準備ノ中カラ實際上從來適當デアリマシタ部分ヲ解放シ、之ヲ適切有效ニ利用スルコトガ出來ルノデアリマスルカラ、我國財政經濟ノ現狀ヨリ見マシテモ、兌換銀行券ノ整理ハ此際必要ナル施設ト考ヘラレルノデアリマス、但シ政府ハ以上ノ整理ヲ爲スニ方リマシテ、一舉ニシテ之ヲ斷行スルコトハ印刷局ノ兌換銀行券製造能力其他ニ鑑ミ、實行上困難ナル關係ガアリマスノデ、政府ハ諸種ノ事情ヲ斟酌致シマシテ、之ガ整理期限

第十一條

兌換銀行券ノ中、彼ノ大正十二年關東地方ニ於ケル大震災ノ如キ場合ハ勿論ノコトデゴザイマスルガ、其外年々歳々全國各地ニ發生スル天災事故ニ依リ、又個人ガ亡失紛失シタル等ノ事由ニ依テ減失致シマシタ兌換銀行券ハ、今其數額ヲ明カニスルコトハ出來マセヌガ、蓋シ相當巨額ニ達シテ居ルコト、思フノデゴザイマス、而シテ現在日本銀行ガ發表致シテ居リマスル同行ノ兌換銀行券發行高ノ中ニハ、是等ノ減失ニ歸シマシタ兌換銀行券ノ數額ヲ含シテ居ルデアリマス、隨テ日本銀行ノ發表シマスル兌換銀行券發行高ハ、其實際ノ流通額ト一致シテ居ナイ譯デアリマス、而シテ此不一致ハ年數ヲ重ヌルニ連レテ、兌換銀行券ノ減失ノ高ノ増加スルニ從ヒ、益々大トナルデアリマス、然ルニ兌換銀行券ノ流通額ハ、經濟界ノ實勢ヲ知ル上ニ於テ最重要ナル事項ノ一デアリマシテ、同時ニ一國ノ金融政策ヲ決定スル上ニ於テモ、大切ナル基礎數字デアリマスルガ故ニ、兌換銀行券ヲ整理シ、其發行高ノ數字ヲ兌換銀行券ノ實際ノ流通額ニ一致セシムルコトハ、最モ緊要ノコトデアルト信ズルノデゴザイマス、加之減失兌換銀行券ノ總額ヲ明白ニシテ日本銀行ノ兌換銀行券高ヨリ除去致シマスルトキハ、日本銀行ノ保有シテ居ル正貨準備ノ中カラ實際上從來適當デアリマシタ部分ヲ解放シ、之ヲ適切有效ニ利用スルコトガ出來ルノデアリマスルカラ、我國財政經濟ノ現狀ヨリ見マシテモ、兌換銀行券ノ整理ハ此際必要ナル施設ト考ヘラレルノデアリマス、但シ政府ハ以上ノ整理ヲ爲スニ方リマシテ、一舉ニシテ之ヲ斷行スルコトハ印刷局ノ兌換銀行券製造能力其他ニ鑑ミ、實行上困難ナル關係ガアリマスノデ、政府ハ諸種ノ事情ヲ斟酌致シマシテ、之ガ整理期限

第十二條

兌換銀行券ノ中、彼ノ大正十二年關東地方ニ於ケル大震災ノ如キ場合ハ勿論ノコトデゴザイマスルガ、其外年々歳々全國各地ニ發生スル天災事故ニ依リ、又個人ガ亡失紛失シタル等ノ事由ニ依テ減失致シマシタ兌換銀行券ハ、今其數額ヲ明カニスルコトハ出來マセヌガ、蓋シ相當巨額ニ達シテ居ルコト、思フノデゴザイマス、而シテ現在日本銀行ガ發表致シテ居リマスル同行ノ兌換銀行券發行高ノ中ニハ、是等ノ減失ニ歸シマシタ兌換銀行券ノ數額ヲ含シテ居ルデアリマス、隨テ日本銀行ノ發表シマスル兌換銀行券發行高ハ、其實際ノ流通額ト一致シテ居ナイ譯デアリマス、而シテ此不一致ハ年數ヲ重ヌルニ連レテ、兌換銀行券ノ減失ノ高ノ増加スルニ從ヒ、益々大トナルデアリマス、然ルニ兌換銀行券ノ流通額ハ、經濟界ノ實勢ヲ知ル上ニ於テ最重要ナル事項ノ一デアリマシテ、同時ニ一國ノ金融政策ヲ決定スル上ニ於テモ、大切ナル基礎數字デアリマスルガ故ニ、兌換銀行券ヲ整理シ、其發行高ノ數字ヲ兌換銀行券ノ實際ノ流通額ニ一致セシムルコトハ、最モ緊要ノコトデアルト信ズルノデゴザイマス、加之減失兌換銀行券ノ總額ヲ明白ニシテ日本銀行ノ兌換銀行券高ヨリ除去致シマスルトキハ、日本銀行ノ保有シテ居ル正貨準備ノ中カラ實際上從來適當デアリマシタ部分ヲ解放シ、之ヲ適切有效ニ利用スルコトガ出來ルノデアリマスルカラ、我國財政經濟ノ現狀ヨリ見マシテモ、兌換銀行券ノ整理ハ此際必要ナル施設ト考ヘラレルノデアリマス、但シ政府ハ以上ノ整理ヲ爲スニ方リマシテ、一舉ニシテ之ヲ斷行スルコトハ印刷局ノ兌換銀行券製造能力其他ニ鑑ミ、實行上困難ナル關係ガアリマスノデ、政府ハ諸種ノ事情ヲ斟酌致シマシテ、之ガ整理期限

第十三條

兌換銀行券ノ中、彼ノ大正十二年關東地方ニ於ケル大震災ノ如キ場合ハ勿論ノコトデゴザイマスルガ、其外年々歳々全國各地ニ發生スル天災事故ニ依リ、又個人ガ亡失紛失シタル等ノ事由ニ依テ減失致シマシタ兌換銀行券ハ、今其數額ヲ明カニスルコトハ出來マセヌガ、蓋シ相當巨額ニ達シテ居ルコト、思フノデゴザイマス、而シテ現在日本銀行ガ發表致シテ居リマスル同行ノ兌換銀行券發行高ノ中ニハ、是等ノ減失ニ歸シマシタ兌換銀行券ノ數額ヲ含シテ居ルデアリマス、隨テ日本銀行ノ發表シマスル兌換銀行券發行高ハ、其實際ノ流通額ト一致シテ居ナイ譯デアリマス、而シテ此不一致ハ年數ヲ重ヌルニ連レテ、兌換銀行券ノ減失ノ高ノ増加スルニ從ヒ、益々大トナルデアリマス、然ルニ兌換銀行券ノ流通額ハ、經濟界ノ實勢ヲ知ル上ニ於テ最重要ナル事項ノ一デアリマシテ、同時ニ一國ノ金融政策ヲ決定スル上ニ於テモ、大切ナル基礎數字デアリマスルガ故ニ、兌換銀行券ヲ整理シ、其發行高ノ數字ヲ兌換銀行券ノ實際ノ流通額ニ一致セシムルコトハ、最モ緊要ノコトデアルト信ズルノデゴザイマス、加之減失兌換銀行券ノ總額ヲ明白ニシテ日本銀行ノ兌換銀行券高ヨリ除去致シマスルトキハ、日本銀行ノ保有シテ居ル正貨準備ノ中カラ實際上從來適當デアリマシタ部分ヲ解放シ、之ヲ適切有效ニ利用スルコトガ出來ルノデアリマスルカラ、我國財政經濟ノ現狀ヨリ見マシテモ、兌換銀行券ノ整理ハ此際必要ナル施設ト考ヘラレルノデアリマス、但シ政府ハ以上ノ整理ヲ爲スニ方リマシテ、一舉ニシテ之ヲ斷行スルコトハ印刷局ノ兌換銀行券製造能力其他ニ鑑ミ、實行上困難ナル關係ガアリマスノデ、政府ハ諸種ノ事情ヲ斟酌致シマシテ、之ガ整理期限

第十四條

兌換銀行券ノ中、彼ノ大正十二年關東地方ニ於ケル大震災ノ如キ場合ハ勿論ノコトデゴザイマスルガ、其外年々歳々全國各地ニ發生スル天災事故ニ依リ、又個人ガ亡失紛失シタル等ノ事由ニ依テ減失致シマシタ兌換銀行券ハ、今其數額ヲ明カニスルコトハ出來マセヌガ、蓋シ相當巨額ニ達シテ居ルコト、思フノデゴザイマス、而シテ現在日本銀行ガ發表致シテ居リマスル同行ノ兌換銀行券發行高ノ中ニハ、是等ノ減失ニ歸シマシタ兌換銀行券ノ數額ヲ含シテ居ルデアリマス、隨テ日本銀行ノ發表シマスル兌換銀行券發行高ハ、其實際ノ流通額ト一致シテ居ナイ譯デアリマス、而シテ此不一致ハ年數ヲ重ヌルニ連レテ、兌換銀行券ノ減失ノ高ノ増加スルニ從ヒ、益々大トナルデアリマス、然ルニ兌換銀行券ノ流通額ハ、經濟界ノ實勢ヲ知ル上ニ於テ最重要ナル事項ノ一デアリマシテ、同時ニ一國ノ金融政策ヲ決定スル上ニ於テモ、大切ナル基礎數字デアリマスルガ故ニ、兌換銀行券ヲ整理シ、其發行高ノ數字ヲ兌換銀行券ノ實際ノ流通額ニ一致セシムルコトハ、最モ緊要ノコトデアルト信ズルノデゴザイマス、加之減失兌換銀行券ノ總額ヲ明白ニシテ日本銀行ノ兌換銀行券高ヨリ除去致シマスルトキハ、日本銀行ノ保有シテ居ル正貨準備ノ中カラ實際上從來適當デアリマシタ部分ヲ解放シ、之ヲ適切有效ニ利用スルコトガ出來ルノデアリマスルカラ、我國財政經濟ノ現狀ヨリ見マシテモ、兌換銀行券ノ整理ハ此際必要ナル施設ト考ヘラレルノデアリマス、但シ政府ハ以上ノ整理ヲ爲スニ方リマシテ、一舉ニシテ之ヲ斷行スルコトハ印刷局ノ兌換銀行券製造能力其他ニ鑑ミ、實行上困難ナル關係ガアリマスノデ、政府ハ諸種ノ事情ヲ斟酌致シマシテ、之ガ整理期限

第十五條

兌換銀行券ノ中、彼ノ大正十二年關東地方ニ於ケル大震災ノ如キ場合ハ勿論ノコトデゴザイマスルガ、其外年々歳々全國各地ニ發生スル天災事故ニ依リ、又個人ガ亡失紛失シタル等ノ事由ニ依テ減失致シマシタ兌換銀行券ハ、今其數額ヲ明カニスルコトハ出來マセヌガ、蓋シ相當巨額ニ達シテ居ルコト、思フノデゴザイマス、而シテ現在日本銀行ガ發表致シテ居リマスル同行ノ兌換銀行券發行高ノ中ニハ、是等ノ減失ニ歸シマシタ兌換銀行券ノ數額ヲ含シテ居ルデアリマス、隨テ日本銀行ノ發表シマスル兌換銀行券發行高ハ、其實際ノ流通額ト一致シテ居ナイ譯デアリマス、而シテ此不一致ハ年數ヲ重ヌルニ連レテ、兌換銀行券ノ減失ノ高ノ増加スルニ從ヒ、益々大トナルデアリマス、然ルニ兌換銀行券ノ流通額ハ、經濟界ノ實勢ヲ知ル上ニ於テ最重要ナル事項ノ一デアリマシテ、同時ニ一國ノ金融政策ヲ決定スル上ニ於テモ、大切ナル基礎數字デアリマスルガ故ニ、兌換銀行券ヲ整理シ、其發行高ノ數字ヲ兌換銀行券ノ實際ノ流通額ニ一致セシムルコトハ、最モ緊要ノコトデアルト信ズルノデゴザイマス、加之減失兌換銀行券ノ總額ヲ明白ニシテ日本銀行ノ兌換銀行券高ヨリ除去致シマスルトキハ、日本銀行ノ保有シテ居ル正貨準備ノ中カラ實際上從來適當デアリマシタ部分ヲ解放シ、之ヲ適切有效ニ利用スルコトガ出來ルノデアリマスルカラ、我國財政經濟ノ現狀ヨリ見マシテモ、兌換銀行券ノ整理ハ此際必要ナル施設ト考ヘラレルノデアリマス、但シ政府ハ以上ノ整理ヲ爲スニ方リマシテ、一舉ニシテ之ヲ斷行スルコトハ印刷局ノ兌換銀行券製造能力其他ニ鑑ミ、實行上困難ナル關係ガアリマスノデ、政府ハ諸種ノ事情ヲ斟酌致シマシテ、之ガ整理期限

第十六條

兌換銀行券ノ中、彼ノ大正十二年關東地方ニ於ケル大震災ノ如キ場合ハ勿論ノコトデゴザイマスルガ、其外年々歳々全國各地ニ發生スル天災事故ニ依リ、又個人ガ亡失紛失シタル等ノ事由ニ依テ減失致シマシタ兌換銀行券ハ、今其數額ヲ明カニスルコトハ出來マセヌガ、蓋シ相當巨額ニ達シテ居ルコト、思フノデゴザイマス、而シテ現在日本銀行ガ發表致シテ居リマスル同行ノ兌換銀行券發行高ノ中ニハ、是等ノ減失ニ歸シマシタ兌換銀行券ノ數額ヲ含シテ居ルデアリマス、隨テ日本銀行ノ發表シマスル兌換銀行券發行高ハ、其實際ノ流通額ト一致シテ居ナイ譯デアリマス、而シテ此不一致ハ年數ヲ重ヌルニ連レテ、兌換銀行券ノ減失ノ高ノ増加スルニ從ヒ、益々大トナルデアリマス、然ルニ兌換銀行券ノ流通額ハ、經濟界ノ實勢ヲ知ル上ニ於テ最重要ナル事項ノ一デアリマシテ、同時ニ一國ノ金融政策ヲ決定スル上ニ於テモ、大切ナル基礎數字デアリマスルガ故ニ、兌換銀行券ヲ整理シ、其發行高ノ數字ヲ兌換銀行券ノ實際ノ流通額ニ一致セシムルコトハ、最モ緊要ノコトデアルト信ズルノデゴザイマス、加之減失兌換銀行券ノ總額ヲ明白ニシテ日本銀行ノ兌換銀行券高ヨリ除去致シマスルトキハ、日本銀行ノ保有シテ居ル正貨準備ノ中カラ實際上從來適當デアリマシタ部分ヲ解放シ、之ヲ適切有效ニ利用スルコトガ出來ルノデアリマスルカラ、我國財政經濟ノ現狀ヨリ見マシテモ、兌換銀行券ノ整理ハ此際必要ナル施設ト考ヘラレルノデアリマス、但シ政府ハ以上ノ整理ヲ爲スニ方リマシテ、一舉ニシテ之ヲ斷行スルコトハ印刷局ノ兌換銀行券製造能力其他ニ鑑ミ、實行上困難ナル關係ガアリマスノデ、政府ハ諸種ノ事情ヲ斟酌致シマシテ、之ガ整理期限

第十七條

兌換銀行券ノ中、彼ノ大正十二年關東地方ニ於ケル大震災ノ如キ場合ハ勿論ノコトデゴザイマスルガ、其外年々歳々全國各地ニ發生スル天災事故ニ依リ、又個人ガ亡失紛失シタル等ノ事由ニ依テ減失致シマシタ兌換銀行券ハ、今其數額ヲ明カニスルコトハ出來マセヌガ、蓋シ相當巨額ニ達シテ居ルコト、思フノデゴザイマス、而シテ現在日本銀行ガ發表致シテ居リマスル同行ノ兌換銀行券發行高ノ中ニハ、是等ノ減失ニ歸シマシタ兌換銀行券ノ數額ヲ含シテ居ルデアリマス、隨テ日本銀行ノ發表シマスル兌換銀行券發行高ハ、其實際ノ流通額ト一致シテ居ナイ譯デアリマス、而シテ此不一致ハ年數ヲ重ヌルニ連レテ、兌換銀行券ノ減失ノ高ノ増加スルニ從ヒ、益々大トナルデアリマス、然ルニ兌換銀行券ノ流通額ハ、經濟界ノ實勢ヲ知ル上ニ於テ最重要ナル事項ノ一デアリマシテ、同時ニ一國ノ金融政策ヲ決定スル上ニ於テモ、大切ナル基礎數字デアリマスルガ故ニ、兌換銀行券ヲ整理シ、其發行高ノ數字ヲ兌換銀行券ノ實際ノ流通額ニ一致セシムルコトハ、最モ緊要ノコトデアルト信ズルノデゴザイマス、加之減失兌換銀行券ノ總額ヲ明白ニシテ日本銀行ノ兌換銀行券高ヨリ除去致シマスルトキハ、日本銀行ノ保有シテ居ル正貨準備ノ中カラ實際上從來適當デアリマシタ部分ヲ解放シ、之ヲ適切有效ニ利用スルコトガ出來ルノデアリマスルカラ、我國財政經濟ノ現狀ヨリ見マシテモ、兌換銀行券ノ整理ハ此際必要ナル施設ト考ヘラレルノデアリマス、但シ政府ハ以上ノ整理ヲ爲スニ方リマシテ、一舉ニシテ之ヲ斷行スルコトハ印刷局ノ兌換銀行券製造能力其他ニ鑑ミ、實行上困難ナル關係ガアリマスノデ、政府ハ諸種ノ事情ヲ斟酌致シマシテ、之ガ整理期限

第十八條

兌換銀行券ノ中、彼ノ大正十二年關東地方ニ於ケル大震災ノ如キ場合ハ勿論ノコトデゴザイマスルガ、其外年々歳々全國各地ニ發生スル天災事故ニ依リ、又個人ガ亡失紛失シタル等ノ事由ニ依テ減失致シマシタ兌換銀行券ハ、今其數額ヲ明カニスルコトハ出來マセヌガ、蓋シ相當巨額ニ達シテ居ルコト、思フノデゴザイマス、而シテ現在日本銀行ガ發表致シテ居リマスル同行ノ兌換銀行券發行高ノ中ニハ、是等ノ減失ニ歸シマシタ兌換銀行券ノ數額ヲ含シテ居ルデアリマス、隨テ日本銀行ノ發表シマスル兌換銀行券發行高ハ、其實際ノ流通額ト一致シテ居ナイ譯デアリマス、而シテ此不一致ハ年數ヲ重ヌルニ連レテ、兌換銀行券ノ減失ノ高ノ増加スルニ從ヒ、益々大トナルデアリマス、然ルニ兌換銀行券ノ流通額ハ、經濟界ノ實勢ヲ知ル上ニ於テ最重要ナル事項ノ一デアリマシテ、同時ニ一國ノ金融政策ヲ決定スル上ニ於テモ、大切ナル基礎數字デアリマスルガ故ニ、兌換銀行券ヲ整理シ、其發行高ノ數字ヲ兌換銀行券ノ實際ノ流通額ニ一致セシムルコトハ、最モ緊要ノコトデアルト信ズルノデゴザイマス、加之減失兌換銀行券ノ總額ヲ明白ニシテ日本銀行ノ兌換銀行券高ヨリ除去致シマスルトキハ、日本銀行ノ保有シテ居ル正貨準備ノ中カラ實際上從來適當デアリマシタ部分ヲ解放シ、之ヲ適切有效ニ利用スルコトガ出來ルノデアリマスルカラ、我國財政經濟ノ現狀ヨリ見マシテモ、兌換銀行券ノ整理ハ此際必要ナル施設ト考ヘラレルノデアリマス、但シ政府ハ以上ノ整理ヲ爲スニ方リマシテ、一舉ニシテ之ヲ斷行スルコトハ印刷局ノ兌換銀行券製造能力其他ニ鑑ミ、實行上困難ナル關係ガアリマスノデ、政府ハ諸種ノ事情ヲ斟酌致シマシテ、之ガ整理期限

第十九條

兌換銀行券ノ中、彼ノ大正十二年關東地方ニ於ケル大震災ノ如キ場合ハ勿論ノコトデゴザイマスルガ、其外年々歳々全國各地ニ發生スル天災事故ニ依リ、又個人ガ亡失紛失シタル等ノ事由ニ依テ減失致シマシタ兌換銀行券ハ、今其數額ヲ明カニスルコトハ出來マセヌガ、蓋シ相當巨額ニ達シテ居ルコト、思フノデゴザイマス、而シテ現在日本銀行ガ發表致シテ居リマスル同行ノ兌換銀行券發行高ノ中ニハ、是等ノ減失ニ歸シマシタ兌換銀行券ノ數額ヲ含シテ居ルデアリマス、隨テ日本銀行ノ發表シマスル兌換銀行券發行高ハ、其實際ノ流通額ト一致シテ居ナイ譯デアリマス、而シテ此不一致ハ年數ヲ重ヌルニ連レテ、兌換銀行券ノ減失ノ高ノ増加スルニ從ヒ、益々大トナルデアリマス、然ルニ兌換銀行券ノ流通額ハ、經濟界ノ實勢ヲ知ル上ニ於テ最重要ナル事項ノ一デアリマシテ、同時ニ一國ノ金融政策ヲ決定スル上ニ於テモ、大切ナル基礎數字デアリマスルガ故ニ、兌換銀行券ヲ整理シ、其發行高ノ數字ヲ兌換銀行券ノ實際ノ流通額ニ一致セシムルコトハ、最モ緊要ノコトデアルト信ズルノデゴザイマス、加之減失兌換銀行券ノ總額ヲ明白ニシテ日本銀行ノ兌換銀行券高ヨリ除去致シマスルトキハ、日本銀行ノ保有シテ居ル正貨準備ノ中カラ實際上從來適當デアリマシタ部分ヲ解放シ、之ヲ適切有效ニ利用スルコトガ出來ルノデアリマスルカラ、我國財政經濟ノ現狀ヨリ見マシテモ、兌換銀行券ノ整理ハ此際必要ナル施設ト考ヘラレルノデアリマス、但シ政府ハ以上ノ整理ヲ爲スニ方リマシテ、一舉ニシテ之ヲ斷行スルコトハ印刷局ノ兌換銀行券製造能力其他ニ鑑ミ、實行上困難ナル關係ガアリマスノデ、政府ハ諸種ノ事情ヲ斟酌致シマシテ、之ガ整理期限

コトモ洵ニ結構デ、先般モ其事ニ一寸言ヲ觸レタノデアリマスガ、大部分ハ是ハ一ツ庶民階級ノ爲ニ使フヤウナ風ニ、初カラ法律ヲ作テ置カシテレバナラヌト唱ヘタ、今此處デ十五年先ノ事ヲ決メルノニ、其使途マデ此處デ決メテ、是ハ借金ノ返シニ充テルト云フコトハ、餘リハ考ヘ過ギテハ居ナイカ、丁度十五年立チマスレバ、震災手形ノ法案モ向フ十年デ以テ公債ノ償還期ガ來ルノデアリマスカラ、片岡大藏大臣ノ頭ニハ、此震災手形ガ結局ハ取レナイカラ、斯ウ云フモノヲ向ケタラ宜イト云フヤウナ御考ガアルノカモ知レマセヌガ、ソレハ私ハ少シ吝チ奧イト思フ、兎ニ角無クナタ金デアリシ、燒ケタ金デアリカラ、之ヲ庶民階級、殊ニ貧民階級ノ爲ニ使フ、マア一家ノ私共ノ經濟ニシマシテモ、矢張サウ云フ氣ガ起ルノハ當然ノ話デアリマス、ソコデ私ハ此法案ハ十五年先ノ使途マデモ考ヘナイデ、兎ニ角モ整理シテ見ル、斯ウ云フコトダケニシテ一ツ決メタラドウデアリカ、殊ニ私ガ御尋シタイノハ、小額紙幣ハ既ニ殆ド整理サレマシテ、モウ殆ド日本銀行ニ換ヘニ來ルハナイグラウト私ハ想像致シテ居リマス、アレモ能ク數字ハ覺エマセヌガ、少クトモ一千万圓、一千四百万圓以上ニ上テ居ルヤウニ思フノデアリマス、是ハ何時頃小額紙幣ノ方ハ決定ナサレテ、アノ使途ハ矢張國債ノ償還ニ充テラレルノデアリカ、インソノコトアノ金ダケデモ早ク整理サレマシテ、之ヲ社會事業ニ使フテ貴ヒタイト思フノデアリマスガ、政府ニ於キマシテハ斯ウ云フ方面ノ御考ハナイカ、小額紙幣ハ總發行高四億圓程度ノモノデ、一千万圓以上僅十圓ニ出來ルトシマスレバ、此五十四億ノ大キナ數字ガ長年ニ於テ使ハレマシテ、私ハ屹度相當——若シ小額

紙幣ノ四億圓ニシテ一千万圓トナリマスレバ、屹度一億圓以上ハアルグラウト私ハ睨ンデ居ル、ソコデ吾々ノ氣持デハ、少シデモ早ク數字ヲ見テ、一ツ良イ社會事業ヲヤッテ見タイト云フ希望ガ切デアリマスガ、十五年ハ餘リ長過ギハシナイカ、ソコデ十箇年位デ一ツ之ヲ締切付ケマシテ、早ク一ツ良イ社會事業ヲ行ウテ見タイト云フヤウニ思フノデアリマスガ、十箇年デハ出來マセヌモノデセウカ、斯ウ云フ點ニ付キマシテ御尋シテ見タイト思フ、殊ニ其使途ヲ今カラ決メテ、サウシテソレヲ國債償還ニ充テルト云フノハ、震災手形ガ實際取レナイカラ、之ヲ充テルト云フヤウナ御意思デモアルノデセウカ、サウ云フ點ニ付キマシテ御答辯ヲ得タイト思フノデアリマス

(國務大臣片岡直溫君登壇)

○國務大臣(片岡直溫君) 只今ノ御尋ニ御答致シマス、第一ニ此減失紙幣ニ對スル部分ヲ、社會事業ノ資ニ充ツル方ガ宜イト云フ御趣旨ノ下ニ、今直ニ其使途ヲ決メテ置カヌデモ宜イデアリナイカ、之ヲ決メルノハ震災手形ガ取レヌコトニナルノデアラウト思フカラシテ、ソレデ茲ニ決メルノデナイカ、斯ウ云フ御質疑ト存ジマス、其内此減失ヲ致シタ部分ハ、主ニ庶民階級ニ屬スルモノデアリ、斯ウ御斷定ノヤウデアリマスガ、是ハ庶民階級ノモノモゴザイマセウ、又大ニ金ヲ纏メテ居テ燒ケタト云フガ如キモノモゴザイマセウ、一概ニ庶民階級ノモノナリト云フ斷定ハ付カヌト存ジマス、ソレト同時ニ大資本家ノモノデアルトモ斷定ハ付カヌト存ジマス、兎ニ角國民ノ持テ居ルモノガ減失致シタノデアリマスカラ、其減失シタ所ノモノハ國ノ所得ニスル、是ガ當リ前デアラウト云フコトガ法案ノ骨子デアリマス、社會事業ニ放資スルガ

善イトカ、惡イトカト云フコトハ、是ハ人ノ御意見ト見テ宜イコトデアリマス、必ズ其御意見ガ惡イトモ、善イトモ申上ゲマセヌ、唯、震災手形ガ取レヌコトニナルノデアラウカラ、ソレニ充テルト云フコトニシタノデナイカト云フ御尋ニ對シマシテハ、是ハ一億圓ハ國ガ補償スルト云フコトガ決テ居リマシテ、其一億圓ノ國ノ補償スル方法ヲ法律案トシテ提出致シテ居ルノデアリマス、是ハ取りモ直サズ國ノ損ニナルノデアリマス、其部分ニ充テヤウト云フ積リデアリマス、星島君ハ或ハ一億圓以上モアルト之ヲ御覽ニナッテ居ルカモ知レマセヌ、是モヤッテ見ナケレバ分リマセヌガ、目下流通シテ居ル兌換券ノ數量ハ約十二億カラ十三億ノモノト存ジマス、サウ云フモノデゴザイマスカラ、必ズ是ガ一億圓モアラウトハ私ハ信ジテ居リマセヌ、殊ニ金ト云フモノハ相當大切ニ取扱フモノデゴザイマスカラ、大震火ノ場合ト雖モ、身體ヲ以テ通レル時ニ大概ソレダケハ攜帶致シタカト思フ、攜帶シテ居ル者ハ途中デ火災、遭難等ノ爲ニ身體ト共ニ減失シタト云フモノモソレハアルデアリマセウ、其數量ニ至リマシテハ、是ハ誰シモ確ニ幾ラデアルト云フ見當ハ付キマス、私ハソレ程多クハナイト思フテ居リマス、然ラバ國ガ負擔ヲスル所ノ彼ノ震災手形ノ一億圓ノ中ニ之ヲ充當スルト云フコトハ、震災手形其物ハ、今回ノ大震火ヨリ生ジテ來タモノデアリマスカラ、是ガ一番妥當ナリト信ジタニ過ギマセヌ、ソレカラモウ一ツノ御尋ハ、十五年デハ長過ギル、モット短ク行カヌカ、斯ウ云フ御尋、是ハ大體ニ於テ私モ最初ハ御同感デアッタノデアリマス、大抵世ノ中ノ事ハ十年ガ先ゾ一期ト立テ、アルモノト私ハ平常心得テ居ル、ソレ故ニ成ベ

クサウシタイト存ジマスガ、實ハ是ガ準備ニ——即チ新シイ兌換券ヲ拵ヘマスル準備ニ約五年以上掛ルヤウデス、サウシテ之ヲ漸次取換ヘテ行キマス云フコトノ期日ヲ餘リニ短縮スルト云フコトハ、實際上適當デナイト云フ所ヨリシテ、金融制度調査會ノ委員會ニ於テ、十五年ガ適當ナリト極デ次第デアリマス、準備ハ五年ソコ——出來ヤウト存ジマス、唯、見様ハ、其後二十年ヲ置クカ五年ヲ置クカト云フコトガ實際問題ニナリマスガ、金融調査會ノ意見ハ、之ヲ十五年ニスルガ相當ナリト答申ヲ致シマシタカラ、之ニ基イテ提案シタ次第デアリマス

○星島二郎君 簡單デアリマスカラ自席カラ——尙ホ私ノ尋ネマシタ中ニ、小額紙幣ガ多額ニ達シテ居リマスルガ、之ニ付テ何カ外ニ使途ヲ考ヘテ居リマセヌカト云フ事、是ガ一ツ落チテ居ルノデアリマス、サウシテ會テ加藤友三郎内閣ノ時代ニモ、既ニ政府案トシテ、社會事業ノ爲ニ使フト云フコトガ、一旦出タノデアリマス、是ハ社會ノ輿論ガ非常ニ歡迎シタノデアリマスカラ、何カ使途ヲ考ヘナケレバナラヌト思フ、一體香奠ニ貴タモノヲ、自分ノ借金ニ使フヨリ、慈善事業ニ使フト云フノガ人情ノ自然デアリマスカラ、是ハ政府ハ一ツ社會事業ニ使フト云フ根本方針ニ御同感デアラウト思フノデアリマスガ、此點ニ付キマシテ今一ツ御答ヲ願ヒタイ、今一ツハ、先程御尋シヤウト思フテ居タノデアリマスルガ、震災ニ於キマシテ多クノ公債ガ燒ケタラウト思ヒマス、是モ大部分整理ハ付イタラウト思ヒマスガ、此公債ニ依リマシテ、政府ハ多分儲ケラレタト思フテ居リマスガ、其儲ケタ金ハ何カ使途デモ極メラレテ居リマスガ、此機會ニ於テ御尋致シテ見タイト

思フノデアリマス

〔國務大臣片岡直溫君登壇〕

○國務大臣(片岡直溫君) 小額紙幣ノ問題ニ對シテ御答ヲ落シマシタ、今殘テ居リマスルモノガ千四百二十萬圓バカリアリマス、是ハ補助貨幣ト引換ヘテ進メテ居ルノデアリマシテ、是ガ通用ヲ禁止シテ居ル譯デナイノデアリマスカラ、今此引換フベキモノヲ他ノ事業ニ使フカト云フガ如キコトヲ、此際極メテ譯ニハ參ルマイト思ヒマス、ソレカラ今一ツノ御尋ノ公債、公債ハ或ハ燒ケタモノモゴザイマセウ、併ナガラハ別ニ政府ガ得テスルコトモ損ヲスルコトモナイ、利拂ガ減ルト云フダケデ、利拂フニ及バヌヤウニナル、斯ウ云フ譯デ何モ得モナケレバ損モナイ譯デアリマス

〔利拂ハナケレバ得デハナイカ〕ト呼フ者アリ

〔曾田義一君登壇〕

○曾田義一君 本案ニ付キマシテ私ハ三ツノ質問ヲ致シタイノデアリマス、其中ノ一ツハ只今星島君ヨリ御質問ニナツタガ、ソレニ對スル大藏大臣ノ答辯ヲ聞キマスルト、金融制度調査會ノ意見ヲ聞イテ、兌換券ノ引換期限ガ十五年デ丁度宜イト思フト云フダケノ御答デアリマス、私ハ星島君同様ニ此兌換券ノ引換期限、所謂通用期限ノ前途十五年トスルノハ長クハナイカト思フ、ソレニ付テ大藏大臣ハ、最近進歩シタル紙幣印刷機械ニ關スル調査ガアツタノデアルカ、近來機械ノ技術ノ進歩ニ對シ、恐クハ金融制度調査會委員ガ其知識ガ乏シカラウト思フノデアリマス、最新ノ機械ヲ輸入シテ、最新ノ技術ヲ以テ紙幣ヲ印刷スレバ、以前

ヨリハ餘程早ク印刷出來ルノデアリマス、故ニ私ハ是ハモット早クスルコトニ付テノ十分ノ調査研究ヲ遂ゲラレタノデアルカウカ伺ヒタイ、斯ク申シマスルノハ、大藏大臣ハ減失兌換券ハサウ多額デハナイト言ハレルケレドモ、誰ガ考ヘテモ五千萬圓ヤ六千萬圓以上ノ兌換券ハ減失シテ居ルト思フ、何分十七億圓モ發行シテ居ル兌換券ガ、通用シテ居ルノハ十三億圓デアリマスカラ、其差引イタ餘分ノ紙幣中ニ秘藏サレテ居ルノモアリマセウケレドモ、燒ケタリ無タナツテ居ルモノモ相當アルト云フコトハ、常識判斷デ出來ルノデアル、其減失シタモノハ國家ノ所得ニナルノデアリマス、而モ其金額ヲ以テ公債償還ニ充ツルト云フノデアルカラ、一年早ケレバ一年早イダケ國家モ國民モ利益スルノデアリマス、故ニ私ハ前途十年、長クテ十二年ニ短縮シタイト思フ、今日ノ進シタ機械ノ技術ト、且ツ宣傳ガ十分行渡ル時代ニ於テ、出來ルダケ期限ヲ短縮シタイ、ソレニ對シ、大藏大臣ノ確カナ御意見ヲ承リタイ、ソレカラ第二ニ、新兌換券ハ何日頃カラ發行シテ、世上ニ流通セシムル見込ナリヤ、之ガ早ケレバ早イ程便利デアリ、亦引換モ早クナルノデアリマス、第三點ハ、兌換券統一ノ意思ガアルカナイカト云フコトデアリマス、丁度兌換券整理ノ良イ機會デアリマスカラ、日本國內ニ目下流通シテ居ル三種ノ兌換券ヲ整理統一スル事ガ得策デハナイカ、即チ日本銀行發行ノ兌換券ノ外、朝鮮銀行ハ一億圓マデ銀行券トシテ發行スル權利ヲ有テ、現ニ發行シテ居ル、又臺灣銀行ハ五千萬圓マデ銀行券ヲ發行スル權利ヲ有シ

テ、現ニ發行シテ居ル、日本國民ニ三種ノ兌換券ガ流通シテ居ルト云フコトハ、國家ノ體面カラ言フテモ、又經濟上ノ點カラ考ヘテモ、褒ムベキ事デハナイ、是ハ過去ニ於テ一時ノ便宜法カラ出タモノデアル、朝鮮ニ或ハ内亂ガ起キヤシナイカ、臺灣ノ領土ニ不穩ナ事ガ勃發セヌカ、サウ云フ場合ニ朝鮮及臺灣兩銀行ニ兌換券發行ノ權利ヲ與ヘテ置クコトガ便利デアルト云フヤウナ、一時ノ便宜法カラ出來タコトデアル、所ガ今日デハ左様ナ心配ハナイノデアリマスカラ、寧ロ日本銀行兌換券ニ統一シタガ宜クハナイカ、殊ニ右ノ二ツノ銀行ガ銀行券ヲ發行スル所ノ準備ノ中ニハ、日本銀行ノ兌換券ヲ準備シテ加ヘテ居ル、兌換券ノ準備中ニ兌換券ヲ加フルト云フコトハ妙ナモノデ、制度ノ上ニ置イテ決シテ褒ムベキ事デナイ、更ニ又日本ノ金融政策カラ考ヘテモ、日本全體ノ流通紙幣ガ幾ラアルカト云フ場合ニ、誰シモ日本銀行ノ兌換券ノミヲ標準ニシテ居ルガ、何ゾ圖ラン朝鮮ニハ朝鮮銀行ガ發行シタ兌換券ガアリ、臺灣ニハ臺灣銀行ノ發行シタ兌換券ガアル、此總額ヲ合セテ見テ始メテ兌換券流通ノ總額ガ分ルノデアル、兌換券統一ト云フコトハ、金融調節上極メテ必要デアルシ、又一國內ニ流通スル紙幣ノ高ガ直グ分ルノデアリマスルカラ、是ハ統一シタ方ガ得策ト思フガ、其點ニ付テ大藏大臣ハ研究サレタカ、又統一サレル意思アリヤ否ヤ、尤モ此兩銀行ノ既得權ヲ取上ゲル時ニハ、相當ナ辨償ヲシナケレバナリマスマイ、又日本銀行トシテ特別ノ便利ヲ與ヘルコトモ必要デアリマセウ、サウ云フコトハ幾ラモ遺方ガ

アルノデアリマス、故ニ私ハ此際兌換券ノ整理ヲ機會トシテ、朝鮮、臺灣、兩銀行ノ銀行券ヲ日本銀行兌換券ニ統一スルノ御意思ハナイカ、以上三點ヲ質問致シマス(拍手)

〔國務大臣片岡直溫君登壇〕

○國務大臣(片岡直溫君) 第一ノ曾田君ノ御質問ハ、今技術ハ進歩シテ居ルノデ、此兌換券ヲ替ヘル期日ニ至ルテモ、モット早ク出來ル、金融制度ノ調査委員會ハ恐ラク其技術ノ進歩ヲ知ラナイデアラウ、斯ウ云フ御趣旨ノ下ニ調査ヲシテ見タカドウカト云フ御尋ガアツタト存ジマス、是ハ印刷局、日本銀行、大藏省關係ノアリマスル所ニ於テ、調査ヲ致シタ結果デアリマス、中サウ容易ク出來ナイサウデアリマス、五年ハドウシテモ掛ルト云フコトデアリマス、五年掛シテ後五年ノ間ニ印刷ヲスルト云フコトハ、少々印刷ノ間ガ氣長過ギル嫌ハアルト存ジマス、併ナガラ大事ヲ履ンデ五年ニ土臺ヲ拵ヘテ、次ノ五年ニ印刷シ、印刷ノ出來ル部分カラ通用ヲセシメタイ、サウシテ後ニ五年ノ餘裕ヲ置イテ、完全ナラシメヤウト云フ、此趣旨ニ外ナラヌノデアリマス、其次ノ御質問ハ何時發行スルカ、兌換券ハ何時カラ通用スルヤウニスルカ、斯ウ云フコトデアリマスルケレドモ、是ハ實ハ百圓券ダケハ今出來テ居ルノデス、百圓券ダケハ是ガ極リサヘスレバ、早ク引換ニ着手ガ出來マスガ、其他ノ方ハ今申上ゲタ通りデアリマス、ソレカラ第三ノ質問ハ朝鮮銀行等ヲ始メトシテ、總テ統一スル考ハ無イカト云フコトデアリマス、是ハ今日ノ制度ガ御承知ノ通りニナツテ居リマスルカラ、日本

銀行兌換券ダケハ、法律ノ定ムル所ニ依リテ行ケマスルガ、朝鮮、臺灣、總テヲ統一スルト云フコトハ、此際ニハナトムゾカシイト思フ、私ハ今朝鮮臺灣等ニ於ケル物マデモ統一スルト云フ考ヲ持テ居リマセヌ

(拍手)

○增田義一君 簡單デスカラ此席カラ發言ヲ御許ヲ願ヒマス——只今御答ノ最初ノ部分ハ感達ヒデハアリマスマイカ、準備ニ五年ヲ要スルト仰シヤタノデアリマスカ、準備ニ五年掛テ、印刷ニ五年掛ル、十年経テ後ノ五年デ通用セシメルトハ少シク意外デアル、準備ニ五年ト云フノハ何ヲ意味スルノカ、意匠ト製版トニ五年ヲ要スルノデアリマスカ、意匠ト製版ガ出来テシマヘバ、印刷機械ニシテ掛ケルノハ何デモナイ、ダカラ五年間ニ意匠製版カラ印刷マデ出来上ルト云ヘバ、ソレハ間エマスケレドモ、單ニ準備ニ五年掛リ、印刷ニ五年掛リ、十年ノ歳月ガ掛ルト云フコトハ、何カ御間違デハナイカト思ヒマス

(國務大臣片岡直溫君登壇)

○國務大臣(片岡直溫君) 增田君ノ御尋ノ通りニ早ク是ガ出来スコトハ、寔ニ残念ニ存ジマス、係ナガラ實際其土臺ヲ造リマス、即チ原版ヲ造リマスニハ、サウ容易ク出来ヌサウデアリマス、何トモ御互デ拵ヘルト云フヤウナ早速デ行カヌコトデアリマスカラ、是ハ已ムヲ得マセヌ

(坂東幸太郎君登壇)

○坂東幸太郎君 私モ本案ニ關聯スル事項ニ付テ簡單ニ三點ダケヲ御伺シテ見タイノデアリマス、間ク所ニ依リマスト現在銀行中ニ於テ認可ノ取消、或ハ營業ノ全部若

クハ一部停止ヲシタ銀行ガ二十六モアルサウデアリマス、其預金額ハ恐ラク數億圓ニ上ルデアリマセウガ、吾々ハ此間ノ銀行法案ノ提案中ニ於テモ、其内容ヲ知ルコトハ出来ナカッタノデアリマス、故ニ關聯事項トシテ、此際其二十六行ノ預金高並ニ預金者ノ數ト云フコトヲ御伺シタイノデゴザイマス、又今一ツハ現在以來ニ於テ支拂ガ不可能ナルノ故ヲ以テ休業ヲシテ居ル所ノ銀行モ、相當アルト承知シテ居リマス、ソレ等ノ預金額並ニ預金者ノ數ニ付テモ御伺シタイノデゴザイマス、第二ハ以上ノ如キ銀行ヲ政府ガ唯、傍觀シテ然ルベキモノデアルカドウカヲ伺ヒマス、即チ預金者ガ銀行ニ預金スルト云フコトハ、其半ハ政府ノ監督ガ嚴重デアアルカラト云フ理由ヲ以テ、言換マスレバ半バ政府ヲ信用シテ之ヲ預金シテ居ルモノト私ハ考ヘル、然ラバ銀行ガ以上ノ如キ不始末ヲスルニ付テハ、政府モ多少ノ責任ガアルヤウニ吾々ハ考ヘルノデアアル、然ルニ從來政府ハ斯ル銀行ニ對シテ殆ド傍觀ノ態度ヲ執リテ居ルヤウニ思ヒマスカ、尤モ昨年北海道ノ絲屋銀行ハ、政府ト日本銀行トノ協力ニ依リテ直接ニ金ハ出サナイガ、間接ニ救済ノ方法ヲ講ジマシタコトハ、吾々ハ大ニ感謝ヲシテ居ルノデアアル、故ニ以上ノ各種ノ銀行ニ對シテ政府ト日本銀行ト協力シテ、直接ニ金ヲ出サナイ迄モ之ヲ救済スル方法ヲ講ズルト云フコトハ、非常ニ必要デアラウト本員ハ考ヘル、之ニ對シテ政府ハ如何ナル考ヲ有スルカト云フコトヲ御伺シタイノデアリマス、第三ニハ從來銀行ガ不始末ヲ爲ス原因ハ少クトモ二ツゴザイマス、即チ重役ガ他ノ會社ノ

重役タル地位ヲ濫用シテ、サウシテ銀行ニ金ヲ貸出スト云フコトガ一ツノ原因トナッテ居ルヤウデアリマス、第二ハ重役或ハ銀行員ガ所謂「コンミッション」ト云フモノヲ公然取ツテ、サウシテ不良ナル貸付ヲスルト云フコトガアルヤウニ思ヒマスルノデ、隨テ此二ツノ原因ヲ除去スル爲ニハ、彼ノ銀行法案或ハ其他ニ於テモ相當ノ規定ヲ設ケナケレバ、如何ニ法案ガ完備シマシテモ、又矢張り不良ナル銀行ガ出来ナイトモ限ラヌ、ソレ等ニ對シテハ銀行法バカリデハナク、政府ノ方針トシテ、ドウ云フ御考デアアルカト云フコトヲ御伺シタイノデス、今一ツハ新聞雜誌ノ記事ニ付テ、銀行ニ對シテ重大ナル影響ガ生ズルコトガゴザイマス、即チ過日ノ彼ノ廣部銀行ノ如キハ、小新聞ガ金ヲ強要シテ、金ヲ貸サナイカラト言テ、即チ廣部銀行ハ危イト云フ所ノ號外ヲ撒イタノガ原因ヲ爲シテ、内容ハ比較的堅實デアアルガ、休業ヲシテ居ルト云フ狀態デアアル、隨テ是ハ銀行ヲ擁護シ、又預金者ヲ擁護スル意味ニ於テ、斯ノ如キ記事ハ嚴重ニ特別ノ規定ヲ設ケテ取締ル必要ガアル、サウ本員ハ考ヘテ居リマスルガ、政府ハ之ニ對シテ如何ナル御意見ヲ有スルカト云フコトヲ御伺スルノデアリマス

(國務大臣片岡直溫君登壇)

○國務大臣(片岡直溫君) 只今ノ御質問ニ御答ヲ申上ゲマス、第一ノ御質問ハ銀行ノ營業停止ノモノガアリ、又休業致シテ居ル所ノ數モ多イヤウデアアル、是等ノ銀行ノ預金ノ統計表ガアルデアラウカラ、之ヲ示スヤウニト云フコトデゴザイマス、是等ノ銀行ノ財產狀態ニ於テ、分リ得テ居リマスル

部分ハ御市ヲスルコトハ出来ヤウト存ジマス、内容ヲ精シク申上ゲル譯ニハ參リマスマイガ、預金ノ總額位ヲ申上ゲルコトハ一向差支ナイト存ジマス、併ナガラ本案ト是ハ直接ノ關係ガゴザイマセヌ爲ニ、今私ノ手許ニハアリマセヌ、後デ或ハ委員會ト云フヤウナ時ニ差上ゲルコトニ致シタイト存ジマス、ソレカラ此銀行ガ停止或ハ休業、斯様ニ相成ルト云フコトハ、是ハ重役ノ經營振リノ宜シカラザル所モアルガ、元來預金者ナドハ政府ノ検査ト云フコトニ信頼シテ、サウシテ預金ヲ致シテ居ル譯デアアルカラ、營業停止、或ハ休業ノ結果、損失ヲ受クルト云フコトニナレバ、政府モ幾分ノ責任ガアルデハナイカ、斯ウ云フ御趣旨デアッタト存ジマスガ、是ハ海ニ遺憾ノコトニ思フノデアリマス、元來政府ノ是マデノ検査ハ、僅ナ事務官、僅ナ屬官、漸ク七八年目ニ全國ノ銀行ニ行届クカ否ヤト云フ位ノ程度デ以テ實行シ來ッタノデアリマシテ、實際検査ガサウ行届キハシナイノデアリマス、併ナガラ多クノ人ミガ銀行ガ既ニ公認セラレテ居ル、検査ヲシテ居ル、斯ウ思フテ預金者ガ預金ヲスルト云フガ如キコトモ事實デアラウラウト思フ、ソレ故ニ本年ノ豫算ニ於キマシテハ、此検査事務官ヲ増加シ、之ニ附隨スル所ノ屬官モ増加スルコトニナッタノデアリマスガ、是トテモ約三年ニシテ全國中ノ金融機關ヲ一通リ調査ガ行届クト云フ位ノモノデアリマス、其中二種ノ風評モ起リマセウガ、又時々書面検査ヲ行フ積リデアリマスカラ、今後ハ多少行届クトハ思ヒマスケレドモ、元々預金ヲスルト云フガ如キ事柄ハ、一般預金者其人

人ガ十分ニ其重役ノ性行、銀行ノ信不悖等
ニ注意ヲシテ、預金ヲスルカセヌカト云フ
コトヲ決メテ貰ハナイト、政府ガ是ナレバ
預金ヲシタラ宜カラウト指圖スル譯ニ行カ
ズ、又ツレカト申シテ改善シテ居ルモノ
ニ、之ニハ預ケテハイケヌゾト云フガ如キ
貼紙ヲスルコトモ、是モ一寸イカヌコトデ
アリマス、ツレ故ニ政府トシテ検査上十分
ニ注意ヲ出來ル點ハ、今後ニ於テモ十分ス
ル積リデアリマスガ、是ハ御互二十分ニ注
意ヲ拂ハナケレバ致方ナイデアラウト思ヒ
マス、是ハ理窟デハナイ、實際ソレヨリ仕
方ノアルモノデアリマセヌ、而シテモウ一
ツノ質問ハ、斯様ニ停止ニナッタ、或ハ休
業致シテ居ル銀行ニ對シテ、政府ハ絲屋銀
行ニ對シテ盡シタ如キ救済ノ途ヲ講ズル意
思ヲ持シテ居ルカ、斯ウ云フ御尋デアリマ
スガ、政府ト致シマシテハ成ベク銀行ノ破
綻ヲ來サナイヤウニト云フコトヲ萬々期ス
ルモノデアル、又是ガ生ジマシタ場合ニ於
テ政府自ラ手ヲ下シテ、是ノ救済ヲスルト
云フガ如キコトハ、是ハ實際ニ於テ出來マ
セヌ、只一ノ支拂停止ノモノガ生ジマシタ
ラバ、他ノ近傍ノ支店若クハ本店ヲ有スル
銀行ヲシテ、是ガ救済ノ衝ニ當ラシメル、
其救済ヲスル方法ガ付キマシタラバ、金融
上ノ都合ハ成ベク日本銀行其他ノ方面ニ於
テ之ヲ付ケサセルヤウニ、出來ルダケノ援
助ハ致シマス、現在生ジテ居ルモノニ向ッ
テモ、相當心配ヲ致シテ居リマス、今後ニ
於テモ絲屋銀行ノ場合ト同ジヤウナ心持
ハ——心掛ハシテ居ルノデアリマス、只ツ
レノ上結果ヲ得ルト否トハ、何レカノ銀行
ガ是ノ後備トナッテ援助スルト云フ者ヲ見

第四條第一項ヲ左ノ如ク改ム
左ニ掲グル家畜ハ所有者又ハ保管者ニ
於テ警察官吏又ハ家畜防疫委員ノ指揮
ニ従ヒ之ヲ殺スベシ
一 牛疫、牛肺疫又ハ狂犬病ニ罹リタ
ル家畜
二 牛疫ニ感染シタル虞アル家畜但シ
第七條ノ規定ニ依リ免疫血清ノ注射
ヲ行フモノヲ除ク
第五條第一項ヲ左ノ如ク改ム
地方長官傳染病豫防上必要アリト認ム
ルトキハ左ニ掲グル家畜ニ付其ノ所有
者又ハ保管者ニ對シ之ヲ殺スコトヲ命
ズルコトヲ得
一 炭疽、氣腫疽、鼻疽、假性皮疽、
口蹄疫、羊痘、豚コレラ、豚疫、豚
丹毒、緬羊山羊ノ疥癬又ハ加奈陀馬
痘ニ罹リタル家畜
二 牛肺疫又ハ口蹄疫ニ感染シタル虞
アル家畜
三 牛疫ニ感染シタル虞アル家畜ニシ
テ第七條ノ規定ニ依リ免疫血清ノ注
射ヲ行ヒタルモノ
第八條 左ニ掲グル屍體ハ所有者又ハ保
管者ニ於テ警察官吏又ハ家畜防疫委員
ノ指揮ニ従ヒ直ニ之ヲ燒却又ハ埋却ス
ベシ但シ鶏皮鷲ノ屍體ニ付テハ指揮ヲ
待タズシテ之ヲ燒却又ハ埋却スルコト
ヲ得
一 傳染病ニ罹リ又ハ罹リタル疑アル
家畜ノ屍體
二 牛疫、牛肺疫又ハ口蹄疫ニ感染シ
タル虞アル家畜ノ屍體
前項ノ規定ハ左ニ掲グル屍體ニ之ヲ適

用セズ

一 牛ノ傳染性流産又ハ馬綿羊山羊ノ疥癬ニ罹リ又ハ罹リタル疑アル家畜ノ殺屍體

二 前號ニ掲グル家畜ノ屍體ニシテ警察官吏又ハ家畜防疫委員ノ指揮ニ從ヒ化製スルモノ

三 假性皮疽又ハ加奈陀馬痘ニ罹リ又ハ罹リタル疑アル家畜ノ屍體ニシテ警察官吏又ハ家畜防疫委員ノ指揮ニ從ヒ化製スルモノ

四 病性鑑定又ハ學術研究ノ爲メ地方長官ノ許可ヲ受ケタル家畜ノ屍體

五 前各號ニ掲グルモノヲ除クノ外傳染病ニ罹リタル疑アル家畜及前項第二號ニ掲グル家畜ノ殺屍體ニシテ命令ノ定ムル所ニ依リ地方長官ニ於テ

病毒傳播ノ虞ナシト認メタルモノ
第十條 前二條ノ規定ニ依リ屍體又ハ物品ヲ埋却シタル土地ハ之ヲ發掘スルコトヲ得ズ但シ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十一條 中「牛痘」ノ下ニ「牛肺疫若ハ口蹄疫」ヲ加フ
第十四條 第二項ヲ削ル

第十六條 第二項中「牛痘」ノ下ニ「牛肺疫若ハ口蹄疫」ヲ加フ
第十九條 中「農商務大臣」ヲ「農林大臣」ニ改ム

第二十二條 第五條第二項又ハ第十四條ノ場合ニ於テハ其ノ費用ハ北海道地方費又ハ府縣費ヲ以テ之ヲ支辨スベシ但シ前條ノ規定ニ依リ検査官吏第十

四條ノ事項ヲ行フ場合ニ於テハ國費ヲ

以テ之ヲ支辨スベシ

前項ノ費用ヲ支辨シタル者ハ第二十三條ノ規定ニ基キテ發スル勅令ノ定ムル所ニ依リ個人ノ負擔ニ屬スル費用ヲ其ノ個人ヨリ徵收スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ第一項但書ノ規定ニ依リ費用ヲ徵收スル場合ニ於テハ國稅徵收法ヲ準用ス

前項ノ規定スル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ國稅ニ次グモノトス

第二十二條 第三 地方長官ハ第三條第一項ノ處置又ハ第十六條第一項ノ命令ニ因リ自活スルコト能ハザルニ至リタル者ニ對シ其ノ生活費ニ充ツル爲メ手當金ヲ交付スベシ

前項ノ手當金ハ北海道地方費又ハ府縣費ヲ以テ之ヲ支辨スベシ

第二十四條 第一項第三號中「牛痘」ノ下ニ「牛肺疫又ハ口蹄疫」ヲ加ヘ同項第四號中「警察官吏又ハ家畜防疫委員カ」ヲ削ル

同條第二項及第三項ヲ左ノ如ク改ム

前項ノ手當金ハ輸入又ハ移入ニ付検査ヲ施行スル場合ニ於テハ前項第一號ニ規定スル家畜ニ付テハ之ヲ交付セズ前項第二號乃至第四號ニ規定スル家畜又ハ物品ニ付テハ其ノ額ハ前項第二號乃至第四號ニ掲グルモノノ二分ノ一トス

第八條 第二項第五號ニ規定スル屍體ノ評價額ト前二項ノ家畜ノ手當金ノ額トノ合算額ガ第一項ノ家畜ノ評價額ヲ超ユルトキハ其ノ差額ハ之ヲ手當金ヨリ控除ス

第一項ノ評價額及前項ノ屍體ノ評價額

ハ地方長官三人以上ノ評價人ヲ選定シテ之ヲ定メシム地方長官其ノ評價額ヲ不當ト認ムルトキハ更ニ他ノ三人以上ノ評價人ヲ選定シテ之ヲ定メシムルコトヲ得

第一項ノ評價額ハ發病前又ハ病毒汚染前ノ價格ニ依リ之ヲ定ムベシ

第二十四條 第二 第五條乃至第八條及前條ノ規定ニ於テ地方長官トアルハ輸入又ハ移入ニ付検査ヲ施行スル場合ニ於テハ稅關長トス

第二十六條 第四號中「第十四條第一項」ヲ「第十四條」ニ改ム

第三十二條 第二項中「市町村」ヲ「町村」ニ改メ「市制」又ハ「ヲ削ル

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
大正十四年勅令第二百四十五號ハ之ヲ廢止ス

〔國務大臣町田忠治君登壇〕
○國務大臣(町田忠治君) 只今上程ニナリマシタ家畜傳染病豫防法中改正法律案ノ大要ヲ茲ニ御説明申上ゲマス、牛ノ傳染性肋膜炎ノ防遏ニ關シマシテハ、一昨年七月緊急勅令ノ發布ヲ仰ギマシテ、昨年ノ五十一議會ニ於キマシテ、諸君ノ御承諾ヲ得タノデアリマスガ、其後ノ經過ニ徴シマスト、此緊急勅令ヲバ本法ニ統一スルノ必要ヲ認メタノデアリマス、又流行性口瘡ニ付キマシテハ、最近歐米ニ於ケル流行ノ狀態並ニ其病勢ニ鑑ミマシテ、本病ニ感染スル虞アリト認メマスル家畜ハ、牛ノ傳染性肋膜炎ニ感染スル虞アリト認メタル場合ニ處置スルト同様ノ處置ヲ講ズル必要ヲ認メタ

ノデアリマス、又傳染病豫防ノ爲メ家畜ノ出入往來ヲ禁止シ、又ハ隔離シタル等ニ依リマシテ、自活スルノ困難ナル者ガ生ジタル場合ニ於キマシテハ、其者ニ對シテ生活費トシテ手當ヲ支給スルノ規定ヲ設ケタノデアリマス、其他検査ノ場合ニ於キマシテモ、殺シマシタ家畜或ハ毀却致シマシタ物品ニ付キマシテモ、相當ノ手當金ヲ交付スル事ト致シ、家畜ノ屍體ノ利用ノ範圍ニ付キマシテモ、是ガ擴張ヲ圖ツタノデアリマス、右ハ本案ノ大體デアリマスルガ、其他或ハ病名、或ハ法令ノ改廢ニ伴フ字句ノ整理等モゴザイマスガ、何卒御審議ノ上御協賛アラシコトヲ願ヒマス

○副議長(小泉又次郎君) 本案ニ對シテ質疑ノ通告ガアリマス、高橋熊次郎君

〔高橋熊次郎君登壇〕
○高橋熊次郎君 畜産ノ發展ノ上カラ家畜ノ傳染豫防ノ必要ナルコトハ、申ス迄モナインデアリマス、併ナガラ私ハ此改正ニ方ッテ、尙ホ幾多看過サレタル事實ガアルノデアリカト云フ事ヲ考ヘマスルト同時ニ、家畜ノ傳染病豫防ニ對シテハ、徹底的ノ方策ヲ從來講ゼラレナカッタ、是ガ爲メ社會並ニ畜產業者ハ非常ナル脅威ニ陷レテ居ル、而シテ簡單ニヤリ得ベキモノモ等閑ニ付シテ居ルト云フ傾ガ認メ得ラレルノデアリマス、是等ニ付テ逐次質問ヲ致シタイト思フノデアリマス、素人ノ言フ事デアアルカラ、ハッキリシナイ事モアルグラウカラ、氣ヲ付ケテ御聴取ノ程ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、先ヅ狂犬病デアリマスルガ、御承知ノ通り狂犬病トハ、犬ガ氣運染ミタコトヲヤルノデアリマス、病毒ヲ持ッテ居ル犬ガ人

間ニ嚙ミ附ケバ、人間ハ恐水病ト云フコトニ相成ル、又牛馬或ハ羊豚ナドニモ喰附キマスルト、ソレト同ジヤウナ病氣ニナル恐ロシイモノデアリマス、然ルニ政府ハ之ニ對シテ從來執テ方策ト云フモノハ、野犬撲殺ト云フ事ヲ從來獎勵ナサリ昨年カラ金六万圓ヲ各府縣ニ御分布ニナシテ、野犬ヲ撲殺シヤウト云フノデス、ソレデ野犬ハ見付カタモノヲ撲殺スル、政府ノ人々ノ説明スル所ニ依ルト云フト、從來犬ヲ撲殺スルト云フ事ヲ嫌フノハ、間違タ考デアル、デアルカラ犬ヲ過度ニ保護セズシテ、成ベク無用ナル犬ハ隠蔽セズシテ、之ヲ手傳テ殺シテシマハナケレバナルマイ、斯ウ云フコトニナル、併ナガラ野犬ト申シマシテモ、畜犬ト申シマシテモ、其區別ハ法律デ定メテアルケレドモ、實際ニ於テ頸環ニ何カ標章ガ附ケテアルカナイカト云フ事ナンデス人間ダト云フト行儀ノ良イ者ハ一惡イ者ハ仕方ガナイガ、行儀ノ良イ者ダト、何カ頸ニ附ケテ賞ヘバ、生涯持テ居ヤウト云フ精神ガアルケレドモ、犬ハサウ行カス、斯ウ云フ邪魔ノ物ハ何トシテ取テシマフト云フコトニナルト、實際野犬デアルカ、畜犬デアアルカト云フ區別ガナイノデアル、殊ニ人口増殖ト云フテ、大分人口問題ガ今日我國ニ於テハヤカマシイガ、人間ハマア二ツ子モ産ム、三ツ子モ偶ニ産ミマステレドモ、大概一ツ子デアアル、併ナガラ犬ト云フ奴ハ大概十以上産ム、而シテ其繁殖モ亦中々旺盛デアリマシテ、生レテ六箇月ニナルト、大概ノ犬ハ受胎スルト云フコトニナル、馬鹿ニ早熟ナノデアリマス、而モ四箇月デ一人間ハ十二箇月約一年ヲ費

スガ、犬ノ方ハ四箇月位デドント産シマフ、斯ウ云フコトニナルノデアリマスカラ、此方面ノ事ヲ考慮シテ、犬ヲ蕃殖セシメナイト云フ事ヲ何故御考ニナラナイカト云フコトヲ吾々ハ聞カナケレバナラヌ(拍手)幾ラ撲殺ヲ獎勵シテモ、片方デ拵テハ撲殺スルト云フコトニナシテ居ル、總テ政府ノヤル事ハ斯ウ云フ風ナンデス、「ベスト」ガ流行シテ來ルト鼠ヲ買上デル、鼠ト云フ奴ハ「ベスト」ノ時バカリ蕃殖スルモノハナナ、毎日々々鼠算ト唱ヘテ、一番ノフノデス(笑聲)犬モ其通りデス、野犬ダト云テ撲殺シテモ、後カラ後カラ野犬ガ製造サレルト云フコトニナル、何故之ヲヤラナイカ、ソコデ此犬ノ蕃殖ヲ禁ズルニハドウスルカト云フト二通りアル、一方デハ役ニ立タナイ犬ヲ皆去勢シテシマツテ舉九拔スル、ソレヲヤテシマヘバ子孫ノ蕃殖ヲヤラヌコトニナル、ソレデナケレバ犬ノ卵巢ヲ取テシマフト云フ方法モアル、斯ウ云フ事ハ我國ニ於テヤラナイダケデ、歐米先進國ニ於テハ皆ヤテ居ル、何ガ故ニ我國ノミ之ヲヤラナイカト云フコトガ、私ノ第一ノ疑問ナンデス(熊ノ暴レル時ハドウスルト呼フ者アリ)熊ダノ虎ダノト云フノハ問題ニナラヌ(笑聲)ソレカラ犬ニ致シマシテモ、外國デハ犬ニ對シテ往來ニ野放シニシタリ、或ハ往來ヲ歩クヤウナ時分ニハ、必ズ何カ口ヲ覆フ所ノ被覆物ヲ掛ケテ居ルノデアアル、ソレデナケレバソレヲ繫留シテ、人家カラ放サナイト云フコトニナル、斯ウ云フ禁ヲ破ツタ者ハ、非常ナル重刑ニ處セラレルト云フコトニナルノデアアル、重

刑ト云フト三月以下ノ懲役ト云フヤウナコトヲ聯想サレルガ、ソナナ事ハシナイ、十圖以下ノ罰金ニ處スルト云フ位ノ所デアリマスケレドモ、兎モ角モ相當重イ科料ニ處セラレルノデアアル、斯ウ云フコトヲ諸國デヤテ居ル、殊ニ恐水病ノ本場ト唱ヘラレタ英吉利邊リハ、今日ハ殆ド恐水病カラ「リース」サレマシテ、解放サレタト云フコトニ相成テ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナコトガ一方ニアリ、又我國ニ於テハ學者諸君ノ研究ニ依テ、此恐水病ニ對スル所ノ豫防液ト云フモノ、或ハ血清ト云フモノハ、世界ニ冠タルモノガ獸疫調査所ヤ北里傳染病研究所デ製造サレテ居ルノデアアル、從來ハ十八回モ注射シナケレバ完全ナ豫防カガナカッタ、ソレガ一回注射シタマケデ一年ダケハ安全デアルト云フコトニ相成テ居ル、斯ウ云フ立派ナ豫防液ヲ、我が設備ノ貧弱ナル獸疫調査所ヤ民間ノ北研カラ出シテ居ルト云フコトハ、所謂我國ノ一大誇リデアアル、汎太平洋會議ノ時ニ於テモ、此處デモソレガ立派ニ報告サレ、近藤ト云フ技師ニ依テ發表サレテ、世界ノ稱讃ヲ得タト云フコトハ、吾々ハ名譽ト致シタ所デアアル、斯ウ云フ物ガアッテ世界ニ冠タルモノデアアル、日本ノヤウナ完全シタ豫防液ハ世界ニ無イノデアアル、亞米利加ニ僅ニナルケレドモ、矢張り日本邊リノ指導ヲ俟タナケレバ完全シタモノハ出來ナイ、斯ウ云フコトデアアル、而シテ此病毒タルヤ人間ニ感染スル、年々日本デ行ッテ居ルノハ約二万人位ニ對シテ、豫防注射ヲヤテテ居ルノデアアル、サウスルト人間ハ十八日ヤラナケレバ相成ラヌ、其爲ニ職工ノ

如キハ、一年二十八日休マナケレバナラヌト云フコトニナルノデアアル、是ハ獸ノ病氣バカリデナク、實ニ吾々ノ活動ヲ阻害スル所ノ脅威スベキ一ツノ病源デアリマス、左様デアリマスルカラ、私ハ斯ノ如キコトニ對シテハ、政府ハ出來ルダケノ施設ヲヤラナケレバナラヌト思フノデアアル、然ルニモ拘ラズ、從來微温的ノコトヲヤテテ居ラレノハドウ云フ譯デアアルカ、斯ウ云フヤウナ、ヤレバ出來ルコトヲ何故ヤラナイノデアアルカ、サウスルト云フコトヲ六万圓ノ金ヲ以テ野犬ヲ撲殺スルニ使フナラバ、別ニ法律ヲ拵ヘテ、犬ノ去勢ヲヤルト云フヤウナコトノ法律ヲ設ケルトカ、或ハ飼主ニ向テ、犬ト云フモノハ野放シニシテハイケンイト云フヤウナ法律ヲ拵ヘタナラバ、直ニ是ハ實行出來ルト思フノデアリマス、一方ニ於テハ、犬ト云フモノハ泥棒ノ用心ニナルト云フケレドモ、泥棒ノ用心ニナルト云フ犬ハ何處ニ在ルカ、泥棒ノ用心ニナルト云フヤウナ犬ハ特殊ノ犬デアアル、或ハ「シープハンド」ト云フ羊ノ番ナドヲヤル、斯ウ云フ犬ニ限ル、斯ウ云フモノハ野放シニシテ置イテハ其効力ガ無イ、夜分ダケ放スコトニシナケレバ何等其効力ハ無イノデアアル、犬ガ邪魔ニナッテ泥棒ガ家ニ忍ビ込メナイト云フヤウナ犬ハ、恐ラク世ノ中ニ存在致スマイト思フ、泥棒ノヤウナ人ハ、諸君ナド傍聴者ニモ無イカラ私ハ安心シテ言フノデアアルケレドモ、馬ノ肉ヲ油煎リニシテヤント「ボケッ」ニ入レテ居ル、ソレヲ遣ル、サウシテ敏感ナル犬ヲ馴ラスニハ、一週間モ前カラヤント自分ノ唾ヲ附ケテ犬

ノ好ミサウナ物ヲ與ヘル、唯ニ依テ其人ノ
自分ニ好意ヲ表スル者ヲ覺エル、サウスル
ト其人ノ足音が其人ノ臭ヒガスレバ、犬ハ
戸ヲ開テ待テ居ルト云フヤウナ工合デ
アル、ソレガ矢張内閣アタリデハ、人間ヲ
犬ノ代リニ使フナドト云フ大臣モ居ルカ
ラ、ソノ事カラ犬ト云フモノハ役ニ立ツ
ト云フヤウナ間違タ考デハイケマイト私
ハ考ヘテ居ルノデアル、斯ウ云フコトデア
ルカラ、此野犬ノ掃蕩ト云フコトニ付テ
ハ、更ニ一段ノ考慮ヲ費サレタイ、私ノ申
上デマスルコトハ、私ノ獨創ノ意見ヂヤナ
イ、畜産家ハ皆之ヲ唱ヘテ居ルノデアリマ
ス、野犬ノ爲ニ恐水病ノ豫防ヲスルバカリ
デナク、是ガ爲ニ綿羊ノ防疫モ、我國デハ
強要サレテ居ル、鶏ニモ是ガ強要サレテ居
ルノデアル、犬ハ農村ニ於テ厄介物デア
ル、犬ノ效力ノ無イモノニ對シテ唯、之ヲ
養テ居ル、其食糧ハ殆ド人間ノ一人前ノ
食糧ダケハ之ヲ授與スルノデアル、左様デ
アリマスカラ、食糧ガ動モスルト不足スル
我國ニ於テハ、特ニ此犬ト云フモノハ大キ
ナ問題デアアル、ソレデアリマスカラ、農林
大臣ハ私ノ申上デルヤウナコトハ既ニ御考
デアラウト思フカラ、將來ドウ云フ工合ニ
其理想ノ實現ヲ爲サル、御積リデアルカト
云フコトヲ私ハ伺フテ見タイト、斯ウ思フノ
デアリマス、又鶏ニ付テハ、鶏「コレラ」ト
云フモノガアル、鶏「コレラ」ト云フモノハ
恐ルベキモノデアアル、ソレニ罹レバ忽チ一
時間カ二時間見テ居ル間ニ發熱ヲ致シ、ソ
レガ頓死ヲ致ス、恐ルベキモノデアアルガ、
是ハ洵ニ例ガ少イ、我國ニ於テ中々例ガ少
イモノデアアル、ソレヨリ一番恐ロシイノハ

雞ノ下痢症デアアル鶏ノ「デフテリア」デア
ル、「デフテリア」ノ如キモ是ハ今迄ハ感冒
デアアル、「ルーブ」デアルト云フテ非常ニ蔑
ロニサレタノデアリマスケレドモ、是モ亦
世界ニ冠タル我國ニ於テ大發見ヲ致シタ、
例ノ設備ノ貧弱ナル所ノ西ヶ原ニ在ル獸疫
調査所ノ技師中村博士ガ之ニ付テ研究ヲ致
シ、其病菌ヲ見付ケ、更ニ是ノ血清ヲ見付
ケ、豫防疫液モ製造致シテ、世界ニ冠タル成
蹟ヲ舉ゲテ居ルノデアアル、ソレデアルカラ
何ガ故ニ是ガ普及ヲ圖リ、豫防疫射ヲ致シ
テ、天下ノ養鶏業者ヲシテ安心シテ其養鶏
業ニ從事セシムルト云フ方法ヲ執ラナイカ
ト云フコトハ、私ノ一ツノ疑問デアアルノデ
アリマス、而シテ又一方ニ於テハ、政府ハ
七十萬圓モ金ヲ掛ケテ種鶏場「簡單」ト呼
フ者アリ」種鶏場ノコトヲ言ハレルト思
テ、簡單ト云フ聲ガ憲政會アタリデ聞エル
ヤウデアリマスケレドモ、斯ウ云フ種鶏場
ト云フヤウナモノヲ拵ヘテ、斯ウ云フ澤山
ナ金ヲ費サレル、而シテ伺フ所ニ依ルト、
三日カ四日過ギタ所ノ小サナ雞ヲ、養鶏業
者ニ送テヤル、之ニ依テ品種ノ改良ヲ致
スノダナドト云フ、笑ハサレルヤウナコト
ヲ言ハレルノデアアル、マルデ子供騙シ見タ
ヤウナモノダ、ソレヨリ一番困テ居ル所
ノモノハ何カ、雞ノ下痢症デアアル、生レテ
カラ二日カ三日、アナタ方ガ種鶏場ヲ拵ヘ
テ、是カラソレニ雞ヲ送り出スト云フ時
ニ、既ニ其雞ノ中ニ死ニカ、ル、此下痢
症ハ殊ニ愛知縣ニ最も多イ、出雞ノ三割四
割ハ之ニ依テ斃サレツ、アル、何故之ニ付
テ徹底的ニヤラナイカ、何故斯ウ云フ下痢
症ト云フヤウナモノヲ此豫防法ニ入レナイ

カ、是ハ世界ヲ舉ゲテノ問題デアアル、我國
ノ問題バカリヂヤナイ、重大ナル世界の國
題デアアル、而シテ亞米利加邊リデハ、之ニ付テ
ハソレト云フ方法ヲ用ケテ居ル、即チ獸疫
調査所ノヤウナ所ガアッテヤッテ居ル、此鶏
ノ下痢症ハ親鶏ニモアル、親鶏ニ下痢症ノ
微菌ガアッテ、ソレヲ鶏ノ子ニ傳ヘル、卵
ノ中ニ産ミ落ス際ニ、ソレガ傳ハルコトモ
アリマス、或ハ卵ノ殻ニ傳ハルコトモア
ル、或ハ牡ニアルト、牡ト牝トガ一緒ニナル
時分ニ、肛門ノ端ヘヒリ付ケテアルト云フコ
トモアル、斯ウ云フヤウナ色ニナ厄介ナコ
トガアル、斯ウ云フコトハ、先程花柳病傳
染豫防法ニ付テ、諸君ハ豫備知識ヲ持テ
居ラルルカラ、大體ヲ話シテモ分ルダラウ
ト思フ、斯ウ云フヤウナ事ガ行ハレル、サ
ウスルト親ニ其病氣ヲ持テ居ルト、其病氣
ト云フモノハ、完全ニ雞ニ遺傳サレルト云
フコトニ相成ルノデアリマス、左様デアリ
マスカラ、亞米利加邊リデ現今ヤッテ居リ
マスノハ、當業者ヨリ其一ツノ種鶏、親鶏
ト云フモノ、血液ヲ何ボデスカ、僅ナモノ
デセウ、一寸五分ヤソコラノ試験管ノ中ニ、
僅カ半分位デスカラ、「グラム」位ト云フ
位ノモノデアリマス、私ハ専門家デナイカ
ラ分ラヌガ、血液ヲ取りマシテソレヲ一ツ
ノ箱ニ入レテ、ソレヲ獸疫調査所ト云フ
ヤウナ所、サウ云フ設備ノ所ニ持テ行ク、
サウシテ是ハサウ云フ血液ガ有ルカ無イ
カ、即チ下痢症ト云フヤウナモノニ罹
居ルカ、罹テ居ラナイカト云フコトヲ撰
リ分ケテ、罹タト云フ通知ガアレバ皆之
ヲ撲殺シテシマフ、サウ云フコトヲ致シテ
此下痢症ト云フモノヲ無クシテシマフ、撲

滅シテシマフト云フコトニ努メテ居ル、サ
ウ云フコトヲ抛テ、サウシテ一方ニ於テ
種鶏場ナドノ設備バカリサレテ、之ニ依
テ我國ノ此鶏卵ノ自給自足ガ出來得ルナド
ト考ヘラレルノハ、大變ナ間違デハナイカ
ト考ヘテ居ル、ソレデアリマスカラ斯ウ云
フ家畜傳染病豫防法ヲ設ケル場合ニ當テ、
何故是等ノ事ヲ此中ニ加ヘラレナカッタカ
ト云フコトニ付テ伺フテ見タイ、是ハ今度
ハ出來ヌガ、來年アタリデモヤル積リデア
タト云フヤウナコトヲ答ヘラレルカ、或ハ
現内閣ノ專賣特許デアアル所ノ調査研究中デ
アルト云フ御言葉カ、其邊ヲハッキリ申シ
テ貰ヒタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマ
ス「拍手」ソレカラマダ色ニアルノデアリマ
スガ、諸君ガ騒ガレルト云フト、本員ハ逆
セ上テ、サウシテ質問ヲ簡單ニヤルコト
ハ出來ヌヤウニナリマスカラ、ドウカ御靜
ニ願ヒタイト思ヒマス「拍手」又一方ニ於キ
マシテハ、此法案ニハ無イノデアリマス
レドモ家畜、殊ニ牛ノ結核ト云フモノニ對
シテハ、非常ニ當業者ガ困テ居ル、昔ハ
結核ト云フモノハ牛ニハ無カッタケレドモ、
外國カラ殊ニ和蘭、亞米利加邊リカラ來マ
シタ所ノ「ホルスタイン」種ト云フヤウナモ
ノガ、日本ニ入ッテ來テ以來、人ノ知ラザル
間ニ結核ノ微菌ガ滿タタテ居ル今日畜業
家ガ困テ居ルノハ結核デアアル、其外ニ此豫
防法案ニ掲ゲテアルヤウナ幾多ノ病氣ハ、ソ
レハ罹レバ恐ロシイ、人間ニモ感染スルヤウ
ナ病氣モ澤山アル、併ナガラソレハ豚「コ
レラ」、或ハ豚「ロース」ト云フヤウナモノ
ヲ除イテ、又狂犬病ヲ除ケバソレハ微々タ
ルモノデアアル、一年ニ出ルカ出ナイカト云

フ位ノモノデアリマス、牛ノ炭疽病ト云フモノハ、年百五十頭乃至二百頭位近頃ハ出テ居リマスケレドモ、其外ハ微々タルモノデアル、斯ウ云フコトニミカヲ用ヒテ、普遍的ニ在ル所ノ結核ト云フモノヲ撲滅スル方法ヲ執ラナイカト云フコトヲ、私ハ不思議ニ思ヒマス、而シテハ人間ノ肺結核ト牛ノ結核トハ病菌ガ違フノデアルト云フ、サウ云フヤウナコトモアリマセウケレドモ、併ナガラ五歳以下ノ小兒ノ腸結核デアルトカ、或ハ腦膜炎ト云フモノハ、主ニ牛乳ノ中ニ在ル所ノ結核菌ノ作用デアルト云フコトハ、是ハ學者ノ認メテ居ル所デアル、實際家ノ普通ノ人ハ皆ソレヲ知ッテ居ル、ソレデアルカラ牛乳ニ熱ヲ掛ケテ百度近クニ熱スル、法律ハ八十度以上ニ之ヲ熱シテハイカヌト云フノ禁ジテアル等デアリマス、左様デアリマスカラ、百度近クナレバ最も大切ナ「ウイタミン」ノ成分ガ破壊サレテシマフ、サウ云フ危險ヲ冒シテモ此牛乳ヲ温メテ用ユルト云フモノハ、小兒ノ衛生ト云フコトヲ、考ヘテ居ルノデアリマス、左様デアリマスガ故ニ、何故ニ此結核ト云フモノヲ撲滅スル方法ヲ、モウ少シ徹底的ニ執ラナイカ、家畜傳染病豫防法ノ中ニ何故徹底ノ方法ヲ執ラナイカト云フコトガ、私ノ疑問ノ一ツデアル、之ヲ改正ナサル時分ニ、此家畜傳染病豫防法ヨリモ早く出来タ所ノ、牛ノ結核豫防法ト云フモノヲ何故是ト同一ニ致シテ、サウシテモウ少シ徹底的ナ撲滅方策ヲ講ゼラレナカッタト云フコトハ、是ハ畜産家トシテ非常ニ疑問トシテ居ル所デアル、斯様ナ議論ト云フモノハ既ニ省內ニハ滿チ々々テ居ル

筈デアリマス、左様デアリマスカラ、大臣ノ御耳ニハ度々入ッテ居ルト思フ、然ルニ今回ソレニ何故手ヲ御著ケニナラナカッタカト云フコトヲ私ハ此際承リタイ、吾々畜産家ノ心配致シテ居ル所ノ此結核病ト云フモノヲ、將來驅逐シ、撲滅スル方策ハ他ニ在ルカドウカト云フコトヲ、此際承ッテ置キタイ、斯ウ思フノデアリマス、尙ホ私ハ此場合馬ノコトニ付テ承ッテ見タイ、馬ノコトニ付テハ八田先輩カラ度々此壇上ニ於テ絶叫サレタヤウデアルケレドモ、私ハ馬ト云フ物ノ進歩シナイ一ツノ原因ハ、馬ト云フ物が非常ニ飼養シ難イ、殊ニ西洋カラ改良サレタ馬ノ種類ガ我國ニ入ッテ來テカラ以來、馬格ト云フモノハ大變進歩致シマシタ、馬ノ形ト云フモノハ立派ニナリ素質モ向上致シマシタ、ソレト共ニ體質ハ弱クナッタト云フコトハ爭ハレナイ、弱クナッタバカリデナク、我國ニ於テハ夢ニモ見ラレナカッタ所ノ病氣ヲ外國カラ持ッテ來タ、即チ傳染性貧血症、骨軟症ト云フヤウナ症状ガ出来テ居ル、此傳染性貧血症ト云フモノニ向ッテハ、政府モ氣付カレタト見エマシテ、是ハ放任シテハイケナイト云フノデ、之ヲ撲滅スル爲ニ一頭二十五圓、十二圓ヲ給スル、之ヲ千五百頭ニ對シテ幾ラト云フモノガ、今年ノ豫算ニ現ハレタヤウデアリマス、之ニ氣付カレタト云フコトハ宜シイガ、其位ノ事デドウシテ是ガ防ギ得ラルカ、何故ニ此家畜傳染病豫防法ノ中ニ規定ヲ設ケテ、徹底ノ之ヲ取締ラナイカト云フコトヲ、私ハ此場合承ラナケレバナラヌ、又一方ニ於テハ骨軟症ト云フモノガ非常ニアル、大臣ハ幸ニ秋田縣ノ御出身デア

ル、秋田縣ハ馬産地デアルカラ馬ニ付テハ能ク御承知ノ筈デアル、秋田縣ハ六千頭ヲ産スル中、他ニ行クノハ四千頭、其中二千頭ハ山形縣ニ出テ行ク、ソレガ皆骨軟症ニ罹レテ居ルカラ二歳入ッテ來テ四歳五歳ニナルト斃レテシマフ、斯ウ云フヤウナ馬鹿臭イコトハナナイト山形ノ畜産家ハ叫ンデ居ルノデアル、而シテ是等ニ對シテ(「買ハナケレバ宜イデヤナイカ」ト呼フ者アリ)買ハナケレバ百姓ガ出来ヌト云フコトニ相成ル、農事ヲ知ラナイ者ハサウ云フヤウナコトヲ叫ブノデアル、吾々ハ買ハナケレバ百姓ガ出来ヌ、又收支計算ガ合ハナイ、自給肥料ヲ得ルコトガ出来ナイカラ金肥ヲ入レナケレバナラヌ、殊ニ東北ノ地方ハ地面ガ瘦セテ居ルノデアル、又日光ノ放射ガ少イノデアル、是ニ於テ是非トモ成熟シタル畜産ニ依ッテ拵ヘタル堆肥ト云フモノヲ使ハナケレバナラヌノデアリマス、ソレデアリマスカラ危險ヲ冒シテ吾々ハ馬ヲ飼ヒ、牛ヲ飼ッテ居ルノデアリマス、ソレニモ拘ラズ斯ウ云フ危險ガ後カラ伴ッテ來ルノデアリマス、殊ニ秋田縣ノ如キハ「ベルシロン」ト云フ重格鞍馬ヲ入レテ居ル、サウ云フヤウナ見ルカラニ恐ロシ氣ナ馬デアルガ、此頃ハ陸軍デハ御買上ニナラナイ、何故カト云フト、骨ガ細クテ使役ニ堪ヘナイト云フヤウナ色々缺點ヲ舉ゲラレテ居ル、何故斯ウ云フモノヲ獎勵シタカト云フコトニ付テ吾々ハ聞キタイ、而シテ此「ベルシロン」ト云フヤウナ馬ヲ産スル魯爾西ノ「ベルシエーン」、「ノルマンディー」ト云フヤウナ所ハ肥沃ナ所デ、殊ニ世界ニ冠タ

繁茂シテ居ルト云フコトヲ吾々ハ聞イテ居ル、サウ云フヤウナ立派ナ草改良サレタモノガ、更ニ亞米利加ニ行ッテ改良サレテ、ソレガ我國ニ來テ貧弱ナル草ヲ食ッテ居ル、現ニ秋田縣ノ御物用ノ近邊ニ行ッテ御覽ナサイ、私モ一日行ッテ見タガ、葉ヲ四五寸ニ切ッテ振撒イテ居ル、何ヲシテ居ルノカト云フト、葉ヲ振撒イテ草ヲ刈ラナケレバ短クテ草ヲ集メルコトガ出来ナイ、斯ウ云フヤウナ草デ「ベルシロン」ノヤウナ馬ヲ飼フコトガ出来ルカドウカ、是ハ農林大臣ノ地元ノ秋田縣下ニ於ケル所ノ一ツノ事實デア

ルノデアリマス、斯ウ云フコトヲヤッテ幾ラ獎勵ヲ致シテモ、馬産ノ進歩スル道理ハ無イガラウト思フ、又其拂下價格モ、陸軍ノ軍馬補充部邊リデヤッテ居ル馬ノ買上ゲヲ御覽ナサイ、四五年前ト今日トドンナ率ニナッテ居ルカ、斯ウ云フ事ヲ考ヘマス、洵ニ馬産家ナドト云フモノハ困タモノダ、ソレニ政府ハ一定ノ標準ヲ立テラレテ、或ハ三十年計畫ノ中十八年過ぎテ、十五年度ヨリ十箇年計畫ニ入ッタト言ハレル、併ナガラ計畫ハ立ッテ圖面ハ出来上ッタガ、確實地取掛ルト何ヲシテ居ラレルノカ、今年ハ漸クニシテ七方カソコ等ノ金ヲ出シテ種牡馬ヲ御買上ニナルヤウデアル、併ナガラ斯ナ事ヲシタ位デドウナルモノカト吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス、左様デアリマスカラ百五十方頭ヲ維持スルト云フ大計畫ノ下ニ、此様ナ不徹底ナコトデ政府ハ満足シテ居ラレルノカ、斯ウ云フコトヲ私共ハ何ハナケレバナラヌ、家畜傳染病豫防法ヲ御提出ニナルニ付テハ、此議會ニ色々ナ法案ガ山積シテ居ル間ニ、是ガ提出サレルト云フ

コトニ付テハ餘程ノ必要ヲ感セラレルコト
ト思フノデアアル、斯ウ云フコトヲ段々言
テ居ル間ニ、私ハ非常ナ疑問ヲ持タナケレ
バナラヌ、斯ウ云フ傳染病ダトカ或ハ漏レ
タ所ノ脅威スベキ傳染病、流行病ト云フモ
ノハ畜産界ニ澤山アルノデアアル、而シテ之
ヲ撲滅シ之ヲ少クスル、或ハ罹ラタモノヲ
治療スルト云フニハ、獸醫ノ向上發展ヲ圖
ラナケレバナラヌ、ソレデアアルカラ獸醫師
法案ト云フモノヲ彙ノ五十一議會ニ提出シ
テ、議會開會ノ間際デアッタケレドモ、非
常ナ努力ヲ以テ之ヲ御通シニナツタ、而シ
テ議員モ慎重ニ審議ヲ致シテ、之ニ付テ修
正モ致シタノデアアル、而シテ是ガ法律ト相
成テ十五年四月七日ニ御裁可ヲ經テ御公
布ニナツタ、然ルニ未ダ施行期日ト云フモ
ノヲ定メラレナイ、重要ナ法案トシテ委員
會ニ於テモ、本會議ニ於テモ、貴衆兩院ヲ
通ジテ問題トナツタ所ノ、家畜トハ何ゾヤ
ト云フ定義ヲ助令デ定メルコトニナツテ居
ル、ソレヲマダ御定メニナラナイ、政府當
局ノ言ハレルニハ、家畜ノ定義ナドハ常識
デ判斷出來ルデハナイカト、委員會デ絶叫
サレタコトハ吾々ノ耳朶ニ新ナル所デア
アル、常識デ判斷サレルヤウナ朝飯前ノ仕事
ヲ、前ノ議會デ決議サレタコトヲ、後ノ議
會ノ半バツ過ギタ今日ニナツテモ、マダ御
出シニナラヌト云フノハ政府ノ怠慢ナノデ
アルカ、畜産業ニ冷淡ナノデアアルカ、何
方デアアルカト云フコトヲ改メテ此壇上ヨ
リ御聞申シタイト思フノデアリマス、
是ハ委員會デ伺ッタケレドモ徹底シナカ
タ、之ニ似タヤウナコトヲ——尤モ聲ヲ低
クシテ申上ダタカラ徹底シナカッタカモ知

レマセヌガ、サウ云フコトヲ申上ダタコ
トニ付テ、何等御答ガ無カッタノデア
リマスルカラ、序ニ此所デ御伺ヲ致スノ
デアリマス、左様デアリマシテ畜産ノ
事ニ關シテハマダ——幾多ノ事ガアルノ
デアリマス、殊ニ此農村ニ於テ畜産ト云フ
モノハ非常ニ必要ナノデアアル、肥料ノ自給
自足ト云フモノガ必要デアアル、食糧計畫ト
云フモノ、中ニハ畜産ト云フモノガ必要デ
アル、殊ニ農村ニ於テ米バカリ食ッテ居ル、
米ノ糠ヲ去ッタ白米ト云フモノハ大部分ハ
澱粉ダ、吾々ノ體格ヲ維持スル所ノ骨ヤ肉
ニナル蛋白質ト云フモノハ澤山ハナイ、殆
ド痕跡見タヤウナ物デアアル、ソレデア
ラ體格ヲ維持シヤウト云フノデ、米ヲ澤山
食フカラ胃擴張ニナツタリ何カシテ、農村
ノ者ガ死亡率ガ多イト云フコトニナルノデ
アリマス、ソレデアアルカラ之ヲ補充スルニ
ハ畜産ニ依ラナケレバナラヌ、ソレニハ是
非共蛋白質ノアル牛肉ヤ、豚肉ニ依ラナケ
レバナラヌコトニナル、所ガ又都會ニ於テ
モ牛肉ヤ豚ハ非常ニ高イ、ソレデアアルカ
安イ馬肉ヲ買フト云フノデ、馬肉ガ非常ニ
賣レル、隨テ日本ノ馬ト云フ物ハ、是ハ使
ハレルヨリ皆馬肉ニナツテ鍋ノ中ニ飛込ム
ト云フコトニナル、是デハ何十年掛ッテモ、
三十年計畫デモ五十年計畫デモ、到底百五
十萬頭ハ維持出來ナイト吾々ハ考ヘテ居ル
ノデアアル、ソレデアアルカラ斯ウ云フコトニ
付テハ、餘程徹底的ニ政府ハ御考ニナラナ
ケレバナラヌ、ソレデ最後ノ質問ト致シテ
私ハ二ツノ點ヲ御伺ヲ致シタイ、斯ウ云フ
ヤウニ幾多ノ家畜ノ産業ニ付テハ、所謂畜
産業ニ付テハ農村ニ於テ當業者ガ苦ンデ居

ル問題ガアル、就中最モ苦シイノハ家畜ニ
對スル金融ノ問題デアアルノデアリマス、大
藏大臣モ之ニ付テハ餘程御考デ、農村ノ金
融ハ一日モ忘レタコトガナイ、忘レタコト
ハナイカモ知レナイケレドモ、思出シタコ
トモナイト思フ(笑聲)サウ云フヤウナコト
デアアルカラ私共ハ餘程考ヘテ居ル、併ナガ
ラスノ如キ家畜ニ付テハ洵ニ不安心デア
ル、死ヌルカ生キルカト云フコトモ分ラナ
イ不安定ナ物件デアアルカラシテ、之ヲ擔保
トシテ金融ノ途ヲ講ズルト云フコトハ、金
融業者ノ頗ル嫌フ所デアアルノデアリマス、
左様デアリマスルカラ、之ヲ安全ニスルニ
ハ歐米各國ニ於テ、殊ニ歐洲戰爭以來非常
ニ進ンダ所ノ家畜保險ト云フモノヲ、何
故實施サレナイカト私ハ考ヘル、農村ニ於
テ最モ大切ナル家畜ノ金融ノ途ヲ付ケル家
畜保險ト云フモノヲ、何故御出シニナラナ
イカ、大藏大臣ハ左程ニ農村ノ金融ト云フ
コトヲ心懸ケテ居ラレルナラバ、農林大臣
ガ大ニツ、突イテ、斯ノ如キコトヲヤラセ
ルガ宜イ、既ニ斯ウ云フコトハソレ——當
業者モ調査研究ヲシテ居ルト同時ニ、政府
ノ方デハ立派ナ御役人ヲ二人モ海外ニ派遣
ニナツテ、是等ヲ徹底的ニ御調ニナリ、ソ
レ——報告書ヲ大臣ノ手許ニ出テ居ル筈ダ、
歐米各國ニ於ケル埃埃ノ二ツノ敗殘國ノミ
ガ之ニ付テヤッテ居ラナイケレドモ、其他ノ
諸國ニ於テ家畜保險ニ意ヲ用ヒザル所ガ何
處ニ在ルカト云フコトヲ私ハ承リタイト思
フノデアアル、斯ウ云フコトニ對シテ何等徹
底的ナル考察モナクシテ、俺ハ農村振興ヲ
ヤル、次官ノ如キハ我が同僚植原悦三郎君
ノ土地賃賃價格調査委員會法案ノ委員會ニ

於テ(笑聲)中々長イ——俺ハ歷代ノ内閣ノ
出來ナカッタ所ノ水源涵養ト云フモノヲ、十
八萬圓モ掛ケテヤッタトカ言ッテ大ニ威張ラ
レタガ、ソレ程ニ農村ノコトニ關係ヲ持
テ、大ニ農村ノコトヲ考慮サレルナラバ、
何故斯ウ云フ大切ナ問題ヲ御研究ニナラナ
カッタカ、斯ウ云フコトガ——ッデアリマス、
而シテ政府ガ言ハレル通り、是ハ養鶏ノコ
トニ致シマシテモ其通りデアリマス、單ニ
是ハ畜産關係ノコトハ、獨リ政府ダトカ府
縣ダトカ云フ、サウ云フ自治體ノミナラズ
是ハ當業者ノ自覺又自助ニ俟ツ、斯ウ云フ
コトヲ言ハレテ居ルノデアリマス、サウス
ルニハ團體ノ力モ相當ニ御認ニナツテ居ル
ノデアリマスルカラ、何故畜産組合ノ發展ヲ
積極的ニ御圖リニナラナイカ、而シテ今日
農業界ノ團體ト云フモノハ、ソレ——中心
機關ヲ持ッテ居ル、畜産組合ノミガ中心
何等系統的ノ中心ト云フモノヲ持タナイ、
中樞無クシテ各箇教練ヲヤッテ居ル有様デ
アル、全國五百ノ畜産組合ガアリマスルケ
レドモ、何等統一の系統ヲ取ッテ居ナイト
云フノハ、茲ニ因スルト思フノデアリマ
ス、今ヤ全國ノ畜産組合ノ豫算ハ六百五十
萬圓ニ達シテ居ル、各府縣ハ漸ク二百五十
萬デ、政府ノ農林省ノ豫算ナドヲ見マシテ
モ、合計シテモソシナ所ニ使ッテ居ル金ハ
五六十萬圓位デアアル、畜産關係ノモノヲ、
全部集メテモ三百四五十萬圓位シカナイ、
是ハマダ色々見テ居ル暇ハナイガ、ソシナ
ヤウナ數字ガ現レテ參ルヤウデアリマス、
斯ウ云フヤウナコトヲ列舉致シマス、此
内閣ハ幾ラ御威張ニナツテモ畜産ト云フコ
トニ付テハ餘リ御考ガ薄イヤウデアアル、サ

ウシ七十萬圓ヲ掛テ鶏ノ雛ヲ配付スル
ト云フヤウナ、所謂種鶏場ト云フヤウナモ
ノ御造リニナタト云フノハ、私ハ不思
議中ノ不思議ノヤウニ思ハレテ居ルノデア
ル、況ヤ此種鶏場ノ如キニ於テハ當業者ガ
言テ居ル所ノ、先程ノ下痢症ノコトヲ考
ヘラレナイト同時ニ、牡ヲ買テ卵ヲ産ム
コトハナイノデ、牡ハ卵ヲ産マナイ、人間
ト同シデアル(ソナコトハ誰モ知テ居
ル)ト呼フ者アリ)所ガ當局ハ知ラナイ、ソ
レデアルカラ農家デ鶏ニ卵ヲ産マセルト云
フ計畫ヲ答デアルノニ、何故牡ヲ買ハセル
計畫ヲスルカ、雛ヲ配付スル時分ニハ牡牡
ノ區別ヲシテ、牡ハ取テ除ケテ、卵ヲ産マ
ヌ牝バカリ配付シタラドウカト言テ所ガ、
政府委員ハソナコトハ出来ヌト言フ、是
ハ情ケナイコトデアアル、世界ニ冠タル農科
大學ノ増井博士ガ發見シタデハナイカ、今
迄ハ嘴ガ大キイトカ、頭ガ扁平デアアルト
カ、足ガ太イトカ、或ハ摺ンデ見テ彈力ガ
アルトカナイトカ云フコトニ依テ雛ノ牝
牡ヲ區別シタ、今度ハ増井博士ガ肛門ヲ開
イテ見テ、微弱ナガラ突起物ガアルト云フ
コトヲ發見シテ、是デ完全ニ牝牡ガ分ル
ト云フコトデアアル、斯ウ云フ世界ノ發見ヲ
シタコトハ日本ノ大イナル名譽デアアル、斯
ウ云フ世界ノ發見ヲシタト云フ事實ヲ活用
セラレナイト云フ内閣ガアツタナラバ、其
無責任極マレリト吾々ハ斷ゼナケレバナラ
ヌノデアリマス、斯ウ云フヤウナ事ヲヤル
ト云フコトヲ考ヘナイデ、唯、是ハ流行物
ダカラヤッタダ、俺ノ選舉區デ騒グカラヤッ
タダト云フ位デ御茶ヲ濁サレテハ、當業
者ハ甚ダ迷惑ヲ致スノデアアル、又將來是等

ノ點ニ付テモ太ニ留意シテ、吾々ノ――
當業者ノ當業者ノ希望ト云フモノハ、實現
サレ得ル可能性ガアリヤ否ヤト云フコトヲ
最後ニ承テ、私ハ其答辯ニ依テハ又此壇
上ニ現ハレル次第デアリマス(拍手)
○副議長(小泉又次郎君) 町田國務大臣
〔國務大臣町田忠治君登壇〕

クノハ相成ラヌノデアリマス、遠カラズ中
央衛生會等ノ意見ヲ聞イテ、近ク之ヲ發布
シテ、初メ御協賛ヲ得テ趣意ニ副フ積リデ
アリマス、尙ホ農村振興等ニ於キマシテモ、
畜産方面ニ對スル施設ガ少イト云フヤウナ
コトガアリマシタガ、或ル適當ナ機會ニ於
キマシテ御説明申上ゲルコトガ出来ヤウト
思ヒマス、私共トシテハ今年ノ豫算ニ於キ
マシテ、畜産方面ニ對シテモ相當ナ施設ヲ
致シタ積リデアリマス、現内閣ガ畜産ノ爲
ニ何等盡サヌヤウナ御非難デアリマシタ
ガ、私ハ數代ノ内閣ノ中ニ、此度ノ内閣ニ
至テ畜産方面ニ餘程留意スル傾向ヲ生ジ
テ居ルト、斯様ニ御了解ヲ得タイト、思ヒ
マス

御述ニナッテ居ルコトダト思テ居リマシ
タ、保險ノコトハ聊カ私ハ研究シテ居リマ
ス、併ナガラ家畜保險ノコトハヤッタコト
ハアリマセヌガ、此事ニ付テハ商工省ニ於
テ調査機關ガ出来テ今調査中デアリマス、
其決定ヲ待テ實行ニ移ルノ外アリマセヌ
○副議長(小泉又次郎君) 吉良元夫君
〔吉良元夫君登壇〕

○國務大臣(町田忠治君) 高橋君ガ只今御
質問ノ初ニ當リマシテ、大體本案ノ改正ノ
趣意ニ對シテ御賛成下サッタノハ、私ノ感謝
スル所デゴザイマス、唯、高橋君ハ此改正
ハ必要デアラウガ、マダ其他ニモ必要ナ事
ガ澤山アルニ拘ラズ、之ヲ閑却シタノハ遺
憾デアアルト云フ意味ノコトニ付キマシテ、
御高見ヲ吾々ハ承テタノデアリマス、高橋
君ハ農業界、經濟界ニ長ク從事サレテ居ル
上ニ、畜産界ノ事ニ付キマシテハ十數年ノ
間指導ノ責任ヲ執テ居ラレタ方デアアルト
承知シテ居リマス、殆ド専門家ヲ凌グ御高
見ヲ承テタノデアリマスガ、私カラ之ニ對
シテ御答ヲ致シテモ、御満足ヲ得ヌコト、
確信致シマスルガ故ニ、委細ハ委員會デ專
門家カラ御答致スコト、致シマス、唯、私
トシテ一言申シテ置キタイノハ、昨年ノ議
會デ皆サンノ御協賛ヲ得マシタ、獸醫師法
ノ施行期日ヲ定メルコトノ、マダ決定シテ
居ナイノハ只今御非難ノ通りデアリマス、
御話ノ如ク家畜ノ定義ナドニ對シマシテ
モ、多少審議ヲ要スルコトアリト私ハ斯様
ニ考ヘテ、當局カラ出シマシタ原案ニ對シ
テ、私ノ手許デ此二箇月バカリ研究シテ居
ルコトモアルノデアリマス、併シ昨年ノ議
會デ御協賛ヲ得マシテ、是ガ急グト云フ意
味デ御協賛ヲ得マシタモノヲ長ク此儘ニ置

○高橋熊次郎君 議長
○副議長(小泉又次郎君) 高橋君マダ繼續
デスカ
○高橋熊次郎君 繼續デス、簡單デスカ
此所デ……
○副議長(小泉又次郎君) 許可致シマス
○高橋熊次郎君 大藏大臣ノ御答辯ガ無イ
ヤウデアリマスカラ、大藏大臣ノ御答辯ヲ
促スト同時ニ、町田農林大臣ハ稱讃ノ辭ヲ
以テ私ノ氣勢ヲ殺ガレタ形ガアリマス、ソ
レデアリマスカラ詳細ハ委員會ニ譲リマシ
テ、農林大臣ニ對スル質問ハ是デ打切りマ
スルガ、大藏大臣ニ對スル質問ガ殘テ居
リマスカラ、一言大藏大臣ヨリ明快ナル御
答辯ヲ煩シタイ

○吉良元夫君 只今議題ニナッテ居リマス
ル家畜傳染病豫防法中改正法律案ニ付テ私
ハ極メテ簡單デアリマスガ、御尋致シタイ
ト思フ事ガアルノデアリマス、是ハ多分現
在ノ家畜傳染病豫防法ニ於テモ、斯ノ如キ
規定ガアッタト私ハ考ヘテ居リマスルノデ
アリマスルガ、此度吾々ニ御提出ニナリマ
シタ第五條第一項ヲ左ノ如ク改ムトアル、
「地方長官傳染病豫防上必要アリト認ムル
トキハ左ニ掲グル家畜ニ付其ノ所有者又ハ
其ノ保管者ニ對シ之ヲ殺スコトヲ命ズルコ
トヲ得」トアリマシテ、一項、二項、三項
ゴザイマスガ、之ニ付テ私ハ御尋致シタイ
ノデアリマス、動物ノ傳染病ノ傳染、感染
ヲ恐レル所ノ豫防ト云フモノヲ講ジナケレ
バ非常ニ危險ナコトガアル、又國家ノ損害
ニナルト云フコトハ私共認メル所デアリマ
ス、然ルニ此第五條第二項ニアルガ如キ
「牛肺疫又ハ口蹄疫ニ感染シタル虞アル家
畜」ト云フモノヲ、直ニ撲殺ヲ命ズルコト
ニナルノデアアル、是ハ勿論獸醫師ガ診斷ヲ
致シマシテ、ドウシテモ是ハ牛肺疫又ハ口
蹄疫ニ感染シタル虞ガアルト認メタル家畜
ヲ撲殺ヲ命ゼラル、モノデアリマセウト思
ヒマスケレドモ、若シ唯、單ニ獸醫師法ニ
於テ免許ヲ受ケタ所ノ中ニモ、案外獸醫者

○國務大臣(片岡直溫君) 私ヘモ御尋デ
アツタ趣デアリマスガ、多分御意見トシテ

○副議長(小泉又次郎君) 片岡大藏大臣
〔國務大臣片岡直溫君登壇〕

於テ免許ヲ受ケタ所ノ中ニモ、案外獸醫者

ガアルノデアル、其上又人間ノ診斷ヨリカ
獸類ノ診斷ハ非常ニムヅカシイノデアル、
何トナレバ人間ニ於テハ既往症、經過及現
在ノ症候ヲ其人ニ尋ネテ各辯ヲスルノデア
ルケレドモ、牛馬ハ發言機關ハ持ッテ居ル
ガ言葉ガナイノデ、答ヘルコトガ出来ヌノデ
アリマスカラ、人間ノ御醫者様以上ニ獸醫
師ハムヅカシイモノデアルト聞イテ居ルノ
デアル、又サウデアラウト推察スルノデア
ル、然ルニ獸醫者カラハ傳染ノ虞アル病
氣デアルト診斷ヲ受ケテ直ニ殺サレテ堪
リマスカ、是ハ獸類デアルカラ發言スルコ
トガ出来ヌカラ、涙ヲ吞シテ撲殺サレルカ
モ知レマセヌガ、是ハ人間デアッタラ如何
デアリマセウカ、是ハ容易ナラヌ人間問題
デアルト思フノデアル、現ニアナタ方ハ御
笑デナクテ能ク御考ニナラナケレバイケヌ
ノデアル、一昨年ニ於テ、大阪市ニ於テ此
適例ガ非常ニアツタコトヲ私ハ確實ニ獸醫
ヨリ承タノデアル、甲ノ獸醫ニ於テハ、是
ハマダ大丈夫デアルト信ズルニモ拘ラズ、
全部撲殺ヲ命ジタルコトニ付テ非常ナル物
議ヲ惹起シタルデアリマスケレドモ、牛
乳營業者ナドハ、洵ニ其筋ニ對シテハ弱イ
營業狀態デアラカラシテ、若シ之ニ應ジナ
イ時ニハ、直ニ其筋ノ非常ニ忌憚ニ觸レマシ
テ、營業ヲ停止サレルトカ、思ヒ知ラサレ
ル爲ニ、泣ク一立派ナルモノヲ撲殺ヲシ
タ實例ガアルノデアリマス、私共人道ノ上
カラ考ヘマシテモ、斯ウ云フ點ハ獸醫學ノ
進歩發達ノ方ヲモウ少シ積極的ニヤルベキ
モノデハナイカト私ハ思フノデアル、今日
ノ獸醫學ハ、勿論封建時代ノ伯樂ト云フタ
時ヨリカ餘程進歩シテ居ルト云フコトモ吾

吾ハ存ジテ居リマスガ、不幸ニシテ人間ノ
醫學程ニハ進歩致シテ居ナイト云フ事實ガ
アルノデアリマス、ソレデアリマスカラ
若シ獸醫ヨリ間違タ診斷ヲ受ケタモノヲ
悉ク撲殺ヲスルト云フヤウナコトガ出来マ
シタナラバ、實ニ動物ニ對シテ可愛想ナ事
デアルト私ハ深ク氣ノ毒ニ感ズルノデアリ
マス、殊ニ第三項ニ於テハ又酷イ御規定ガ
アルノデアル、(牛疫ニ感染シタル虞アル家
畜ニシテ第七條ノ規定ニ依リ免疫血清ノ注
射ヲ行ヒタルモノ)ヲ直ニ撲殺スルノデア
ル、是ハ甚ダ私ハ不完全ナル立法デハナイ
カト思フノデアリマス、私共ノ考フル所ニ
依レバ「免疫血清ノ注射ヲ行ヒタルモノ
ニシテ治療ノ見込ナキモノ」ト云フ文字ハ
少クとも加ヘナケレバ實ニ無殘デアリマ
セヌカ、血清ノ效ガアツテ、免疫ニナツテ
治療スルモノカモ知レヌノデアル、斯様
ナ病氣ト云フモノハ絶對ニ治療ノ見込ノ無
イモノデハナイノデアル、治療ノ見込ガア
ルカモ知レヌケレドモ、ソレヲ人間ガ直
ニ動物ヲ撲殺シテシマウト云フヤウナル事
ハ、人間トシテ非常ニ慎ムベキ事デアルト
私ハサウ云フヤウニ思フノデアル、現在我
國ニ於テモ、殺生ト云フヤウナ事ヲ餘リ罪
惡ト認メテ居ラヌ世ノ中ニナツタカラシテ、
人間ノ日々ヤル事ガ非常ニ殘忍酷薄ナル行
爲ヲナス時代ニナツテ來テ居ルノデアリマ
シテ、吾々ト致シテハ餘程ニ診察ヲ致シマ
シテ、愈々治療ノ見込ナキモノト鑑定セザ
ル以上ハ、之ヲ直ニ撲殺スルト云フヤウナル
立法ヲ爲スト云フコトハ、動物ニ對シテ非
常ニ私ハ遺憾ヲ感ズル者デアリマスルガ、
是非共免疫血清ヲシテ、マダ治療ノ見込ア

ルモノデモ、此立法ニ依レバ御ヤリニナル
ト云フノデアルガ、是非左様ニヤランケレ
バナラヌト云フハ如何ナル理由ニ依ッテ是
ハ立法ナサツタモノデアルカ伺ヒタイノデ
アリマス、尙又此第二項ノ口蹄疫ニ感染シ
タル家畜ト云フコトニ至ッテハ、是ハ診斷
上非常ニムヅカシイノデアル、獸醫師ニ於
テ餘程實驗ニ長ジタル醫師ニアラザレバ、
ソレガ感染シタカ感染シナイカ、實ニ此診
斷ト云フモノハ今日現在ニ於ケル我が帝國
ノ獸醫デハ、特別ナル獸醫學博士ハ存ジマ
セヌケレドモ、一般ノ開業セル獸醫師ニ於
テハ、非常ニ是ハ困難デアルト云フコトヲ
獸醫師其人カラ私共ハ承テ居ル、サウ云
フヤウナモノデアツテ、唯「虞アル」是ハ怪
シイト云フモノガ、ドン、此法律ニ依
テ撲殺サレルト云フコトハ、吾々ハ動物ノ
爲ニ深キ同情ヲ拂ハナケレバナラヌノデア
ル、動物ト雖モ命ハ一ツシカ無イノデ、惜
シイ命ハ人間デモ同ジ事デアル、私ハ此點
ニ於テ御尋ヲ致スノデアリマス、大正天皇
ノ如キ明天子モ御獵ヲ爲サツタ「面白クウ
チハシツレドナク鹿ノ聲キクトキハ哀レナ
リケリ」ト云フ御歌ガアルデハアリマセヌ
カ、實ニ仁慈ノ至レルモノデアルト思フ、
獵ヲシテ面白イト思ウテ鹿ヲ射タケレド
モ、鹿ノ鳴ク聲ヲ聞クト實ニ哀レデアアル、
ソレデ決シテ獵ハ安リニスベキモノニアラ
ズト云フ私ハ御訓誡ノ御歌デアルト思
フ、——君等ノヤウニ人ヲ冷ヤカスモノデ
ハナイ(發言スル者アリ)

ク精神ニ正シテ考ヘテ御覽ナサイ
〔政府委員高田耘平君登壇〕
○政府委員(高田耘平君) 只今ノ吉良君ノ
御質問ニ御答シマス、御質問ノ趣旨ハ、傳
染病ト未ダ確定セザルモノ、即チ傳染病ノ
疑アルモノヲ殺スト云フコトハ、洵ニ同情
ニ堪ヘナイ話デアアル、而シテ現在ノ獸醫師
ノ程度デハ、其診療ニ對スル所ノ知識ガ缺
乏シテアツテ、甚ダ危險デアルト云フコト
ノ意味ノ御質問ト思ヒマス、是ハ見様ニ依
テハ洵ニドウモ無理カラヌ事ト存ジマス、
殊ニ吉良君ノ如キ人道上ニ付キマシテ常ニ
深キ御憂慮ニナツテ居ル方カラ見ルト云フ
ト、洵ニドウモマダ病氣ニナツタカナラヌ
カハッキリ分ラナイモノヲ殺スト云フコト
ハ、是ガ人間ナラバ大變ナ事デゴザイマ
ス、併ナガラ感染ノ虞ガアツタ場合ニ於テ、
多少氣ノ毒デハアルガ、之ヲ殺サナイガ爲
ニ、他方ニ傳染シテ、ソレガ爲ニ畜産上非
常ナル障害ヲ及ボスト云フ場合ニ於キマシ
テハ、殺サレル牛ニ對シテハ洵ニ御氣ノ毒
デアルケレドモ、畜産界ノ爲ニ、殊ニ其病
氣ノ種類ニ依ッテハ、人間ニ迄感染スルモ
ノモアルノデゴザイマスカラシテ、吉良君
ノ御同情ニ付テハ私モ、勿論同様デゴザイマ
スガ、畜産界ノ保護獎勵ノ爲ニ、已ムヲ得
ザルモノデアルト御諒解ヲ願ヒタイト思フ
ノデアリマス(拍手)

○副議長(小泉又次郎君) 是ニテ質疑ハ終
了シマシタ、日程第六、右議案ノ審查ヲ
付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員
ノ選舉

○井本常作君 本案ハ八田宗吉君提出ノ牧野法案ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(小泉又次郎君) 井本君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○井本常作君 議事日程變更ノ動議ヲ提出致シマス、此際日程第二十二、第二十三、第二十四及政府ノ同意ヲ得テ日程第三十七、第三十八ヲ繰上ダ、逐次議題ト爲シ、各委員長ノ報告ヲ求メ、其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(小泉又次郎君) 井本君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス日程變更ニハ政府モ同意セラレマシタ、仍テ動議ノ如ク日程ハ變更セラレマシタ……日程第二十二、不良住宅地區改良法案ノ第一讀會ノ續ヲ開キ、委員長ノ報告ヲ求メマス、委員長太田信治郎君

第二十二 不良住宅地區改良法案(政府提出)
府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一不良住宅地區改良法案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和二年二月二十八日

委員長 太田信治郎

衆議院議長粕谷義三殿

〔太田信治郎君登壇〕

○太田信治郎君 簡單ニ委員會ノ經過ヲ御報告申上ゲマス、本委員會ハ前後五回ニ互

リマシテ、各委員ニ於テ慎重審議ヲセラレマシタ、殊ニ嶋居君、兒玉君、内ヶ崎君、中島君等カラ、緊要ナ件ニ付テ御質問ガアリマシテゴザイマス、大體此法案ハ六大都市ニ於ケル所ノ不良住宅ヲ、十箇年間ニ約一万四千戸ノ改善ヲ爲シ、而シテ其後ニ於テ、地方ニ於ケル所ノ其他ノ不良住宅ヲ漸次十箇年間ニ改善ヲ爲ス、斯ウ云フ案デアリマシテ、而シテ昭和二年度ニ於テハ、六十七万九千百十圓ノ豫算ガ既ニ此議場ニ於テ決議サレテ居リマス、併ナガラ是ハ繼續豫算ト云フ譯デアリマセヌ、要スルニ豫算ノ許ス範圍ニ於テ、出來得ル限リ地方ニモ及ボス譯デアリマス、順次是ガ改善ヲ爲スト云フ案デアリマス、更ニ此國庫補助ノ基礎ニ付テノ御質問等ガアリマシタガ、是ハ要スルニ此公共團體ニ於テ事業ヲ經營執行スル場合ニ、國庫ハ之ニ向テ補助ヲ致シテ、資金ニ於テハ大藏省ノ預金部ノ低利資金ノ運用ヲ爲サシメル、然レバ些少ナリト雖モ、收益ト國庫ノ補助ヲ以テ之ヲ支辨スル場合ニハ、地方ノ負擔ヲ重カラシメズシテ、此改善ガ出來得ル、ソレニハ本道ニ於テハ二十年、鐵筋混泥土ニ於テハ三十五年ノ期限ヲ以テ償還方法ヲスルト云フコトデアレバ、十分ノ成算ガアツテ、格別地方費ヲ負擔セズシテ此改善ガ出來ル、但シ其三十五箇年ト云フコトニ付テハ、無論大藏省ノ預金部ノ運用規程ニ依リ其承認ヲ得ナケレバナラヌノデアルケレドモ、是モ亦政府ニ於テ見込ガアルト云フコトデアリマス、依ッテ本案ハ滿場一致可決致シマシタ次第デゴザイマス、左様御承知ヲ願ヒマス(拍手)

○副議長(小泉又次郎君) 本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○副議長(小泉又次郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマス
○井本常作君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマス
〔賛成〕賛成ト呼フ者アリ
○副議長(小泉又次郎君) 井本君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス
不良住宅地區改良法案
第二讀會(確定議)
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○副議長(小泉又次郎君) 第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決確定致シマシタ、日程第二十三、國債整理基金特別會計法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キ、委員長ノ報告ヲ求メマス——松田三德君

第二十三 國債整理基金特別會計法中改正法律案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書
一國債整理基金特別會計法中改正法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和二年二月二十八日

委員長 松田 三德

衆議院議長粕谷義三殿

〔松田三德君登壇〕

○松田三德君 國債整理基金特別會計法中改正法律案ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、委員會ハ前後六回開キマシタ、此六回ノ中ノ質疑應答ノ内容ニ付キマシテハ、私カラ申上ゲマセヌカラ、委員會ノ速記録ヲ御通讀願ヒタイノデアリマス、原案ニ對シマシテハ滿場一致可決サレタノデアリマス、唯、小川郷太郎君カラ希望條件ガ出タノデアリマス、其希望條件ハ「政府ハ昭和二年度ニ於テ國債償還方法決定ニ際シテハ金融市場國債市場ノ狀況ニ鑑ミ且國家ノ利害ヲ十分ニ考慮セラレ償還方法ヲ定メ萬遺憾ナキコトヲ期セラレタシ」斯ウ云フ希望條件ガ出タノデアリマスガ、政府モ之ニ同意セラレタノデアリマス、以上御報告申上ゲマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(小泉又次郎君) 本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○井本常作君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

〔賛成〕賛成ト呼フ者アリ

○副議長(小泉又次郎君) 井本君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

國債整理基金特別會計法中改正法律案
第二讀會(確定議)
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(小泉又次郎君) 第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決確定致シマシタ、日程第二十四、第三十七及第三十八ハ同一ノ委員ニ付託サレタル議案デアリ

マスルカラ、一括議題ト爲スニ御異議アリ
マセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ナイト認
メマス、仍テ日程第二十四、海外移住組
合法案、日程第三十七、移住組合法案、日程
第三十八、産業組合中央金庫法中改正法律
案ヲ一括シテ其第一讀會ノ續ヲ開キ、委員
長ノ報告ヲ求メマス、池田泰親君

第二十四 海外移住組合法案(政府提
出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一 海外移住組合法案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也

昭和二年二月二十八日

委員長 池田 泰親

衆議院議長粕谷義三殿

第三十七 移住組合法案(津崎尙武君
外九名提出)

報告書

第一讀會ノ續(委員長報告)

一 移住組合法案(津崎尙武君外九名提出)
右ハ本院ニ於テ議決ヲ要セサルモノト議
決致候此段及報告候也

昭和二年二月二十八日

委員長 池田 泰親

衆議院議長粕谷義三殿

第三十八 産業組合中央金庫法中改正
法律案(由谷義治君外五名提出)

報告書

第一讀會ノ續(委員長報告)

一 産業組合中央金庫法中改正法律案(由
谷義治君外五名提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也

昭和二年二月二十八日

委員長 池田 泰親

衆議院議長粕谷義三殿

〔池田泰親君登壇〕

○池田泰親君 私ハ只今日程ニ上リマシタ
此三案、即チ政府提出ノ海外移住組合法案
及津崎尙武君外九名提出ノ移住組合法案ノ
委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、本
案ニ付キマシテハ、二月二十一日以來四回
ニ互リマシテ十分ニ審議ノ結果、政府提出
ノ海外移住組合法案ヲ滿場一致ヲ以テ可決
致シマシタ、津崎君外九名提出ノ移住組合
法案ハ、政府案ト唯、文字ヲ異ニスルノミデ
其内容精神ニ於テハ全く同一デアルト云フ
コトヲ以テ、決議ヲ要セヌコトニ決定ヲ致
シマシタノデアリマス、唯、津崎君ハ希望
トシテ本法律案ハ、我國ノ人口及食糧ノ問
題ノ解決ニ對スル唯一ノ方規デアルカラ、
其缺陷ヲ補ヒ、我が民族ノ資本、勞力、知
識等ヲ海外ニ進出セシメント欲スル趣旨デ
アルカラシテ、十分ニ立法ノ精神ヲ尊重シ
テ、相互扶助ノ根本精神ニ鑑ミ、有無相通
ズル所ノ目的ヲ達成セシメテ、以テ海外ニ
我が運命ヲ新ニ開拓セント志ス者ヲ善導シ
テ、誤リナカラシムルヤウニ致シタイト云
フコトデアリマス、サウシテ爲ニ國家ノ各
機能ヲ十分ニ運用シテ、我が國民ノ幸福ヲ
増進スルニ努力スルヤウニ注意アラントコ
トヲ望ムト云フヤウナ趣意デアリマシタ、尙
ホ産業組合中央金庫法中改正法律案ニ付キ
マシテハ、同様ニ四回ニ互リマシテ審議ヲ

盡シマシタ、當局ニ對シテ質問應答ノ結果、
原案ヲ滿場一致ヲ以テ可決スベキモノト決
議致シマシタ、唯、長期ノ貸付ニ付テハ、
色々ノ非難ガアリマス、寧ろ本案ノ如キ
ハ、中央金庫ソレ自身ヲシテ進歩發達セシ
ムル所ノモノデアッテ、非常ニ必要デアル、

唯、第一ニ未ダ時機ガ尙早デハナйкаト云
フヤウナコトモアリマシタ、詰リ今日ハ未
ダ資金ノ運用ガ十分デナイト云フヤウナ非
難モアリマスケレドモ、是ハ當局者ノ手腕
ニ俟ツノデアルカラシテ、其機能ヲ十分發
揮セシメテ、能率ヲ増進セシムルヤウニ致
シタイト云フヤウナ意見デアリマシタ、第
二ノ長期ノ貸付モ、是ハ或ハ勸業銀行或ハ
農工銀行ノ仕事デハナйкаト云フヤウナ議
論モアリマスケレドモ、是ハ寧ろ中央金庫
ノ系統上サウスベキモノデアッテ、別ニ現
在ノ慣行ガ惡イノデアルト云フヤウナ意見
ニ歸著シタノデアリマス、次ニ第三ニハ長
期貸付ニハ擔保ヲ必要トハスルガ、ソレハ
有產者階級ニハ便利デアッテモ、庶民階級
ニハ格別ノ利益ガ無い、社會政策上必要デ
ナイト云フ議論モアリマスケレドモ、是ハ
漸次小作農ハ自作農ニ變ルベキモノデアッ
テ、其擔保物モノコニ出テ來ルヤウナ次第
デアルカラ、本法ノ改正法律案ト云フモノ
ハ、中央金庫ヲシテ最も健全ニ發達セシム
ル所以デアルト云フコトニ一致シタノデア
リマス、斯様ナ譯ニ於テ、委員會ハ滿場一
致ヲ以テ原案ヲ可決シタ次第デアリマス、
此段御報告致シマス

開クヤ否ヤヲ御諮リ致シマス、第二讀會ヲ
開クニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ナイト認
メマス、仍テ第二讀會ヲ開クコトニ決シマ
シタ

○井本常作君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開
キ、第三讀會ヲ省略シ委員長報告ノ通り可
決セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成「ト呼フ者アリ」〕

○副議長(小泉又次郎君) 井本君ノ動議ニ
ハ御異議ナイト認メマス、仍テ直ニ本案ノ
第二讀會ヲ開キ議案全部ヲ議題ニ供シマス
海外移住組合法案 第二讀會(確定議)

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ナイト認
メマス、仍テ第三讀會ヲ省略シテ委員長ノ
報告通り可決確定致シマシタ——次ニ津崎
尙武君外九名提出ノ移住組合法案ハ委員長
報告ハ議決ヲ要セザルモノデアリマス、委
員長報告ノ通りニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ナイト認
メマス、仍テ本案ハ委員長報告ノ通り議決
ヲ要セザルモノト決シマシタ、次ハ産業組
合中央金庫法中改正法律案ノ委員長報告ハ
可決デアリマス、本案ノ第二讀會ヲ開クヤ
否ヤヲ御諮リ致シマス、第二讀會ヲ開クニ
御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ナイト認
メマス、仍テ本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シ
マシタ

○井本常作君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開

キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕「異議ナシト」呼フ者アリ

○副議長(小泉又次郎君) 井本君ノ動議ニハ御異議ナイト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

産業組合中央金庫法中改正法律案

第二讀會(確定議)

〔異議ナシト〕呼フ者アリ

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ナイト認メマス仍テ第三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決確定致シマシタ

○井本常作君 殘餘ノ日程ハ延期セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕「異議ナシト」呼フ者アリ

○副議長(小泉又次郎君) 井本君ノ動議ニハ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、尙ホ御諮リ致スコトガゴザイマス、第六部選出、決算委員禰田代君ヨリ、常任委員辭任ノ申出ガアリマス、許可スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト〕呼フ者アリ

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ガナケレバ許可致シマス、仍テ其部ノ諸君ハ速ニ補關選舉ヲ行ヒ、御届出アランコトヲ望ミマス、尙ホ梅田寛一君ハ三月一日ヨリ三月十日マデ、吉田眞策君ハ三月一日ヨリ三月三十一日マデ請暇ノ申出ガアリマス、之ヲ許可スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト〕呼フ者アリ

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ガナケレバ許可致シマス——次回ノ日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ散會致シマス
午後六時五分散會

衆議院議事速記録第十二號中正誤

頁 段 行 誤 正
二一四 三七 裏切ツタ 詐ツタ
同 三九 裏切ル 詐ル

衆議院議事速記録第十七號中正誤

頁 段 行 誤 正
三四七 三 六 九月二十一 十一月十二
三四八 一 四 補助艦計畫 補助艦建造

衆議院議事速記録第十八號中正誤

頁 段 行 誤 正
三五四 三 三三 質問 質疑
三六〇 三 八 質問 發言
三六一 一 二〇 同 同
三六三 四 二一 修治 修治
三六五 一 三 質疑 質疑

